プラグインカッティングソフトウェア

FineCut 8 for Illustrator®

Windows®/ Macintosh®

Illustratorから、簡単にカッティングができる

取扱説明書

Mimaki®

株式会社ミマキエンジニアリング

D202140-19

目次

はじめに vi
ご注意 vi
FineCut8 の新機能 vii
使用環境 viii
システムとソフトウェア viii
本書の読み方 ix

第 1 章　準備作業

プロッタの設定 1-2
FineCut のインストール 1-3
Windows の場合 1-3
Macintosh (MacOS9.2.2 ～ MacOSX 10.6x) の場合 1-6
Macintosh (MacOSX 10.7 以上) の場合 1-8
ユーザ登録 1-11
オンライン・インフォメーション 1-12
プロッタとの接続設定 1-13
シリアル番号の入力 1-14

第 2 章　基本のカット方法

基本のカット方法 2-2
基本のカット方法 2-2
オブジェクトの塗りと線について 2-6

第 3 章　トンボ作成機能を使う

作業の流れ 3-2
フレーム (カットライン) を作成する 3-4
トンボを作成する 3-6
トンボについて 3-6
CG/CJV30/TPC/CJV300/CJV150 シリーズ 3-7
CF2/DC/CF3 シリーズ 3-10
CFL-605RT 3-12
カットする 3-15
CG-EX シリーズ 3-15
CG-FX/CG-FXII/CG-75ML/CG-60SR/CG-100SRII/
CG-SRIII/CJV30/TPC/CJV300/CJV150 シリーズ 3-17
CF2/DC/CF3 シリーズ 3-29
CFL-605RT 3-38

第 4 章　便利な使い方 -FineCut メニューから

線幅・重なりを認識させる 4-2
トラッピングを行う 4-3
パスを連結する 4-4
オブジェクトの周りに切り込みを入れる 4-6
影 / ふち取りをつける 4-8
プロットファイルを読み込む / 出力する 4-10
プロットファイルを読み込む 4-10
プロットファイルを出力する 4-11
輪郭を抽出する 4-12

簡単トレース 4-12
詳細設定トレース 4-13
RasterLink へ出力する (CJV30/TPC/CJV300/
CJV150 シリーズ) 4-14
カットするパスを設定する 4-18
出力条件を設定する 4-20
線分を分割してカットする (CFL-605RT/CF/DC/CF2/
CF3(M ヘッドを除く）シリーズ）...............................4-22
線分の自動分割カット 4-22
刃の形状と線分分割カットの設定について 4-26

第 5 章　便利な使い方 - プロット画面から

オブジェクトを拡大・縮小する 5-2
横幅と縦幅の比率を変えずに拡大 / 縮小 5-2
横幅または縦幅のみの拡大 / 縮小 5-3
1 つのオブジェクトを複数カットする（コピー）.........5-4
1 つのオブジェクトを分割してカットする
（タイリング）..5-6
位置合わせ用のマークをつける 5-8
センターマーク 5-8
コーナーマーク 5-9
色別にオブジェクトをカットする 5-10
レイヤー別にオブジェクトをカットする 5-12
カラー / レイヤー別に出力順 / ツールを指定する 5-14
カラー別 / レイヤー別に出力条件を設定する 5-16
シートを無駄なく使う 5-19
プロッタとの接続を設定する 5-21
カット終了後のヘッド位置を設定する 5-22
カット前にプレビューで確認する 5-24

第 6 章　便利な使い方 - その他

線分を修正する 6-2
カットの開始位置を指定する 6-4
CF3 シリーズ (M ヘッド) をお使いの場合 6-6
カラーライブラリからシート色を指定する 6-11
インストールする 6-12
カラーライブラリを使用する 6-13

第 7 章　機能説明

FineCut メニュー 7-2
表示方法 7-2
メニュー一覧 7-2
「プロッタ / ユーザー設定」画面 7-4
プロッタ 7-4
出力条件設定 7-5
通信条件 7-13
プロットダイアログ 7-14
警告表示 7-15
その他 7-16

「プロット」画面 7-17
「プロッタ出力」画面 7-27
「輪郭抽出」画面 7-31
簡単トレース 7-31
詳細設定トレース 7-32
「RasterLink 出力」画面 7-34
「FineCut について」画面 7-37
線分修正画面 7-38
カット開始位置指定 7-41
オンライン・インフォメーション 7-42
FineCut のアンインストール 7-43
Windows 7-43
Macintosh 7-43

第 8 章　困ったときは

こんなときは 8-2
メモリ不足になる 8-2
回り込みテキストを実行すると、
不正な結果になる 8-2
「ふち取り作成」で、オブジェクトに
不正なパスが作成される 8-2
影やふち取りが削除できない 8-2
CF3 シリーズ (M ヘッド) で、Illustrator の「効果」を
適用したパスの内側のパスがカットされない 8-2
RasterLink への出力時にエラーが発生する 8-3
エラーメッセージ 8-4

はじめに

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
FineCut は、他のカッティングソフトウェアに無い直感的な操作と安定したカット環境を提供する、Adobe® Illustrator® のプラグインソフトウェアです。

ご注意

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本ソフトウェアを他のディスクにコピーしたり（バックアップを目的とする場合を除く）、実行する以外の目的でメモリにロードすることを固く禁じます。
- 株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。
  また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。一例として、本製品を使用してメディア（ワーク）等の損失やメディアを使用して作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。
- 取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

FineCut は (株) ミマキエンジニアリングの登録商標です。
Adobe,Illustrator は、アドビシステムズ社の商標です。
Microsoft,Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
Apple,Macintosh は、Apple Inc. の米国および各国での登録商標であり、
その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。
© 株式会社ミマキエンジニアリング
All Rights Reserved.Copyright

FineCut8 の新機能

高度なカッティング

カット開始位置を、任意の位置に指定できます。（☞P.6-4）
また、線分を分割し、両端から内側、または内側から両端の方向にカットすることで、厚いメディアの切り過ぎを防止できます。（CF/CF2 /DC /CF3 シリーズ）（☞P.4-22）

輪郭抽出が簡単に（☞ **P.4-12**）

簡単トレースモードを使うと、簡単に画像の輪郭抽出ができます。

トンボマークの付加（☞ **P.3-6**）

トンボマークの下辺中央に、トンボマーク（▼）を付けることができます。（オプション機能）
印刷物をカットする時、トンボの向きが簡単に判断できます。

FineCut の最新情報をオンラインで通知（☞ **P.7-42**）

FineCut のアップデート情報など、最新情報をネットワーク経由でお知らせします。
（Mac OS X は 10.4 以上に対応）

中間トンボを使用した補正（☞ **P.3-8**）

中間トンボと CG-SR Ⅲシリーズのトンボ読み取り機能により、より高い精度で長尺の輪郭カットを行うことができます。

システムとソフトウェア

FineCut8 をインストールして使用するには、次の条件が必要です。

	Windows	Macintosh
パソコン	Pentium プロセッサ または互換プロセッサ搭載の IBM PC または互換機	Power PC あるいは Intel CPU を搭載した Macintosh
OS	Microsoft® Windows®2000（SP4 以降）, Windows®XP(SP2以降), Windows Vista™, Windows®7, Windows®8, Windows®8.1 プロッタと USB 接続の場合、Windows XP 64-bit には対応していません。	Mac OS 9.2.2 Mac OS X 10.2.6 ～ 10.10 プロッタと LAN 接続の場合、Mac OS 9.2.2 には対応していません。
モニタ	1024 x 768 ピクセル以上	
ソフトウェア	Adobe® Illustrator® 8.0.1, 9, 10, CS, CS2, CS3, CS4, CS5, CS6, CC, CC2014 日本語版	
プロッタ	MIMAKI CG シリーズ (CG-45 以降), MIMAKI CF-09/12 シリーズ , MIMAKI CF2 シリーズ , MIMAKI DC シリーズ , MIMAKI CF3 シリーズ , MIMAKI CJV30 シリーズ , MIMAKI TPC, MIMAKI CJV300/150 シリーズ , MIMAKI CFL-605RT	
オンライン・インフォメーション機能	上記対応 OS の通り	Mac OS X 10.4 以上
接続方法	シリアル接続（クロスケーブル）または USB 接続または LAN 接続	
その他	使用する Adobe® Illustrator® の動作環境に準拠	

重 要！

- USB ポートからプロッタのシリアルポートへ出力する場合は、USB- シリアル変換アダプタが必要です。
  (「USB- シリアル変換アダプタ (オプション品：OPT-SS036)」推奨)
  USB シリアル変換アダプタは、パソコンの OS(オペレーティングシステム) との問題により、正常に動作しないものがあります。他社製品をお使いになる場合は、OS との問題が無いかを、変換アダプタのメーカーにお問い合わせください。

本書の読み方

本文中の表記について

メニューに表示する項目および各画面に表示するボタンは、[ファイル] メニューのように [ ] で囲んでいます。

マークについて

重 要 !	• 注意していただきたいことや、必ず実行していただきたい内容を説明します。
(ヒント)	• 知っていると便利なことを説明します。
☞	• 関連した内容の参照ページを示しています。

FineCut メニューについて

以下は FineCut のダイアログです。
本文中では、「FineCut メニュー」と表記します。

第 1 章
準備作業

この章では ...

プロッタの設定、FineCut のインストールから、プロッタとの接続設定までを説明します。
ご使用の前に、必ず本章に記載された順番で作業を行ってください。

プロッタの設定 1-2
FineCut のインストール 1-3
Windows の場合 1-3
Macintosh (MacOS9.2.2 ～ MacOSX 10.6x) の場合 1-6
Macintosh (MacOSX 10.7 以上) の場合 1-8
ユーザ登録 1-11
オンライン・インフォメーション 1-12
プロッタとの接続設定 1-13
シリアル番号の入力 1-14

プロッタの設定

FineCut を使用する前に、お使いのプロッタを下記のように設定してください。

<table>
<tr><th>プロッタ</th><th colspan="2">項目</th><th>設定値</th></tr>
<tr><td>CG-EX シリーズ</td><td colspan="2">ゲンテン</td><td>ミギシタ</td></tr>
<tr><td rowspan="9">CG-FX シリーズ，
CG-FXII シリーズ，
CG-75ML,
CG-60SR,
CG-100SRII
CG-SRIII シリーズ</td><td colspan="2">ゲンテン</td><td>ミギシタ</td></tr>
<tr><td rowspan="6">トンボの設定</td><td>トンボケンシュツ</td><td>1 テン</td></tr>
<tr><td>スケールホセイ</td><td>アトシテイ</td></tr>
<tr><td>オフセット A</td><td>0.0mm</td></tr>
<tr><td>オフセット B</td><td>0.0mm</td></tr>
<tr><td>マイスウ A(↑)</td><td>1 マイ</td></tr>
<tr><td>マイスウ B(←)</td><td>1 マイ</td></tr>
<tr><td colspan="2">カイテン</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td colspan="2">ユウセンジュンイ</td><td>ホスト</td></tr>
<tr><td rowspan="5">CJV30 シリーズ，
TPC,
CJV300 シリーズ，
CJV150 シリーズ
• 各ツールに対してすべて設定してください。</td><td rowspan="5">トンボの設定</td><td>トンボケンシュツ</td><td>1 テン</td></tr>
<tr><td>オフセット Y(←)</td><td>0.0mm</td></tr>
<tr><td>オフセット X(↑)</td><td>0.0mm</td></tr>
<tr><td>マイスウ Y(←)</td><td>1 マイ</td></tr>
<tr><td>マイスウ X(↑)</td><td>1 マイ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">CF-09/12 シリーズ</td><td colspan="2">コマンド SW</td><td>ユウコウ</td></tr>
<tr><td colspan="2">ゲンテン</td><td>ヒダリシタ</td></tr>
<tr><td colspan="2">エン θ ホセイ</td><td>プラスの角度を入力</td></tr>
<tr><td rowspan="6">CF2 シリーズ，
DC シリーズ，
CF3 シリーズ
CFL-605RT</td><td colspan="2">コマンド SW</td><td>ユウコウ</td></tr>
<tr><td colspan="2">ゲンテン</td><td>ヒダリシタ
（CF3 では「ミギシタ」）</td></tr>
<tr><td colspan="2">エン θ ホセイ</td><td>プラスの角度を入力</td></tr>
<tr><td colspan="2">エキスパンド</td><td>オフ</td></tr>
<tr><td colspan="2">トンボケンシュツ
• エキスパンドの設定がオフになっていないと、トンボ検出の設定はできません。</td><td>1 テン</td></tr>
<tr><td colspan="2">< カイスウギリ >- ハンテイジカン</td><td>オフ</td></tr>
</table>

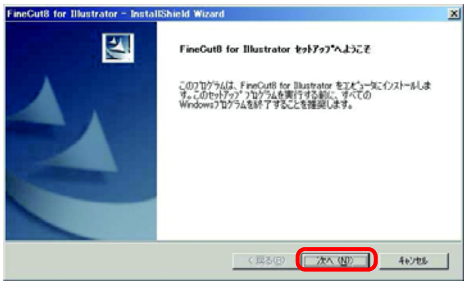
FineCut のインストール

Windows の場合

1 パソコンを起動して、 **FineCut** の **CD-ROM** を **CD** ドライブにセットします。

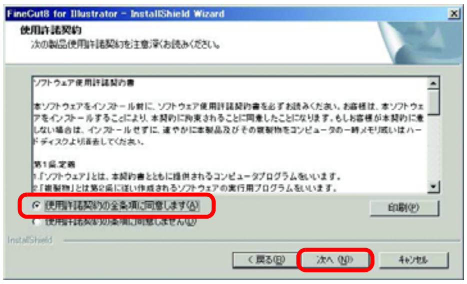
2 [FineCut8 for Illustrator セットアップ] をクリックします。

3 [次へ] をクリックします。



4 「使用許諾契約」を確認します。

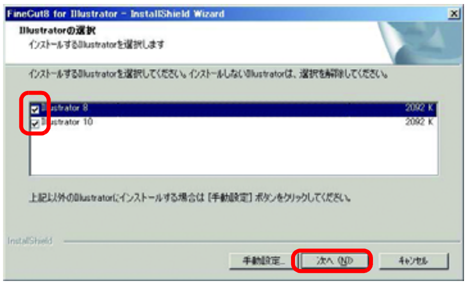
よくお読みの上、契約に同意する場合は [同意します] を選択して、[次へ] をクリックします。



5 インストールするIllustratorにチェックを付けて、[次へ] をクリックします。

インストールしない Illustrator は、チェックを外します。

お使いの Illustrator がリストにない場合は、[手動設定] をクリックして、使用する Illustrator のプラグインフォルダを選択します。



6

[インストール]をクリックします。

インストールが始まります。

7

USB ドライバがない場合は、右の画面が表示されますので、[はい] をクリックします。

USB ドライバがインストール済みの場合は、手順 13 に進みます。

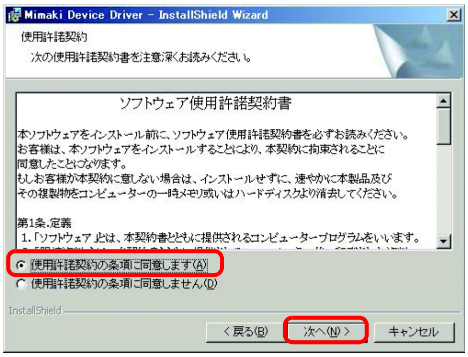
8

[次へ] をクリックします。

9

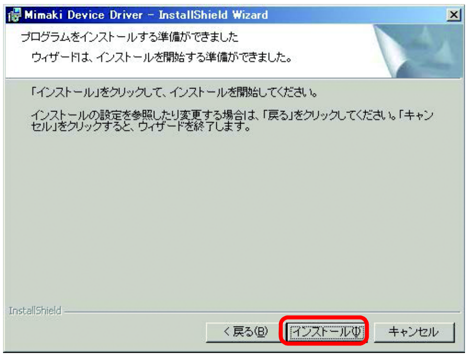
「使用許諾契約」を確認します。

よくお読みの上、契約に同意する場合は [同意します] を選択して、[次へ] をクリックします。



10 [インストール]をクリックします。

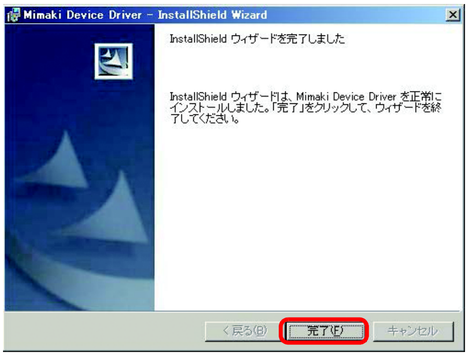
インストールが始まります。



11 [OK] をクリックします。

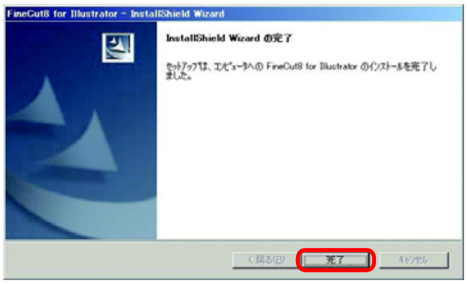
プロッタを接続してください。

12 [完了] をクリックします。



13 [完了] をクリックします。

以上でインストールは終了です。



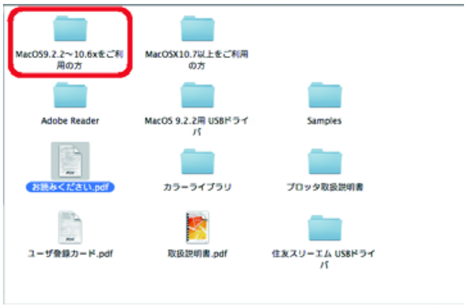
続いて、「ユーザ登録」に進んでください。（☞P.1-11）

Macintosh (MacOS9.2.2 ～ MacOSX 10.6x) の場合

1 パソコンを起動して、**FineCut** の **CD-ROM** を **CD** ドライブにセットします。

2 **FineCut CD** のアイコンをダブルクリックします。

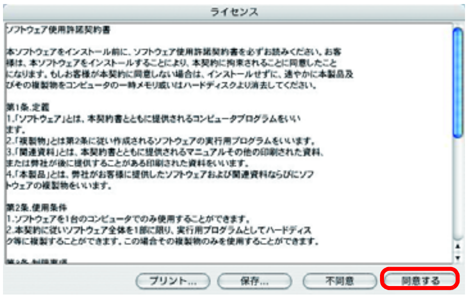
3 「**MacOS9.2.2～MacOSX10.6x** をご利用の方」をダブルクリックします。



4 インストーラーアイコンをダブルクリックします。

5 「ソフトウェア使用許諾契約」を確認します。

よくお読みの上、契約に同意する場合は、[同意する] をクリックします。



6 インストール方法を選択し、[インストール] をクリックします。

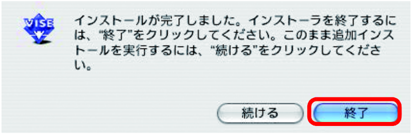
- インストール方法は [標準インストール] を選択します。
- インストール先を変更する場合は [ディスクの切り替え] をクリックし、ディスクを選択します。

7 インストールする Illustrator のバージョンを選択します。

ボタンをクリックするとインストールが始まります。

8 [終了] をクリックします。

以上でインストールは終了です。
インストールを続行する場合は、[続ける] をクリックします。



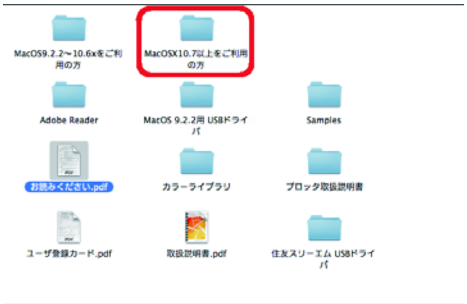
続いて、「ユーザ登録」に進んでください。（☞P.1-11）

Macintosh (MacOSX 10.7 以上) の場合

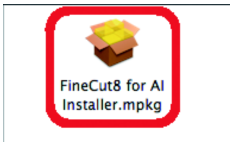
1 パソコンを起動して、**FineCut** の **CD-ROM** を **CD** ドライブにセットします。

2 **FineCut CD** のアイコンをダブルクリックします。

3 「**MacOSX10.7** 以上をご利用の方」をダブルクリックします。



4 インストーラーアイコンをダブルクリックします。



5 [続ける] をクリックします。

6

「ソフトウェア使用許諾契約」を確認します。

よくお読みの上、契約に同意する場合は、[続ける] をクリックします。

7

「ソフトウェア使用許諾契約」に同意する場合は、[同意する] をクリックします。

8

[インストール]をクリックします。

- インストール先を変更する場合は [インストール先を変更 ...] をクリックし、インストール先を選択します。

9

インストールする Illustrator のバージョンを選択し、[OK] をクリックします。

ボタンをクリックするとインストールが始まります。

10 [閉じる] をクリックします。

以上でインストールは終了です。

続いて、「ユーザ登録」に進んでください。（☞P.1-11）

ユーザ登録

同封のユーザ登録カードに必要事項をご記入のうえ、FAX でお送りください。
ユーザ登録していただきますと、無償バージョンアップ、サポートやミマキ新製品のお知らせ等のサービスが受けられます。必ず、ユーザ登録をしていただきますようお願い申し上げます。

ユーザ登録カードに記入

↓

FAX します。

ハロー！ここでとうろく

0120- 869106 （フリーダイヤル）

携帯電話、**PHS** 等からはご利用できません。

続いて、「オンライン・インフォメーション」に進んでください。（☞P.1-12）

オンライン・インフォメーション

FineCut に関する新しい情報が見つかった場合、Illustrator を起動後、最初に書類を新規作成するか開いたときに、以下の画面が表示されます。
必要な項目をクリックして内容を確認してください。(詳しくは P.7-42）

続いて、「プロッタとの接続設定」に進んでください。（P.1-13）

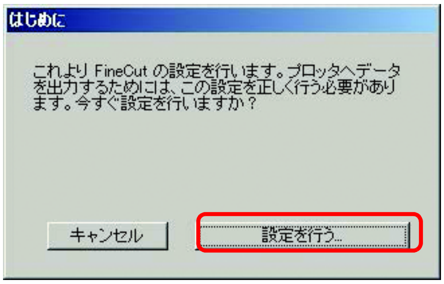
プロッタとの接続設定

プロッタへデータを出力する前に、FineCut でプロッタの設定を行ってください。

重 要 !
・[プロッタ機種]、[通信条件] は、必ずプロッタと同じ設定値にしてください。
ここでの設定がプロッタ側の設定と異なると、正常にカットが行えません。

1

FineCut をインストール後、最初に Illustrator で書類を新規作成するか開くと、右の画面が表示されます。
[設定を行う] をクリックします。

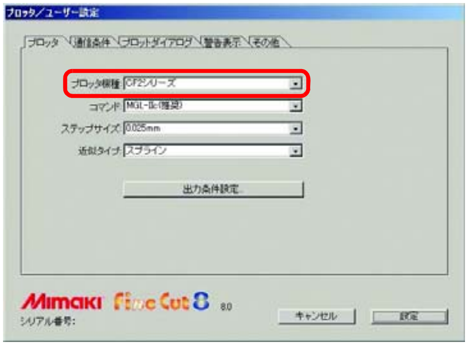


2

お使いのプロッタ機種を選択します。

[プロッタ機種] でお使いのプロッタを選択します。

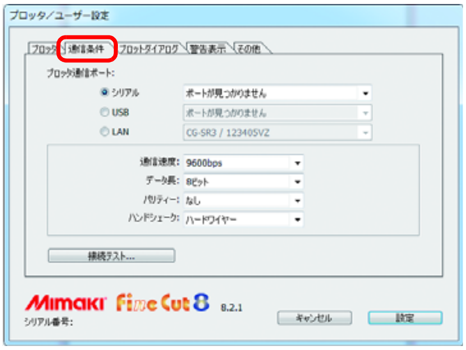
その他の項目も必要に応じて設定します。（☞P.7-4）



3

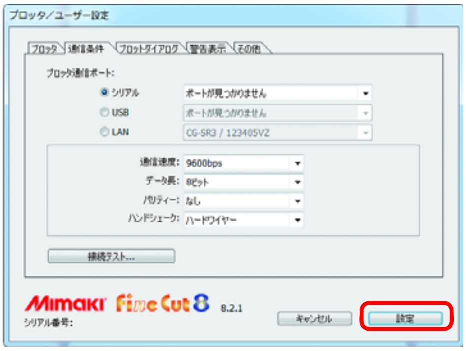
[通信条件] タブをクリックして、プロッタの通信ポートを選択します。

ポートを選択後、[接続テスト] をクリックして、プロッタと正しく接続されているかを確認します。
（設定項目について詳しくは ☞P.7-13）



4

[設定] をクリックして、設定を保存します。



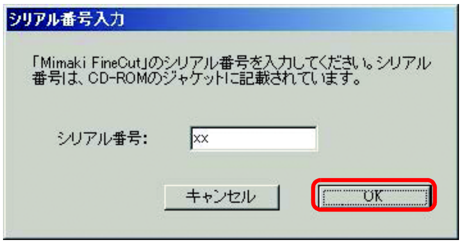
続いて、「シリアル番号の入力」に進んでください。（☞P.1-14）

シリアル番号の入力

FineCut をインストール後、最初に FineCut 機能を実行すると、シリアル番号を入力するダイアログが表示されます。

重 要!
- シリアル番号は、再インストールやバージョンアップ等で後日必要になります。紛失しないよう保管してください。

1 **CD-ROM のジャケットに記載されているシリアル番号を入力し、[OK] をクリックします。**



以上で準備作業は終了です。

第２章
基本のカット方法

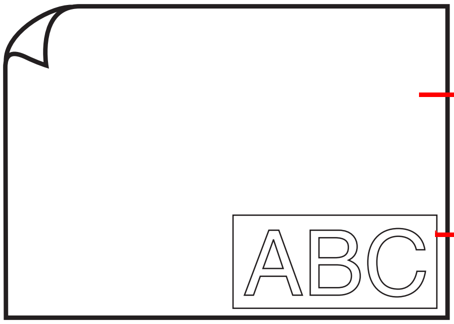
この章では ...

基本的なカット方法を説明します。

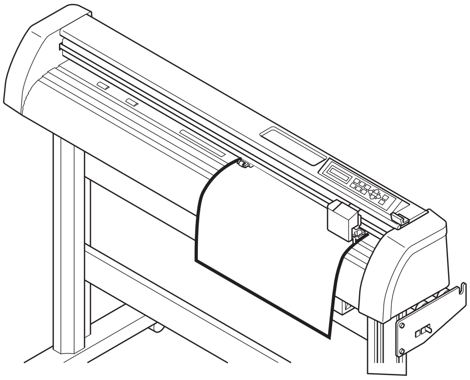
基本のカット方法 2-2
基本のカット方法 2-2
オブジェクトの塗りと線について 2-6

基本のカット方法

MIMAKI CG シリーズを使用して、A3 サイズのシートの右下に「ABC」をカットし、「ABC」の周り 5mm の位置に枠をカットする方法を例に説明します。



1 プロッタに **A3** サイズのシートを横にセットします。



- シートのセット方法やプロッタの取り扱いについては、プロッタに付属の取扱説明書をご覧ください。

2 プロッタをリモートモードにします。

重要！
- ローカルモードのままだと、プロッタにセットしたシートサイズを FineCut で読み込むことができませんのでご注意ください。

3 **Illustrator** を起動し、 新規書類を作成します。

用紙のサイズを A3 サイズに設定する必要はありません。

- 以下の画面が表示されたら、「第 1 章 準備作業」を参照して設定してください。
「オンライン・インフォメーション」「シリアル番号入力」「プロッタ・ユーザー設定」

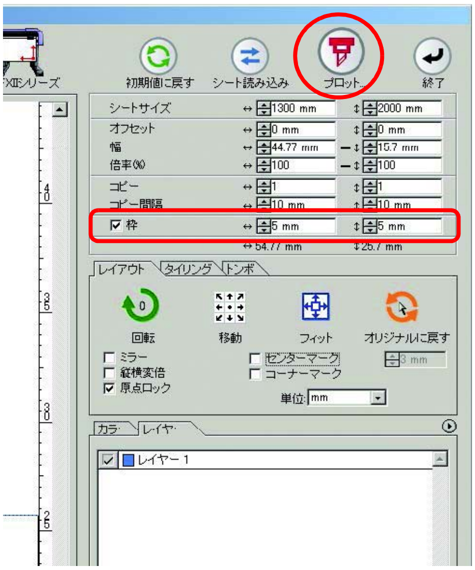
4 文字ツールを使用して、「**ABC**」と入力します。

5 **FineCut** メニューの**[**プロット**]** ボタンをクリックします。

- 「FineCut メニュー」は自動で表示されます。自動で表示されない場合は、Illustrator の [ウィンドウ] メニューから [FineCut メニューを表示] (Illustrator10 以上の場合は [Mimaki FineCut]) を選択します。

6 枠を設定し、 (プロットボタン) をクリックします。

オブジェクトの周囲 5 mm の位置で
矩形の枠をカットする設定です。
1.[枠] にチェックを付けます。
2.[横]5 mm、[縦]5 mm と入力します。

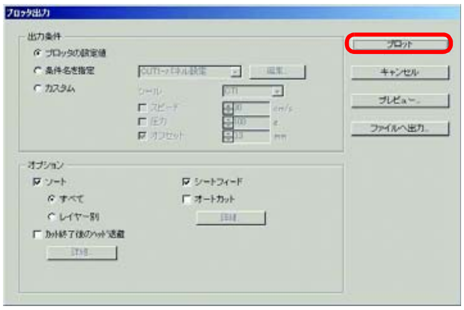


重 要 !

- (シート読み込みボタン) の左横に マークが表示される場合は、シートサイズが読み込まれていません。
  この場合は、画面左下の (プロッタ / ユーザー設定ボタン) をクリックしてプロッタとの通信条件を確認してください。正しく設定すると、 マークが消えます。

7 出力に関する設定を行い、[プロット] をクリックします。

（設定の詳細は P.7-27）



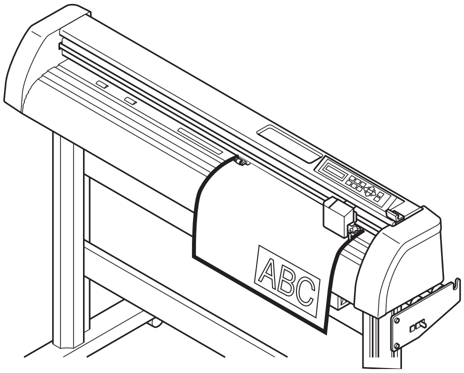
重 要 !

- プロッタにセットしてあるメディアに合った条件を設定してください。
  条件が異なる場合、正常にカットが行えないことがあります。

8

オブジェクトがカットされます。

シートの原点である右下の位置に(MIMAKI CF/CF2/DC シリーズでは左下に)カットされます。



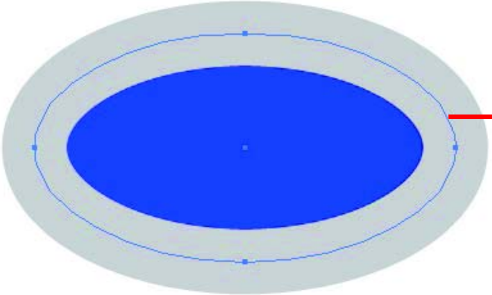
9

カットが終了したら、 (終了ボタン)をクリックします。

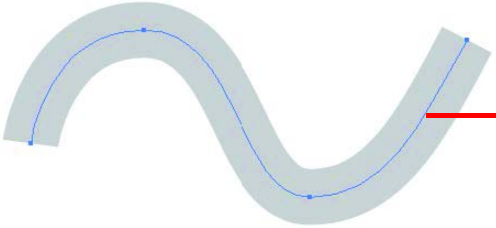
「プロット」画面が閉じます。

オブジェクトの塗りと線について

下の図は、楕円の塗りを設定して、線を太らせたオブジェクトです。
線の輪郭をカットせず、塗りの輪郭 (線の中心) をカットします。



塗りがないオブジェクトは、線のパスをカットします。
線は、太い線・細い線に関係なく、パスがカット対象になります。パスは、オブジェクトを選択した場合や、Illustrator のアートワークモードで確認できます。



パスとは ...
Illustrator の描画ツールを使って作成する線です。グラフィックオブジェクトのアウトラインもパスで構成されています。Illustrator で作成した直線や長方形のアウトラインは、いずれもパスの典型的な例です。

- 線の幅を認識させてカットしたり、線と塗りを分けてカットする場合は、以下のページを参照してください。
  (☞ P.4-2「線幅・重なりを認識させる」)

第３章
トンボ作成機能を使う

この章では ...

トンボ作成機能を使って、プリントした図柄の輪郭をカットし、シールやステッカー、サインパネルなどが作れます。

作業の流れ 3-2
フレーム (カットライン) を作成する 3-4
トンボを作成する 3-6
カットする 3-15

作業の流れ

重要!

- FineCut にあるプロッタの通信条件を、接続しているプロッタの設定と同じ値に設定してください。
  設定が異なると、オブジェクトを正しくカットできません。（☞ P.7-13）

1 オブジェクトを作る	Illustrator を使って、プリントするオブジェクトを作成します。
2 フレーム(カットライン)を作る(☞ P.3-4)	FineCut を使って、オブジェクトに合わせてフレーム(カットライン)を作成します。
3 トンボを作る(☞ P.3-6)	FineCut を使って、トンボを作成します。お使いのプロッタによって、様々な種類のトンボを作成できます。
4 カットする(☞ P.3-15)	プリントしたメディアをプロッタにセットしてカットします。用途に合わせていろいろなメディアをカットできます。

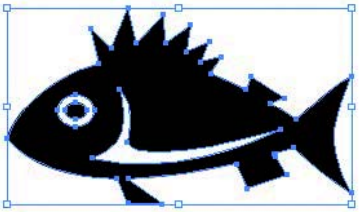
カットでは、それぞれのプロッタで以下の機能が使用できます。

機種名	機能	参照ページ
CG-EX シリーズ	トンボのカット	P.3-15
CG-FX/CG-FXII/CG-75ML/CG-60SR/CG-100SRII/ CG-SRIII/ CJV30/TPC/CJV300/CJV150 シリーズ	1 つの画像を連続してカットする	P.3-17
	複数の画像を連続してカットする（CG-75ML のみ）	P.3-23
	シールの輪郭と台紙を切り離す線を同時にカットする（CG-FX/CG-FXII を除く）	P.3-26
CF2/DC/CF3 シリーズ	トンボのカット	P.3-29
	トンボ分割カット	P.3-32
	裏面カット	P.3-35
CFL-605RT	トンボのカット	P.3-12
	1 つの画像を連続してカットする	P.3-39
	トンボ分割カット	P.3-41
	裏面カット	P.3-44

フレーム (カットライン) を作成する

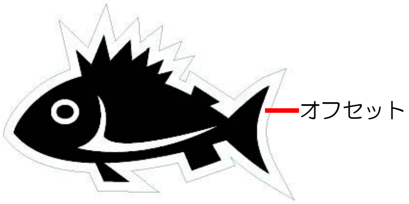
指定したオフセットでカットラインを自動作成します。

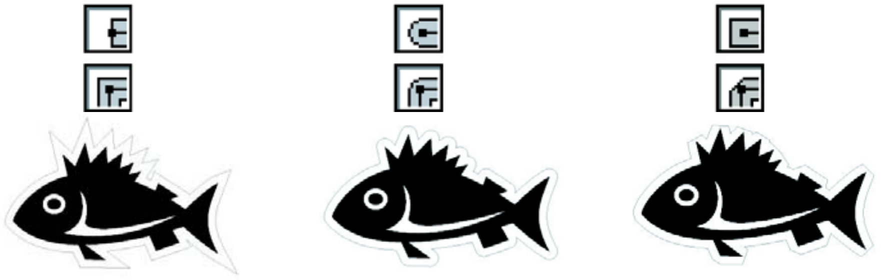
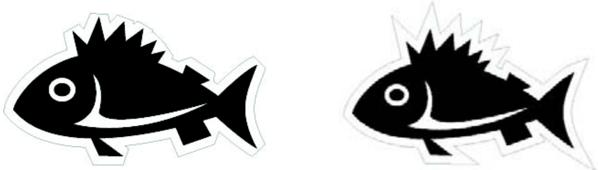
1 フレームをつけるオブジェクトを選択します。



2 **FineCut** メニューの [フレーム抽出] ボタンをクリックします。

3 フレームのパスを設定します。



項目	説明
オフセット	オブジェクトからフレームまでの距離を設定します。マイナスの値を入力すると、裁ち落としができます。
角の形状	フレームの角の形状を設定します。 ・フレームの形状が不自然になる場合は、角の形状を変更すると改善することがあります。一般的に角が鋭角な程、またオフセットの値が大きい程、精度が落ちます。 マイター　ラウンド　ベベル 
角の比率	角を形成する２本の線端が交わる位置までの比率を設定します。(角の形状がマイターの時のみ有効) 値が大きいほど鋭角になります。 例　**1mm**　**10mm** 

4 [OK] をクリックします。

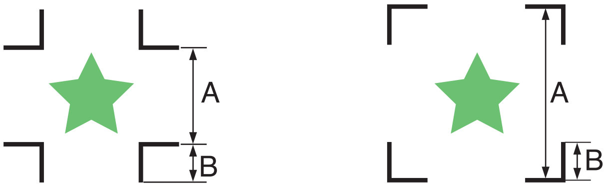
フレームが抽出され、[FC フレームレイヤー] のレイヤーにパスが作成されます。

- フレーム抽出を行うたびに、「FC フレームレイヤー 1」「FC フレームレイヤー 2」... と、新たなレイヤーが作成されます。レイヤー毎にプリントやカットの設定をする場合などにお使いください。(P.5-16)
- このレイヤー内のデータはカットデータとして使用するため、プリントしない設定になっています。このデータをプリントしたい場合は、Illustrator の「レイヤーオプション」で「プリント」を有効にしてください。

トンボについて

トンボの距離 (A) に対するトンボサイズ (B) の目安は以下の通りです。
トンボの距離 (A) に対してトンボサイズ (B) が小さすぎると、トンボを正しく検出できない場合があります。適正なサイズでトンボを作成してください。

CG シリーズ、CJV30 / TPC / CJV300 / CJV150 シリーズの場合

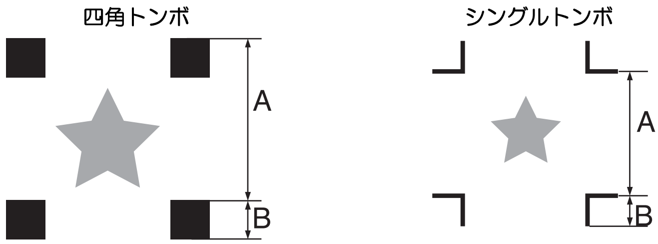


A	200 以下	500 以下	1000 以下	2000 以下	2001 以上
B	4 ～	8 ～	15 ～	25 ～	35 ～ 40

単位 (mm)

> **重要!**
> - CG-SR Ⅲシリーズの場合、トンボサイズ (B) はトンボ線の太さの 10 倍以上に設定してください。

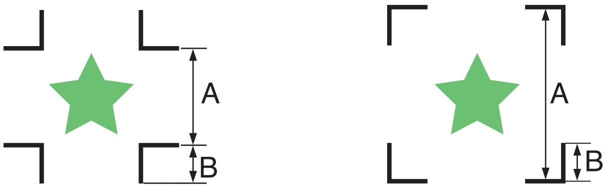
CF2 / DC / CF3 シリーズの場合



A	200 以下	500 以下	1000 以下	1500 以下	1501 以上
B	5	10	15	20	30

単位 (mm)

CFL-605RT の場合

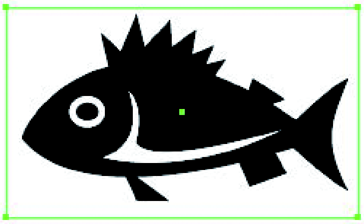


A	200 下	500
B	10	15

単位 (mm)

CG/CJV30/TPC/CJV300/CJV150 シリーズ

1 Illustrator で、トンボを作成する位置に合わせて、長方形でオブジェクトを囲みます。



2 FineCut メニューの [トンボ作成] ボタンをクリックします。

3 トンボの形状などを設定します。

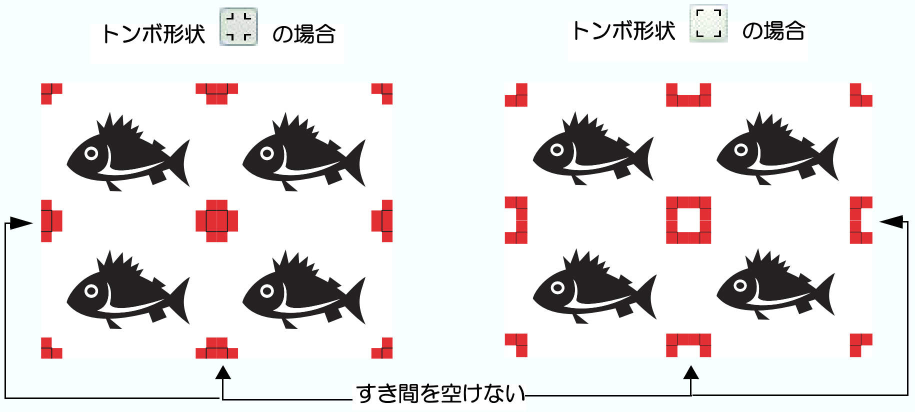
設定したら [OK] をクリックします。

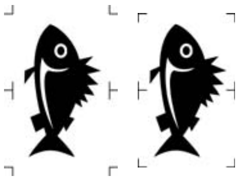
項目	説明
トンボ形状	トンボの形状を選択します。 • CF シリーズとトンボを兼用する場合は、を選択してください。
トンボサイズ	トンボのサイズを設定します。 下の [推奨トンボサイズ] 以上のサイズを設定してください。
推奨トンボサイズ	推奨トンボサイズを表示します。
線幅	トンボの線幅を設定します。 • CF シリーズとトンボを兼用する場合は、「1mm」に設定してください。
矩形をカット線として残す	手順１で作成した長方形をカットしたい場合、チェックを付けます。
印刷方向マークを付加する	トンボ作成時に▼マークを付加します。 前後の判別が難しいデータの場合、このマークを付けておくと、印刷済みメディアを正しい向きでプロッタにセットできます。 • 中間トンボを実施した場合は、印刷方向マークを付加できません。

項目	説明
トンボの周りを塗りつぶす	トンボの周りを赤色のスポットカラーで塗りつぶします。地の色が白以外のメディアで、トンボが正常に認識されない場合に使用すると、トンボが認識できることがあります。 • 推奨は赤 (デフォルト) または白です。白で印刷する方法は、ご使用のプリンタの取扱説明書を参照してください。一般的には、赤色のスポットカラーを白インクに割り当てて印刷できます。

重 要！

- トンボの周りを赤または白で塗りつぶしてもトンボを認識できない場合、他の色で塗りつぶしても効果は得られません。また、メディアやインクの種類によっては、トンボの色を変更しても認識されない場合があります。
- この機能を使って連続カット (P.3-17) する場合は、トンボのデータ間にすき間ができないように印刷してください。

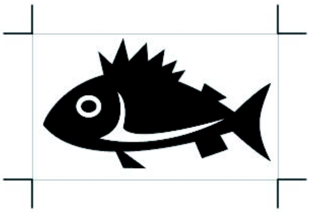


項目	説明
パターン情報を付加する **(CG-75ML のみ有効)**	トンボにバーコード状のパターン情報を付加します。 このパターン情報と CG-75ML のトンボ読み取り機能により、複数の図柄の異なるシールのふちを一度にカットすることができます。
中間トンボ **(CG-SR Ⅲ /CJV300/ CJV150 シリーズのみ)**	中間トンボを付加します。 中間トンボと CG-SR Ⅲ /CJV300/CJV150 シリーズのトンボ読み取り機能により、より高い精度で長尺の輪郭カットを行うことができます。 
分割方向	中間トンボの分割方向を設定します。 ↕ ↔
分割数	中間トンボの分割数を設定します。 [2 ～ 10] の範囲で分割数を指定してください。

重 要！

- 中間トンボを設定する場合、トンボ間が 50mm 以上になるように中間トンボの分割数を設定してください。

4 トンボが作成されます。
このデータをプリンタで
出力します。

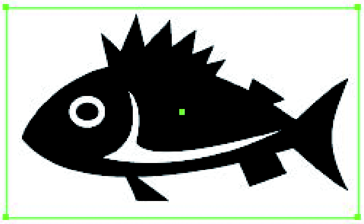


- トンボを作成するたびに、「FC トンボレイヤー 1」「FC トンボレイヤー 2」... と、新たなレイヤーが作成され、その中にトンボデータが作成されます。ただし、FineCut で認識できるトンボは 1 セットのみです。複数のトンボセットを作成した場合は、不要なトンボレイヤーを非表示にしてください。

CF2/DC/CF3 シリーズ

1

Illustrator で、トンボを作成する位置に合わせて、長方形でオブジェクトを囲みます。



2

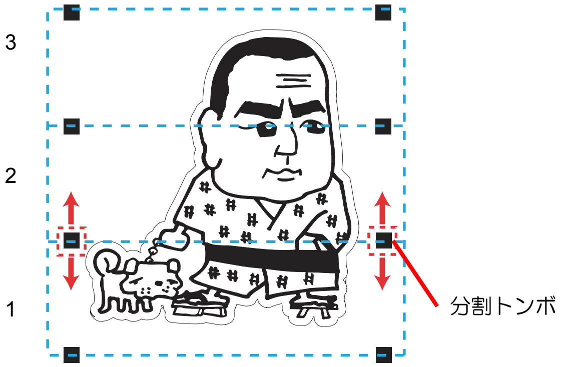
FineCut メニューの **[** トンボ作成 **]** ボタンをクリックします。

3

トンボサイズ等を設定します。

設定したら [OK] をクリックします。

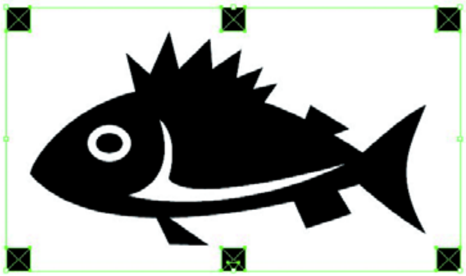
項目	説明
トンボ形状	トンボの形状を選択します。 ・CG シリーズとトンボを兼用する場合は、 を選択してください。
トンボサイズ	トンボのサイズを設定します。 下の [推奨トンボサイズ] 以上のサイズを設定してください。
推奨トンボサイズ	推奨トンボサイズを表示します。
印刷方向マークを付加する	トンボ作成時に▼マークを付加します。 前後の判別が難しいデータの場合、このマークを付けておくと、印刷済みメディアを正しい向きでプロッタにセットできます。

項目	説明
トンボ分割	分割したエリアごとにカットします。 オブジェクトが大きすぎてプロッタのカットエリアに収まらない場合に使用してください。 （カット方法については ☞ P.3-32） • 下の図の場合、1 ～ 3 の 3 回に分けてカットします。  • 生成した分割トンボの位置は、Illustrator の「ダイレクト選択ツール」で選択して変更できます。 トンボの位置を変更するときは、分割方向（上の図の場合は縦方向）に揃っている必要があります。 トンボは左右（または上下）で一対になっています。位置変更をするときは必ず左右一緒に変更してください。 • [トンボ形状] で を選択した場合、この機能は使用できません。

重 要！

• CF2/DC/CF3 シリーズ本体側の設定を、ここでの設定に合わせてください。本体側の設定項目 : [トンボサイズ][トンボケイジョウ] 設定について詳しくは、本体の取扱説明書をご覧ください。

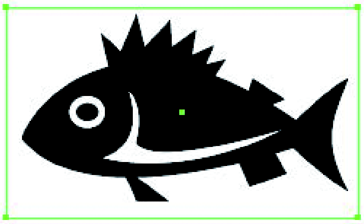
4 トンボが作成されます。
このデータをプリンタで
出力します。



• トンボを作成するたびに、「FC トンボレイヤー 1」「FC トンボレイヤー 2」... と、新たなレイヤーが作成され、その中にトンボデータが作成されます。
ただし、FineCut で認識できるトンボは 1 セットのみです。複数のトンボセットを作成した場合は、不要なトンボレイヤーを非表示にしてください。

CFL-605RT

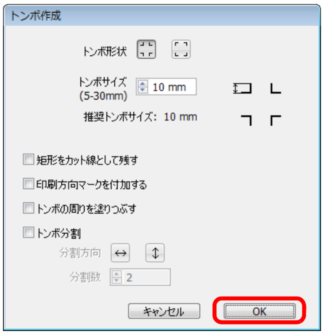
1 Illustrator で、トンボを作成する位置に合わせて、長方形でオブジェクトを囲みます。



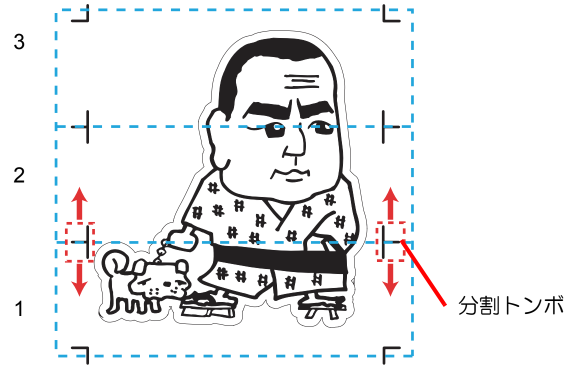
2 FineCut メニューの [トンボ作成] ボタンをクリックします。

3 トンボの形状などを設定します。

設定したら [OK] をクリックします。

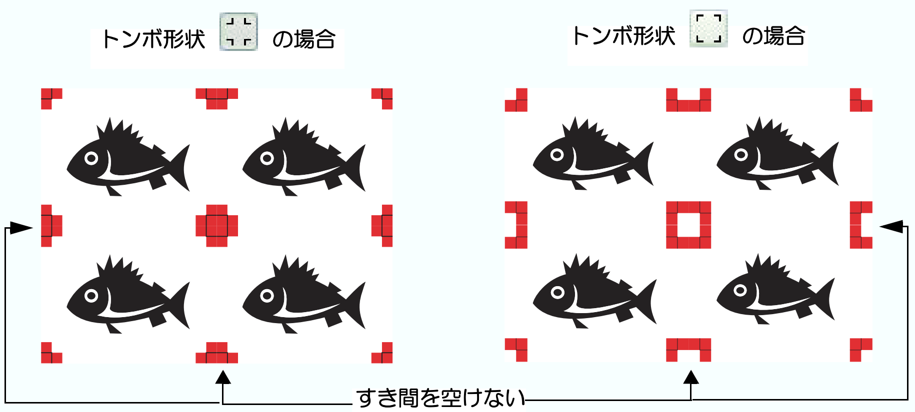


項目	説明
トンボ形状	トンボの形状を選択します。 • CG/CF シリーズとトンボを兼用する場合は、 を選択してください。
トンボサイズ	トンボのサイズを設定します。 下の [推奨トンボサイズ] 以上のサイズを設定してください。
推奨トンボサイズ	推奨トンボサイズを表示します。
矩形をカット線として残す	手順 1 で作成した長方形をカットしたい場合、チェックを付けます。
印刷方向マークを付加する	トンボ作成時に▼マークを付加します。 前後の判別が難しいデータの場合、このマークを付けておくと、印刷済みメディアを正しい向きでプロッタにセットできます。
トンボの周りを塗りつぶす	トンボの周りを赤色のスポットカラーで塗りつぶします。地の色が白以外のメディアで、トンボが正常に認識されない場合に使用すると、トンボが認識できることがあります。 • 推奨は赤 (デフォルト) または白です。白で印刷する方法は、ご使用のプリンタの取扱説明書を参照してください。一般的には、赤色のスポットカラーを白インクに割り当てて印刷できます。

項目	説明
トンボ分割	分割したエリアごとにカットします。 オブジェクトが大きすぎてプロッタのカットエリアに収まらない場合に使用してください。（カット方法については P.3-41） • 下の図の場合、1 ～ 3 の 3 回に分けてカットします。  • 生成した分割トンボの位置は、Illustrator の「ダイレクト選択ツール」で選択して変更できます。 トンボの位置を変更するときは、分割方向（上の図の場合は縦方向）に揃っている必要があります。 トンボは左右（または上下）で一対になっています。位置変更をするときは必ず左右一緒に変更してください。

重 要！

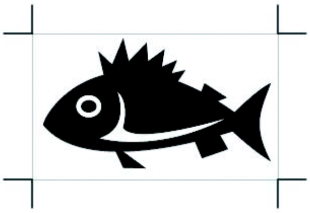
- トンボの周りを赤または白で塗りつぶしてもトンボを認識できない場合、他の色で塗りつぶしても効果は得られません。また、メディアやインクの種類によっては、トンボの色を変更しても認識されない場合があります。
- この機能を使って連続カット (P.3-17) する場合は、トンボのデータ間にすき間ができないように印刷してください。



- CFL-605RT 本体側の設定を、ここでの設定に合わせてください。本体側の設定項目 : [トンボサイズ][トンボケイジョウ] 設定について詳しくは、本体の取扱説明書をご覧ください。

4

トンボが作成されます。
このデータをプリンタで
出力します。



- トンボを作成するたびに、「FC トンボレイヤー 1」「FC トンボレイヤー 2」... と、新たなレイヤーが作成され、その中にトンボデータが作成されます。ただし、FineCut で認識できるトンボは 1 セットのみです。複数のトンボセットを作成した場合は、不要なトンボレイヤーを非表示にしてください。

CG-EX シリーズ

トンボを認識して、カットします。

1 プリント済みのシートをプロッタにセットし、トンボ検出を行います。

トンボ検出方法の詳細は、CG-EX シリーズの取扱説明書を参照してください。

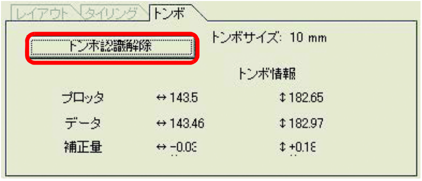
2 FineCut メニューの [プロット] ボタンをクリックします。

- Illustrator 上にカットしないオブジェクトがある場合は、必要なオブジェクトとトンボデータのみを選択し、 [選択パスをプロット] ボタンをクリックします。

3 [トンボ] タブをクリックし、[トンボ認識] をクリックします。

トンボを認識します。

- トンボ認識を中止する場合は、[トンボ認識解除] をクリックします。

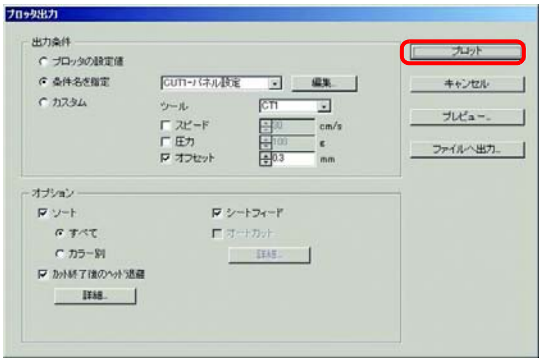


4

(プロットボタン) を
クリックします。

5

[プロット] をクリックし
てカットします。



CG-FX/CG-FXII/CG-75ML/CG-60SR/CG-100SRII/CG-SRIII/CJV30/TPC/CJV300/CJV150 シリーズ

重 要！
- 「プロッタ / ユーザー設定」の [プロッタ] 画面で [その他の CG シリーズ] を選択した場合、トンボカットはできません。

1 つの画像を連続してカットする

トンボを認識して、1 つの画像を複数カットできます。トンボは高速で検出できます。

重 要！
- Illustrator 上のトンボデータは、1 セットのみにしてください。
同一データを複数印刷するときは、Illustrator に同一のデータを並べるのではなく、ご使用の印刷ソフトウェア (RIP) のコピー機能を使用してください。
- 画像は、XY 方向 (縦横) を揃えて作成してください。

- CJV30/CJV300/CJV150 シリーズおよび TPC は RasterLink と連係し、プリントとカットを一度の操作で行うこともできます。（☞ P.4-14）

1 プリント済みのシートをプロッタにセットし、トンボ検出を行います。

2 FineCut メニューの [プロット] ボタンをクリックします。

- Illustrator 上にカットしないオブジェクトがある場合は、必要なオブジェクトとトンボデータのみを選択し、 [選択パスをプロット] ボタンをクリックします。

3

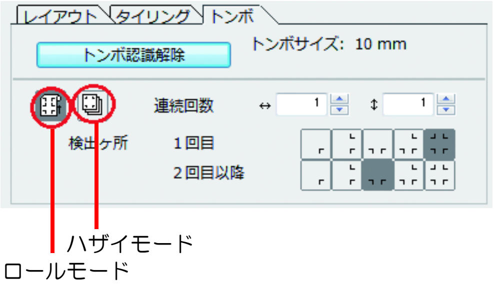
トンボ作成機能を使う

3 [トンボ] タブをクリックし、[トンボ認識] をクリックします。

トンボを認識します。

4 連続認識するトンボについて設定します。

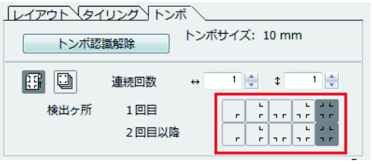
トンボ認識を中止する場合は、[トンボ認識解除] をクリックします。



項目		説明
ID 認証モード		☞ P.3-23
ロールモード / ハザイモード *1		カットするシートを選択します。
連続回数		回数が不明な場合は、[9999]（最大値）を入力します。
	ロールモードの場合	縦 / 横方向のデータ個数を設定します。
	ハザイモードの場合	交換するシートの枚数を設定します。
検出ヶ所	**1 回目**	1 回目のトンボ検出ヶ所を選択します。
	2 回目以降	2 回目からのトンボ検出ヶ所を選択します。

*1. CJV300/150 シリーズは、ハザイモードに対応していません。

- 大きいデータの場合、トンボ検出箇所を多くすると、より精密にカットできます。小さいデータの場合、2 回目以降のトンボ検出箇所を少なくすると、トンボ検出時間を短縮できます。
- 中間トンボがある場合、検出箇所は 1 回目、2 回目以降ともに 4 点検出が設定され、他の検出箇所は選択できません。

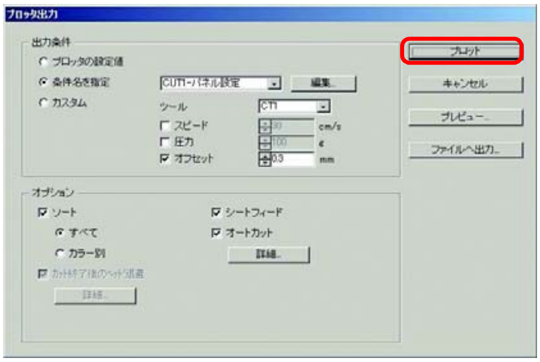


5

(プロットボタン) をクリックします。

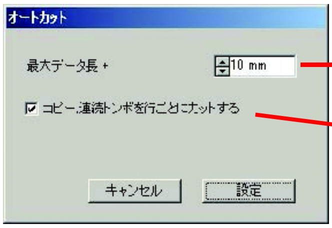
6

[プロット] をクリックしてカットします。



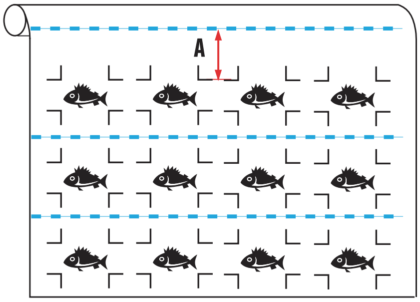
オートカットについて
(CG-FX/FXII/75ML, CJV30/TPC/CJV300/CJV150 シリーズ選択時のみ)

- [オートカット] にチェックを付けると、カットが終了するたびに自動的にシートを切り離します。
  オートカットを行う場合は、この画面で [オートカット] に必ずチェックを付けてください。プロッタ側で [オートカット] 設定をオンにしても、ここにチェックがないと、オートカットされません。また、プロッタ側で [オートカット] 設定をオフにしても、ここにチェックを付けた場合はオートカットを行います。
- [オートカット] 項目の下にある [詳細] ボタンをクリックし、下記の画面で設定します。



最後の行からカットする位置までの長さを設定します。(下図の A の部分)

データを行ごとにカットする場合にチェックを付けます。(下図の青線の部分)
CJV300/150 は行ごとカットには対応していません。



7 (以降はハザイシートで複数枚カットする場合のみ)

重 要 !

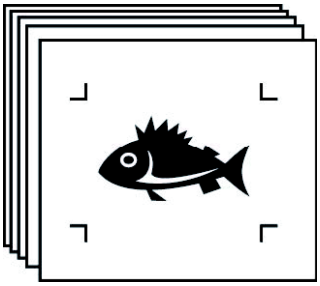
- CJV300/150 シリーズは、ハザイモードに対応していません。

1 枚目をカットしたら、プロッタに右のメッセージが表示されます。
次のシートをセットしてください。

シートコウカン	シテクダサイ

8 トンボを検出し、カットを行います。

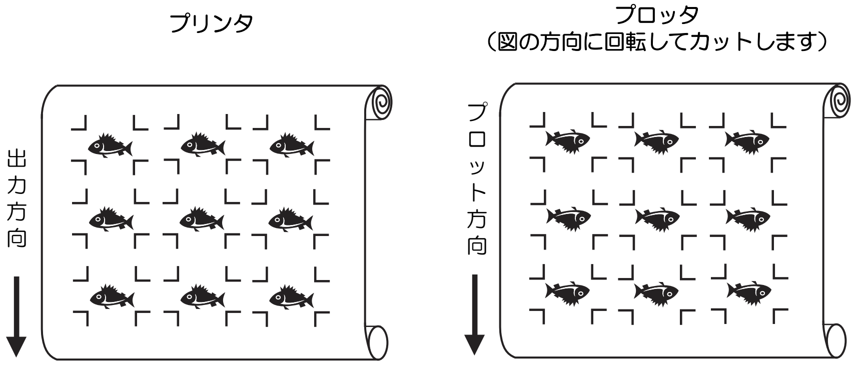
シートの枚数分、手順 7、8 を繰り返します。



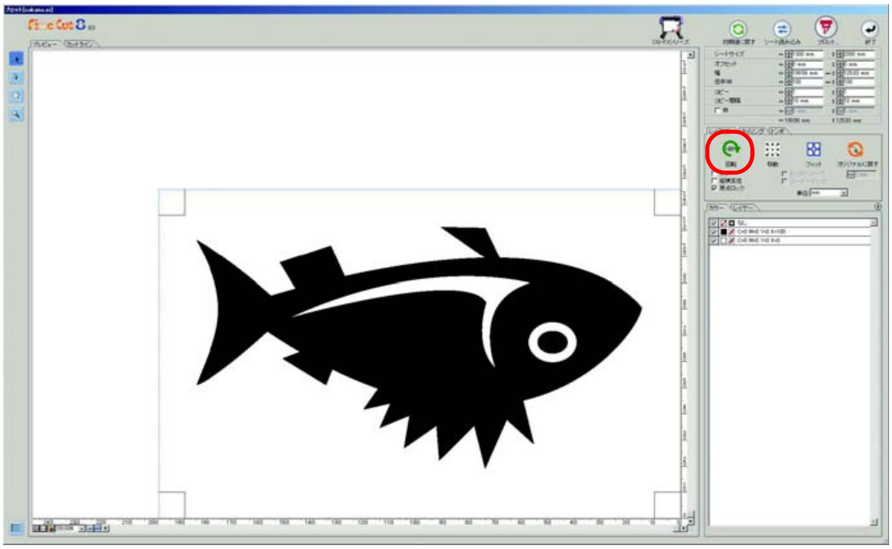
- CG-FX/CG-FXII をお使いの場合は、自動でトンボを検出します。
  その他の機種をお使いの場合は、シートを交換するたびに、手動でトンボを検出する必要があります。詳しくはプロッタの取扱説明書を参照してください。

巻き取り機能付きプリンタ (MIMAKI JV シリーズなど) でプリントしたシートを、紙管に巻いてある場合

紙管をそのままプロッタにセットして連続カットできます。ロールシートを巻き戻す必要はありません。



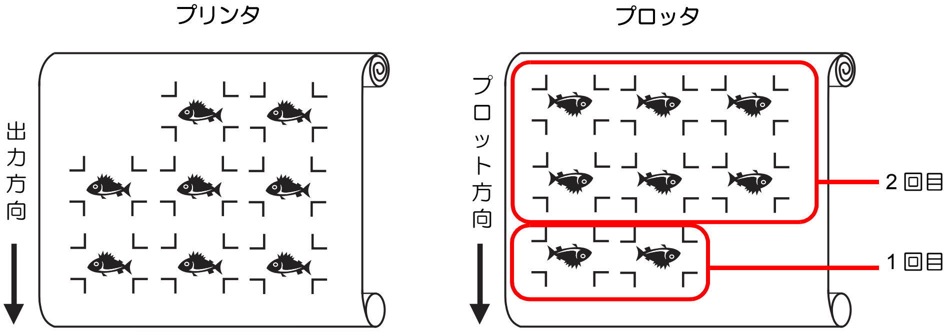
(1) 手順 2 の後、[レイアウト] タブで [回転] をクリックし、180° に設定します。



(2) 手順 3 からの操作を行います。

プリントした連続データが、行の途中までの場合

データを 2 回に分けてカットすると、全てのデータがカットできます。

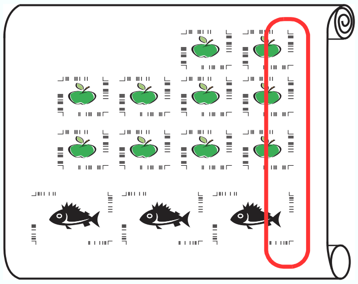


複数の画像を連続してカットする（CG-75ML のみ）

複数の異なる画像について、ID 情報付きトンボを使って、正確な位置を判断しながら自動でカットします。

重 要！

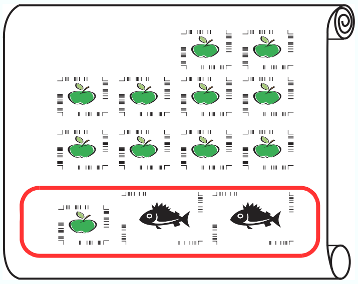
- トンボ形状、トンボサイズ、線幅は全ての画像で統一してください。(☞ P.3-7)
  統一されていないと、正確にトンボを検出できません。
- Illustrator 上のトンボデータは、1 セットのみにしてください。
  同一データを複数印刷するときは、Illustrator に同一のデータを並べるのではなく、ご使用の印刷ソフトウェア (RIP) のコピー機能を使用してください。
- ID 情報付きトンボを使用する場合は、プロッタにある「トンボケンシュツ」で、トンボ検出点数を「1 テン」に設定してください。
- プロッタ側の原点 (「ゲンテン」) を「ミギシタ」に設定してください。
- 印刷時に右端 (原点側) のトンボが揃うようにレイアウトしてください。



↓プロット方向

- Y 方向 (横) に異なる画像を並べることはできません。

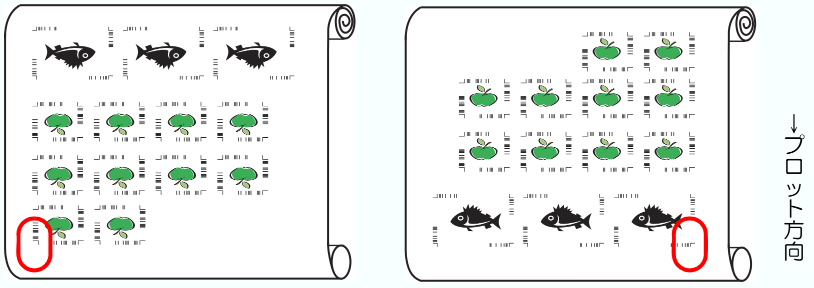
NG



↓プロット方向

1 プリント済みのシートをプロッタにセットし、トンボ検出を行います。

トンボ検出方法の詳細は、プロッタに付属の取扱説明書をご覧ください。

> **重 要！**
>
> ・ プリント済みのシートを反対方向にセットした場合は、左下のトンボを検出してください。
>
> 
>
>
> 反対方向にセット　　　　同じ方向にセット

2 FineCut メニューの [プロット] ボタンをクリックします。

・ Illustrator 上にカットしないオブジェクトがある場合は、必要なオブジェクトとトンボデータのみを選択し、[選択パスをプロット] ボタンをクリックします。

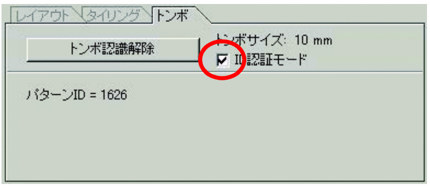
3 [トンボ] タブをクリックし、[トンボ認識] をクリックします。

トンボを認識します。

・ ID 認証モードでカットする場合、回転方向は自動で認識されます。

4

[ID 認証モード] にチェックが付いていることを確認します。



5

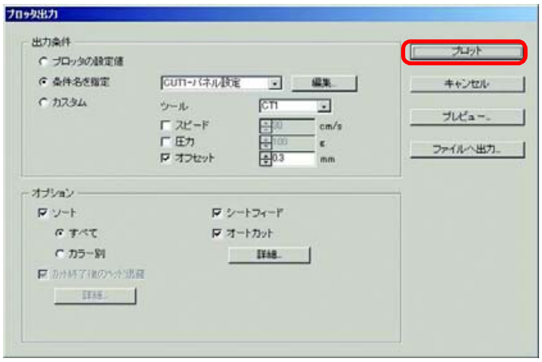
(プロットボタン) をクリックします。

6

[プロット] をクリックします。

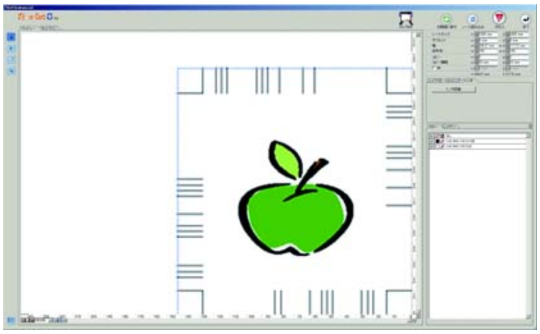
データが送信され、プロッタはローカルモードになります。

（オートカットについては ☞ P.3-19）



7

一度にカットしたい他の画像も同様に、手順 2 ～ 6 を繰り返します。



- データを送信する順番は、印刷の順番と違っていても問題ありません。

8

プロッタの [REMOTE] ボタンを押します。

カットを開始します。

シールの輪郭と台紙を切り離す線を同時にカットする（CG-FX/CG-FXII を除く）

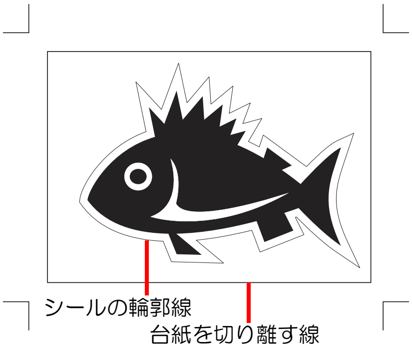
シールの輪郭と、台紙を切り離すための点線 (点線カット) を同時にカットできます。

1

Illustrator でレイヤーを分けてデータを作成し、プリントします。

例）
FCフレームレイヤー1⇒シールの輪郭線

FC フレームレイヤー 2 ⇒台紙を切り離す線
（トンボ作成時、[矩形をカット線で残す] を指定して作成した線です。
☞ P.3-7）



2

プリント済みのシートをプロッタにセットし、トンボ検出を行います。

トンボ検出方法の詳細は、プロッタに付属の取扱説明書を参照してください。

3

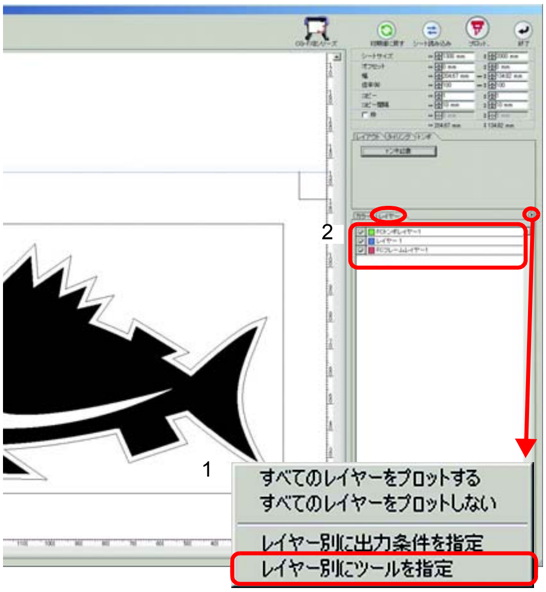
FineCut メニューの [プロット] ボタンをクリックします。

4

[レイヤー] タブをクリックして、各レイヤーのカット条件を設定します。

例）
1.[レイヤー別にツールを指定] を選択
2.FC フレームレイヤー 1
⇒ [CT1] に設定
FC フレームレイヤー 2
⇒ [HLF] に設定

（詳しくは ☞ P.5-16）



5

プロッタ側でカッターの刃出し量と各ツールのカット圧を調整します。

- カッターの刃出し量の調整方法
  プロッタの取扱説明書「刃先の調整」を参照してください。
- 各ツールのカット圧
  「CT1」⇒台紙にカッター刃先の跡が付く程度の圧力
  「HLF」⇒台紙を切り抜ける圧力

6

[トンボ] タブをクリックし、[トンボ認識] をクリックします。

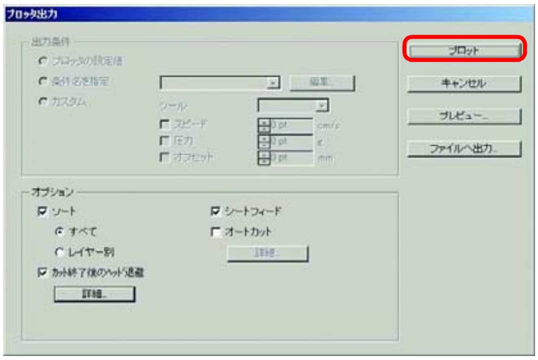
トンボを認識します。

7

(プロットボタン) をクリックします。

8

[プロット] をクリックしてカットします。



9

カットが終了したら、台紙を切り離します。

CF2/DC/CF3 シリーズ

トンボのカット

1 プリント済みのシートをプロッタにセットし、トンボ検出を行います。

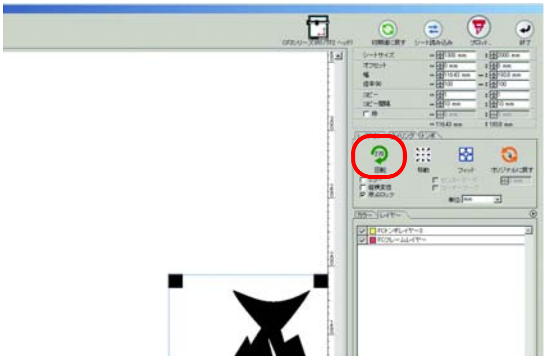
トンボ検出方法の詳細は、プロッタに付属の取扱説明書をご参照ください。

- トンボの形状により、ライトポインタを正しい位置に合わせてください。詳しくは、プロッタに付属の取扱説明書「トンボ検出手順」をご覧ください。

2 **FineCut** メニューの [プロット] ボタンをクリックします。

- Illustrator 上にカットしないオブジェクトがある場合は、必要なオブジェクトとトンボデータのみを選択し、[選択パスをプロット] ボタンをクリックします。

3 (回転ボタン) をクリックして、プロッタにセットした画像と、**FineCut** に表示された画像の向きを合わせます。



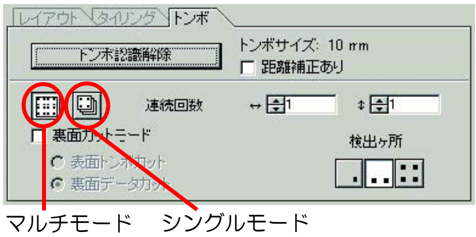
4 [トンボ] タブをクリックし、[トンボ認識] をクリックします。

トンボを認識します。

3

トンボ作成機能を使う

5 カットの種類を選びます。



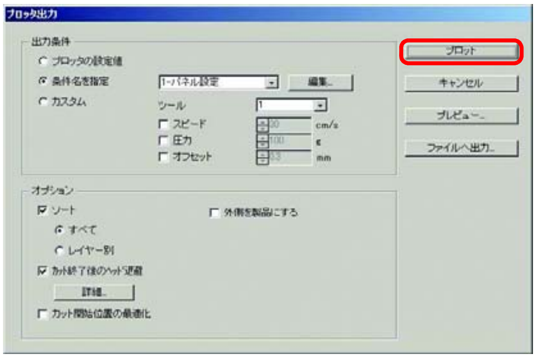
項目	説明
距離補正あり	実際のデータとプリント済みメディアのサイズが違う場合、チェックを付けると、プリント済みメディアに合わせてフレームをカットできます。
マルチモード / シングルモード	• マルチモード： 1 枚のメディアに連続して印刷された画像をカットするときに選択します。 • シングルモード： トンボデータが 1 セットのみ配置されているシートをカットするときに選択します。
連続回数	• 連続カットする場合： 連続カットするシートの枚数を入力します。 • 連続カットしない場合： 縦横とも「1」になっていることを確認します。
裏面カットモード	裏面からカットするときにチェックを付けます。 段ボールなど、表面からカットすると仕上がりがきれいにならないメディアの場合にお使いください。 (P.3-35) • トンボを作成するとき、トンボ形状で を選択した場合、この機能は使用できません。
検出ヶ所	トンボの検出ヶ所（1、2、4 点）を選択します。

6 (プロットボタン) をクリックします。

• カラー別 / レイヤー別に出力条件を設定する場合は、「プロット」画面で [カラー / レイヤー別に出力条件を設定] を選択して設定してください。
(P.5-16)

7

[プロット] をクリックしてカットします。



8

（以降はシングルモードで複数枚カットする場合のみ）
1 枚目をカットしたら、次のシートをプロッタにセットします。

9

プロッタの VACUUM キーを押して「サイカイ」を選択します。

CE キーを押すと、連続カットを中止します。

10

トンボを検出します。

トンボ検出方法の詳細は、プロッタに付属の取扱説明書をご参照ください。

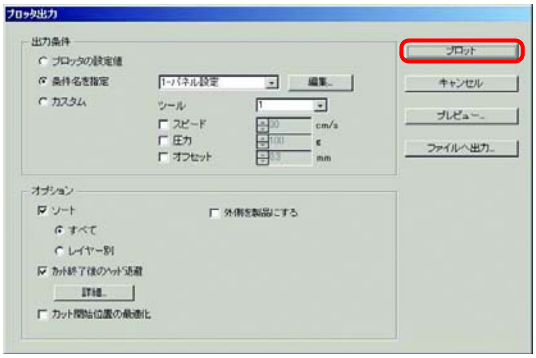
11

(プロットボタン) をクリックします。

12

[プロット] をクリックしてカットします。

シートの枚数分、手順 8 ～ 12 を繰り返します。



トンボ分割カット

1 度ではカットできない大きなデータを複数回に分割してカットできます。

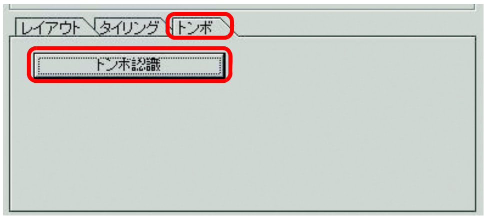
> **重要！**
> - トンボを作るときに必ず [トンボ分割] を選んでください（☞ P.3-10）。
> トンボ分割が設定されていないデータは分割カットできません。

1 トンボ分割したデータを **Illustrator** で選択します。

2 **FineCut メニューの [プロット] ボタンをクリックします。**

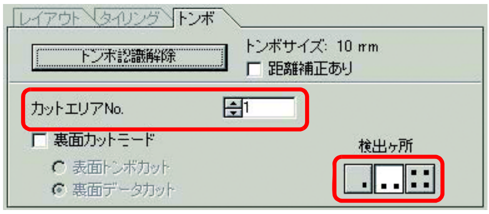
3 **[トンボ] タブをクリックし、[トンボ認識] をクリックします。**

トンボを認識します。



4 **トンボを設定します。**

- カットエリア No.
「1」になっていることを確認します。
- 検出ヶ所
トンボの検出ヶ所（1 点 ,2 点 , 4 点）を選びます。

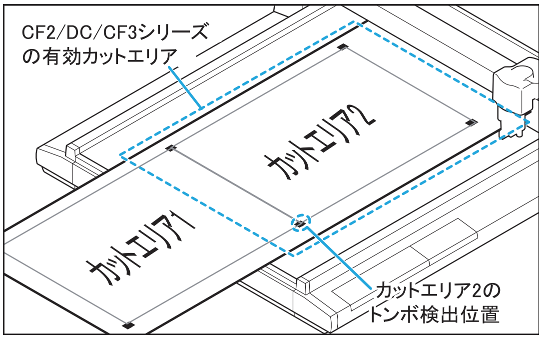


5 **(プロットボタン) をクリックします。**

6 [プロット] をクリックしてカットします。

7 カットが終わったら、メディアを移動します。

メディアを移動するときは、カットするエリアのトンボがプロッタの有効カットエリアにすべて入るようにしてください。



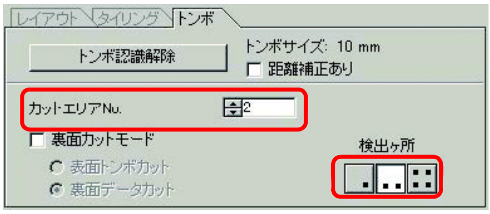
- トンボ分割カットを実行すると、プロッタに「＊＊＊オフスケール＊＊＊」と表示されますが、動作等に問題はありません。

8 カットエリア「2」のトンボを検出します。

トンボ検出方法の詳細は、プロッタに付属の取扱説明書をご参照ください。

9 トンボを設定します。

- カットエリア No.
  「2」に変更します。
- 検出ヶ所
  トンボの検出ヶ所 (1 点 ,2 点 , 4 点) を選びます。

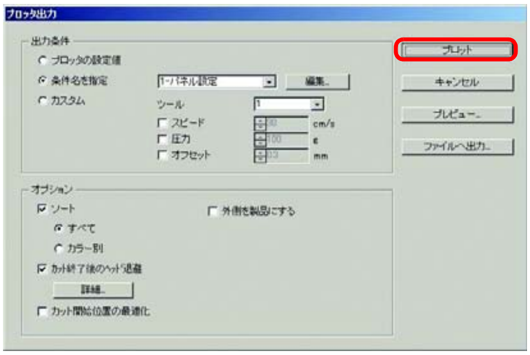


10 (プロットボタン) をクリックします。

11

[プロット] をクリックしてカットします。

分割した各トンボについて、手順 7 ～ 11 を繰り返します。

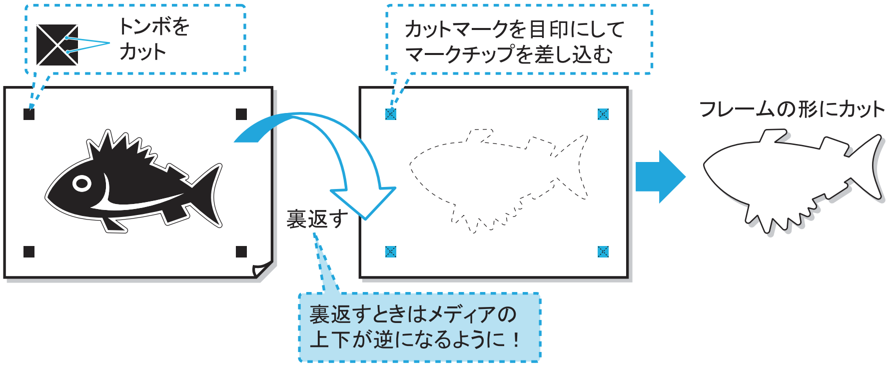


裏面カット

プリント面 (表面) からではなく、裏面からカットできます。
段ボールなど、表面からカットすると仕上がりがきれいにならないメディアの場合にお使いください。

重 要 !

- 裏面カットでは、お使いになるマークチップに合わせてトンボのサイズを設定してください。トンボが小さすぎると、マークチップを差し込めないことがあります。
- 3mm 以上の厚さのメディアを使用してください。
- トンボ形状で を選択した場合、この機能は使用できません。



1 プリント面を表にしてメディアをプロッタにセットし、トンボ検出を行います。

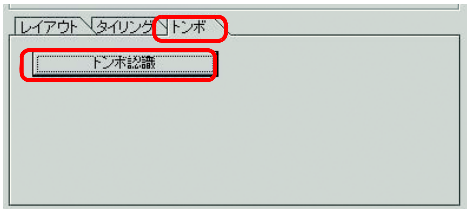
トンボ検出方法の詳細は、プロッタに付属の取扱説明書をご参照ください。

2 FineCut メニューの［プロット］ボタンをクリックします。

- Illustrator 上にカットしないオブジェクトがある場合は、必要なオブジェクトとトンボデータのみを選択し、 [選択パスをプロット] ボタンをクリックします。

3 [トンボ] タブをクリックし、[トンボ認識] をクリックします。

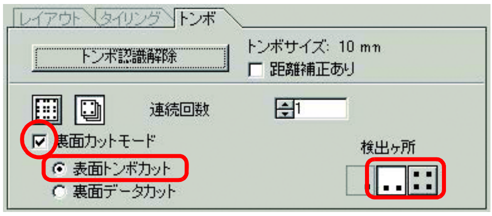
トンボを認識します。



3

トンボ作成機能を使う

4 裏面カットの設定をします。

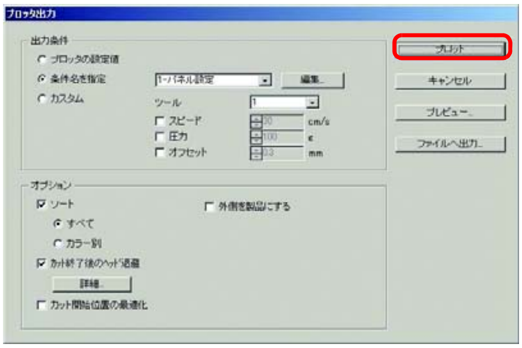


- 裏面カットモード
  チェックを付け、[表面トンボカット] を選択します。
- 検出ヶ所
  トンボの検出ヶ所（2 点 ,4 点）を選びます。

> **重 要 !**
> - [表面トンボカット] を選択する前に、トンボの部分にマークチップがないか確認してください。マークチップがあるときにトンボカットをすると、カッターによりマークチップがはじかれ大変危険です。
> - [表面トンボカット] を選択すると、トンボの検出ヶ所 （1 点）は選択できません。

5 (プロットボタン) をクリックします。

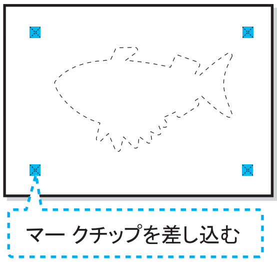
6 [プロット] をクリックしてカットします。



7 上下逆にしてメディアを裏返し、プロッタにセットします。

8 カットマークを目印にして、マークチップを差し込みます。

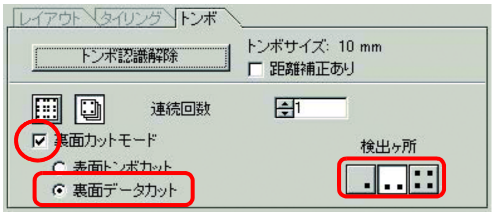
マークチップがトンボの代わりになります。



9 トンボ検出を行います。

トンボ検出方法の詳細は、プロッタに付属の取扱説明書をご参照ください。

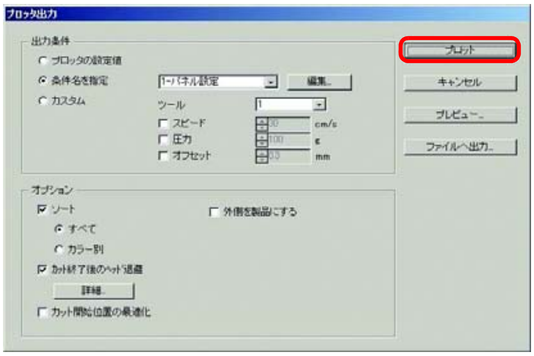
10 裏面カットの設定をします。



- 裏面カットモード
  チェックを付け、[裏面データカット] を選択します。
  読み込んだデータが上下逆に表示されます。
- 検出ヶ所
  トンボの検出ヶ所（1 点 ,2 点 ,4 点）を選びます。

11 (プロットボタン) をクリックします。

12 [プロット] をクリックしてカットします。



CFL-605RT

トンボのカット

1 プリント済みのシートをプロッタにセットし、トンボ検出を行います。

トンボ検出方法の詳細は、プロッタに付属の取扱説明書をご参照ください。

- トンボの形状により、ライトポインタを正しい位置に合わせてください。
  詳しくは、プロッタに付属の取扱説明書「トンボ検出手順」をご覧ください。

2 FineCut メニューの [プロット] ボタンをクリックします。

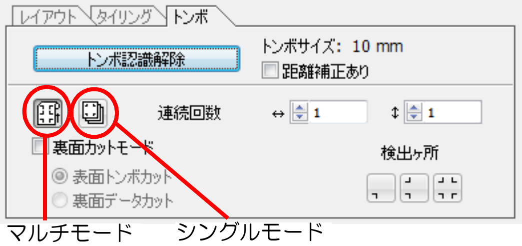
- Illustrator 上にカットしないオブジェクトがある場合は、必要なオブジェクトとトンボデータのみを選択し、[選択パスをプロット] ボタンをクリックします。

3 (回転ボタン) をクリックして、プロッタにセットした画像と、FineCut に表示された画像の向きを合わせます。

4 [トンボ] タブをクリックし、[トンボ認識] をクリックします。

トンボを認識します。

5 カットの種類を選びます。



項目	説明
距離補正あり	実際のデータとプリント済みメディアのサイズが違う場合、チェックを付けると、プリント済みメディアに合わせてフレームをカットできます。
マルチモード / シングルモード	• マルチモード : 1 枚のメディアに連続して印刷された画像をカットするときに選択します。 • シングルモード : トンボデータが 1 セットのみ配置されているシートをカットするときに選択します。
連続回数	• 連続カットする場合 : 連続カットするシートの枚数を入力します。 • 連続カットしない場合 : 縦横とも「1」になっていることを確認します。
裏面カットモード	裏面からカットするときにチェックを付けます。 段ボールなど、表面からカットすると仕上がりがきれいにならないメディアの場合にお使いください。 (P.3-44)
検出ヶ所	トンボの検出ヶ所（1、2、4 点）を選択します。

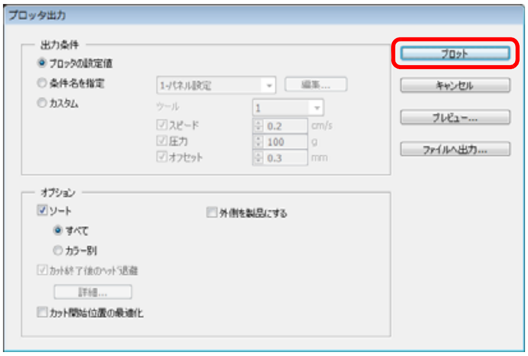
6 (プロットボタン) をクリックします。

• カラー別 / レイヤー別に出力条件を設定する場合は、「プロット」画面で [カラー / レイヤー別に出力条件を設定] を選択して設定してください。
(P.5-16)

3 トンボ作成機能を使う

7

[プロット] をクリックしてカットします。



8

（以降はシングルモードで複数枚カットする場合のみ）
1 枚目をカットしたら、次のシートをプロッタにセットします。

9

プロッタの VACUUM キーを押して「サイカイ」を選択します。

END キーを押すと、連続カットを中止します。

10

トンボを検出します。

トンボ検出方法の詳細は、プロッタに付属の取扱説明書をご参照ください。

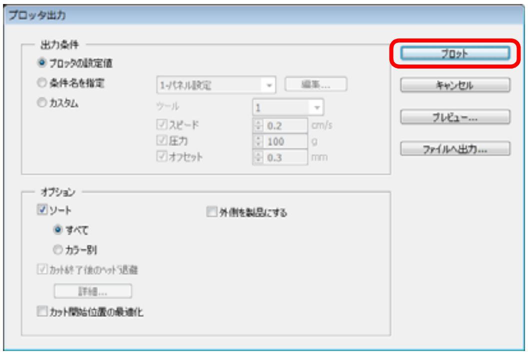
11

(プロットボタン) をクリックします。

12

[プロット] をクリックしてカットします。

シートの枚数分、手順 8 ～ 12 を繰り返します。



トンボ分割カット

1 度ではカットできない大きなデータを複数回に分割してカットできます。

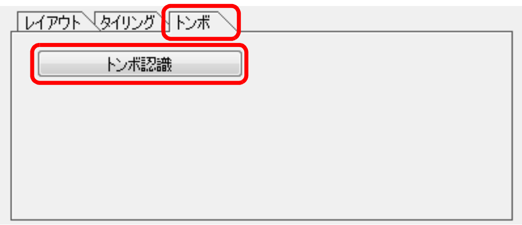
> **重 要 !**
> ・トンボを作るときに必ず [トンボ分割] を選んでください（☞ P.3-13）。
> トンボ分割が設定されていないデータは分割カットできません。

1 トンボ分割したデータを **Illustrator** で選択します。

2 **FineCut** メニューの **[** プロット **]** ボタンをクリックします。

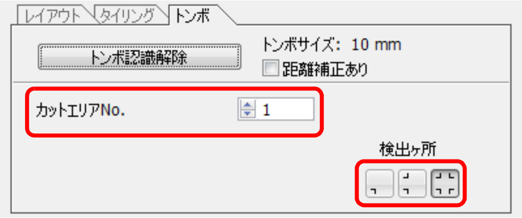
3 **[** トンボ **]** タブをクリックし、**[** トンボ認識 **]** をクリックします。

トンボを認識します。



4 トンボを設定します。

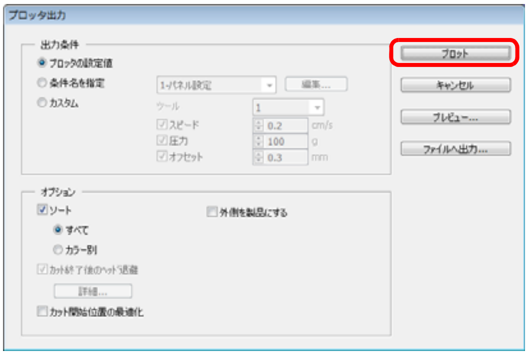
- カットエリア No.
  「1」になっていることを確認します。
- 検出ヶ所
  トンボの検出ヶ所（1 点 ,2 点 , 4 点）を選びます。



5 **(** プロットボタン **)** をクリックします。

6

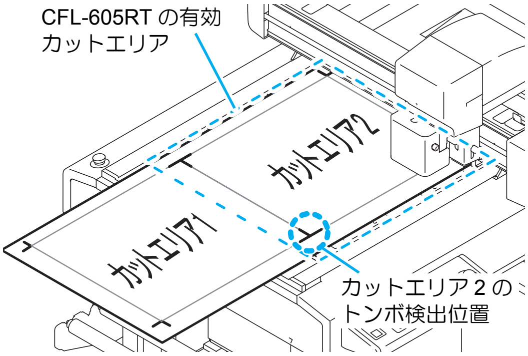
[プロット] をクリックしてカットします。



7

カットが終わったら、メディアを移動します。

メディアを移動するときは、カットするエリアのトンボがプロッタの有効カットエリアにすべて入るようにしてください。



- トンボ分割カットを実行すると、プロッタに「＊＊＊オフスケール＊＊＊」と表示されますが、動作等に問題はありません。

8

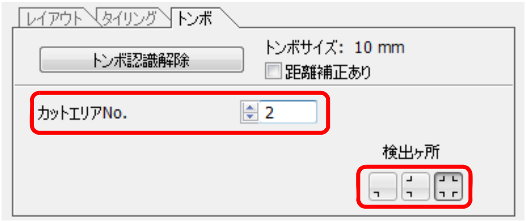
カットエリア「2」のトンボを検出します。

トンボ検出方法の詳細は、プロッタに付属の取扱説明書をご参照ください。

9

トンボを設定します。

- カットエリア No.
  「2」に変更します。
- 検出ヶ所
  トンボの検出ヶ所 (1 点 ,2 点 , 4 点) を選びます。



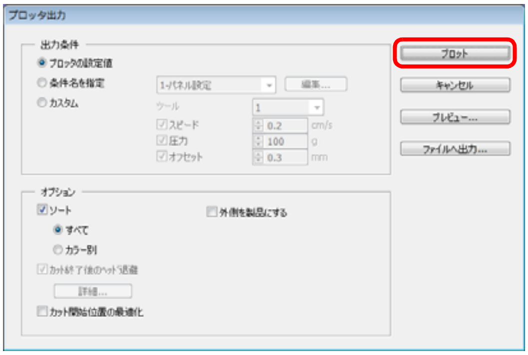
10

(プロットボタン) をクリックします。

11

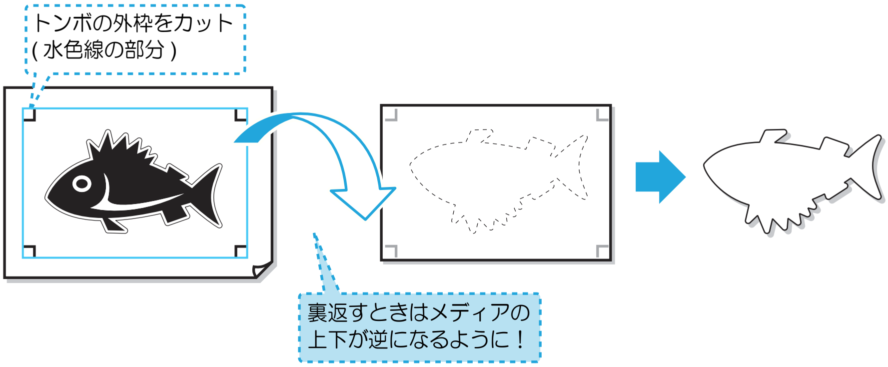
[プロット] をクリックしてカットします。

分割した各トンボについて、手順 7 ～ 11 を繰り返します。



裏面カット

プリント面 (表面) からではなく、裏面からカットできます。
プリント面 (表面) ではない面に罫引きを行いたい場合や、段ボールなど、表面からカットすると仕上がりがきれいにならないメディアの場合にお使いください。



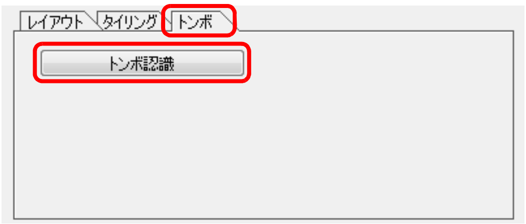
重要！	• 裏面カットを行う前に、プロッタの「カットオフセット」の設定を行っておきます。 カットオフセットの設定は、初めて裏カットを行う場合と、「ワークガイド」をはずして再度セットした場合に必ず行う必要があります。毎回の設定は必要ありません。 • カットオフセットの設定に、このオフセットカット (表面トンボを読み込み四角く切り抜くカット) をする場合のツールを指定します。 • 詳細は、プロッタに付属の取扱説明書をご参照ください。

1 **FineCut メニューの［プロット］ボタンをクリックします。**

• Illustrator 上にカットしないオブジェクトがある場合は、必要なオブジェクトとトンボデータのみを選択し、 [選択パスをプロット] ボタンをクリックします。

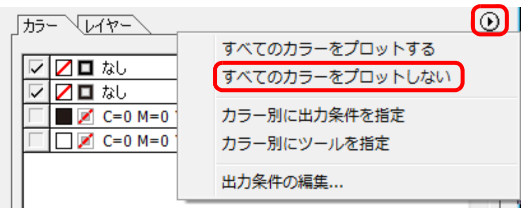
2 **[トンボ] タブをクリックし、[トンボ認識] をクリックします。**

トンボを認識します。



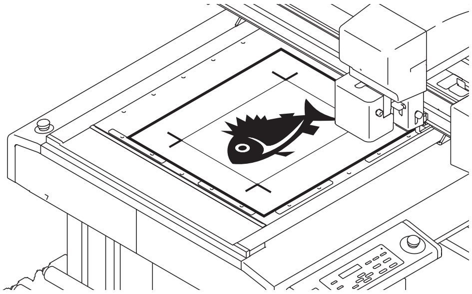
3 裏面カットの設定をします。

- 裏面カットモード
  チェックを付け、[表面トンボカット] を選択します。
- 検出ヶ所
  トンボの検出ヶ所は 4 点のみになります。
- カラー／レイヤー　カット選択
  表面でカットしたいパスを選択します。パスのチェックを外すと、プレビュー表示のパスも表示されなくなります。



- 表面で何もカットしない場合は、右上の三角のボタンをクリックし、メニュー内の「すべてのカラー / レイヤーをプロットしない」を選択します。
  全てのチェックが OFF となります。
- 表面でカットするデータがない場合でも、トンボ 4 点を検出し、トンボの周りを四角く切り抜きます。

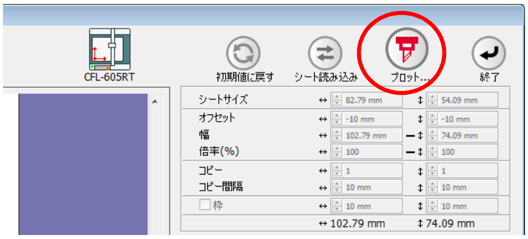
4 プレビュー表示と同じ向きでワークをプロッタにセットし、トンボ検出を行います。



トンボ検出方法の詳細は、プロッタに付属の取扱説明書をご参照ください。

5 REMOTE を押し、プロッタをリモートにします。

6 (プロットボタン) をクリックします。



3

トンボ作成機能を使う

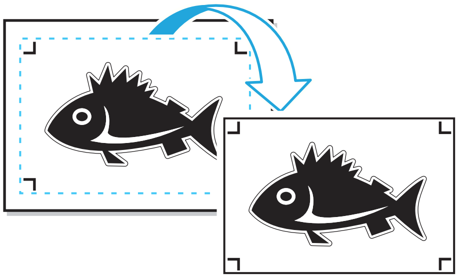
7

[プロット] をクリックしてカットします。

8

表面カットをした場合、トンボの周りを四角く切り抜きます

この四角を切り抜く場合の出力条件は、プロッタ側で設定します。



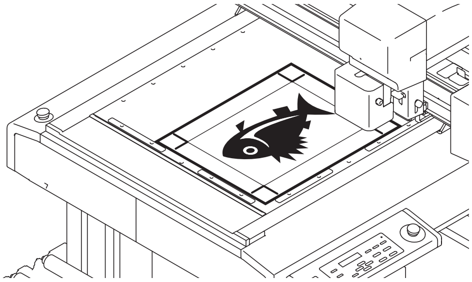
9

表面カットが終了すると自動的に「ローカル」モードになり、右上にヘッド退避します。

バキュームも OFF になります。

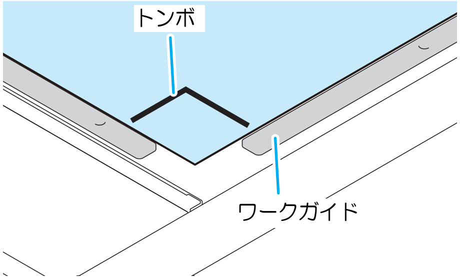
10

プレビュー表示と同じ向きになるようにワークを裏返して上下逆にし、プロッタにセットします。



- 裏面カット時は、印刷面でない方となります。(上下反転)
- 表面カットで四角く切り抜き、裏面カット時は上下反転させて左下角をワークガイドに付き当ててセットします。

- 厚みの薄いメディアの場合、ワークガイドの中にメディアが入り込んでしまうことがあります。メディアをセットする際は注意してください。



11

(REMOTE)を押し、プロッタをリモートにします。

12

裏面カットの設定をします。

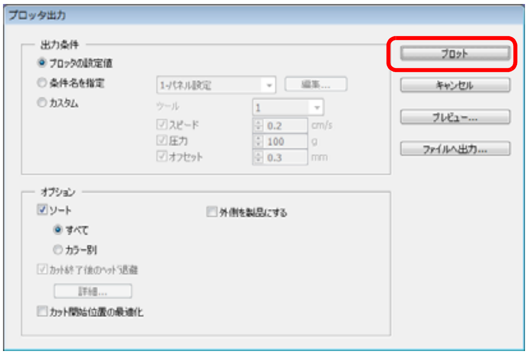
- 裏面カットモード
  チェックを付け、[裏面データカット] を選択します。
  読み込んだデータが上下逆に表示されます。
- 検出ヶ所
  裏面カット時はトンボ検出を行いません。
- カラー／レイヤー　カット選択
  裏面でカットしたいパスを選択します。パスのチェックを外すと、プレビュー表示のパスも表示されなくなります。

13

(プロットボタン) をクリックします。

14

[プロット] をクリックしてカットします。



【ハザイコピーを設定している場合】
手順 4、手順 5 で、コピー枚数分表面カットします。
手順 10、手順 11 でコピー枚数分裏面カットします。

- 裏面カットモード使用時は、シングルモードのみとなります。

第４章
便利な使い方 -FineCut メニューから

この章では ...

FineCut の便利な使い方について、 FineCut メニューからできることを説明します。

FineCut メニュー

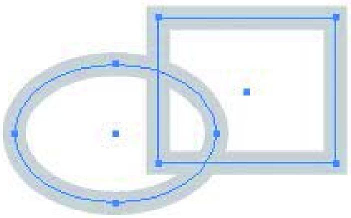
線幅・重なりを認識させる... 4-2
トラッピングを行う 4-3
パスを連結する.. 4-4
オブジェクトの周りに切り込みを入れる....................... 4-6
影 / ふち取りをつける... 4-8
プロットファイルを読み込む / 出力する...................... 4-10
輪郭を抽出する.. 4-12
RasterLink へ出力する (CJV30/TPC/CJV300/
CJV150 シリーズ).. 4-14
出力条件を設定する 4-20
線分を分割してカットする (CFL-605RT/CF/DC/CF2/
CF3(M ヘッドを除く）シリーズ)............................... 4-22

線幅・重なりを認識させる

オブジェクトの線幅や重なりを認識させると、モニターで見たままの図形にカットできます。

1

Illustrator でオブジェクトを選択します。

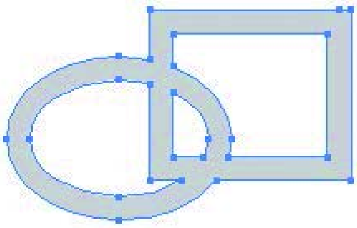


2

FineCut メニューの [線幅・重なりを認識] ボタンをクリックします。

3

線幅と重なりが認識されます。

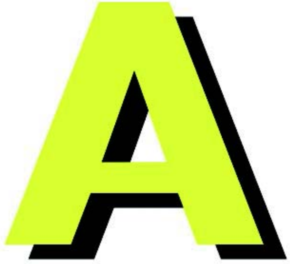


トラッピングを行う

オブジェクトが重なっているレイアウトは、色の境界部分に隙間ができてしまう場合があります。トラッピング処理を行うと、隙間ができるのを防ぐことができます。

重要!
- 複雑な図形をトラッピングした場合、エラーまたは Illustrator が不正終了し、データを失う場合があります。トラッピングの前にデータを保存しておいてください。

1 **Illustrator** でオブジェクトを選択します。



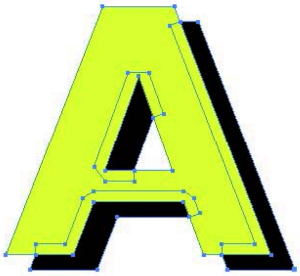
2 **FineCut** メニューの **[** トラッピング **]** ボタンをクリックします。

3 トラップサイズと重ね順を設定します。

設定後、[OK] をクリックします。

- リストをドラッグすると、重ね合わせの順序を変更できます。

4 指定したサイズで重ねしろが作成されます。

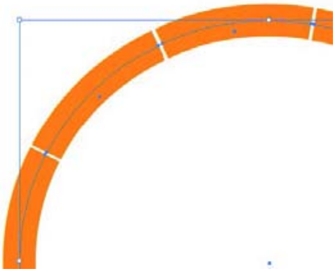


パスを連結する

オープンパス (始終点の座標が離れているパス (の端点を連結します。
DXF データを Illustrator に読み込んだときに、つながっているように見えるパスがいくつかの線分に分かれていることがあります。このままカットすると、線分ごとにペンアップが発生してしまいます。また、CF3 シリーズ (M ヘッド) を使う場合、エンドミル径を考慮したカットができなくなります。
パスを連結すると、これらの問題が解決します。

---

1 **Illustrator で連結したいパスをすべて選択します。**



---

2 **FineCut メニューの[パスの連結] ボタンをクリックします。**

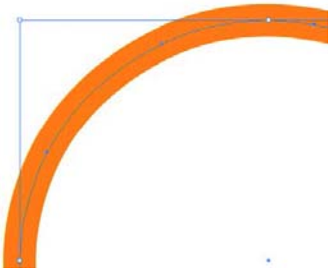
---

3 **連結する端点と端点の距離を設定します。**

設定したら[OK]をクリックします。

- 設定した値よりも端点間が離れている場合は、連結されません。
  Illustrator でパスを確認しながら、パスが連結されるよう値を調整してください。

4 パスが連結されます。



オブジェクトの周りに切り込みを入れる

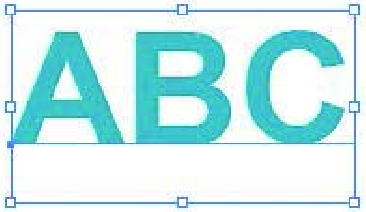
シールを作成するときに、オブジェクトの周りに切り込み (「カス取り線」と呼びます) を入れておくと、カットしたシールの不要な部分が剥がしやすくなります。

ここでは、カス取り線とフレーム (枠) の作成手順を説明します。

重 要 !	• 厚手のシートをカットするときは、カス取り線を設定しないでください。オブジェクトを傷付ける場合があります。

• 「カス取り線ツール」画面で表示する単位には、Illustrator の設定が反映されています。単位を変更する場合は、Illustrator の [編集] または [ファイル]-[環境設定]-[単位] で設定してください。

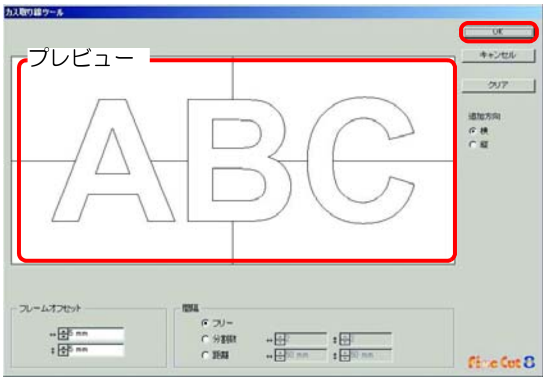
1 **Illustrator** でオブジェクトを選択します。



2 **FineCut** メニューの [カス取り線作成] ボタンをクリックします。

3 カス取り線を設定します。

設定後、[OK] をクリックします。



項目		説明
プレビュー		カス取り線の作成位置・数を確認できます。
フレームオフセット		オブジェクトからフレーム(枠)までの距離を設定します。
間隔	フリー	任意の位置・数で線を作成します。 [追加方向] で線の作成方向を選択して、プレビュー上でクリックすると、線が作成されます。
	分割数	横、縦それぞれの分割数を設定します。
	距離	横、縦それぞれのオブジェクト間の長さを設定します。
[クリア]		フレーム以外の全てのカス取り線を消去します。
追加方向		カス取り線の作成方向を選択します。[間隔] で [フリー] を選択した場合に使用します。

4 カス取り線が作成されます。

右の例は、
フレームオフセット : 縦横各 5mm、
間隔 - 分割数 : 縦横それぞれ 2
の場合です。

- 作成したカス取り線を消去する場合は、Illustrator の [ファイル] メニュー -[Fine-Cut] から、[カス取り線削除] を選択します。

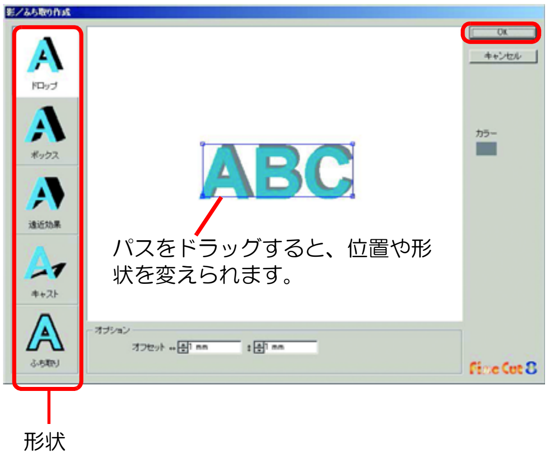
影 / ふち取りをつける

オブジェクトの影やふち取りを作成できます。

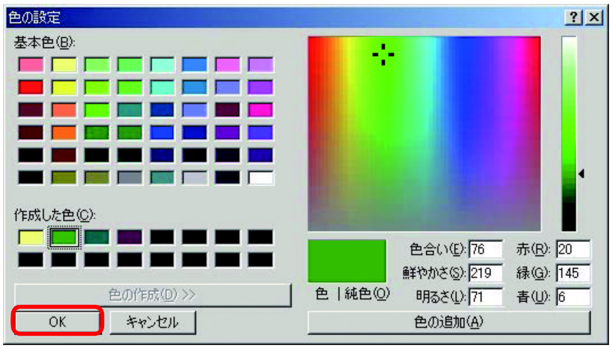
1 **Illustrator** でオブジェクトを選択します。

2 **FineCut**メニューの[影/ふち取り作成] ボタンをクリックします。

3 影、またはふち取りを選択・設定し、**[OK]** をクリックします。



項目	説明
形状	影の形状 (4 種類)、または [ふち取り] を選択します。
オプション	オブジェクトから影 / ふちまでの長さ（オフセット値）を設定します。 [遠近効果] を選択した場合は、遠近感を%で設定します。 [ふち取り]を選択した場合は、角の形状と比率を設定します。 (参考 : ☞ P.3-4「フレーム (カットライン) を作成する」)

項目	説明
カラー	影の色を設定します。 クリックすると「色の設定」画面を表示します。 (Windows 版と Macintosh 版では画面が異なります。以下は Windows 版です。) 色を選択し、[OK] をクリックします。 

重要!

- 影またはふち取りは、RGB カラーで指定します。オブジェクトのカラーモードが CMYK の場合は、ここで指定した RGB カラーで表示できないことがあります。
  その場合は、CMYK に最も近い、表現可能なカラーに変換されます。

4 影またはふち取りが作成されます。

右の例は、形状 : ドロップ、
オプション - オフセット : 縦横 4mm、
色 : 黒の場合です。

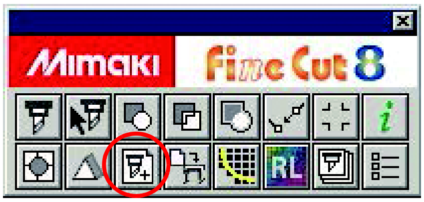
- 影、またはふち取りのアンカーポイントが多い場合は、Illustrator の [オブジェクト] から [パス] を選択し、[単純化] を実行してください。
- 作成した影、またはふち取りを消去する場合は、Illustrator の [ファイル] メニュー -[FineCut] から、[影 / ふち取り削除] を選択します。
- 作成した影、ふち取りを Illustrator で編集すると、削除できない場合があります。

プロットファイルを読み込む / 出力する

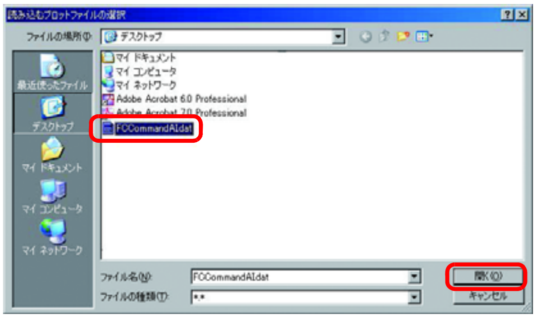
プロットファイルを読み込む

FineCut 以外のカッティングソフトウェアで作成したプロットファイルを読み込むことができます。
Illustrator に読み込んだプロットファイルは、Illustrator で編集して FineCut からプロットできます。

1 **FineCut メニューの [プロットファイルを読み込み ...] ボタンをクリックします。**



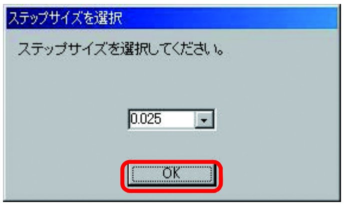
2 読み込むファイルを選択し、[開く] をクリックします。



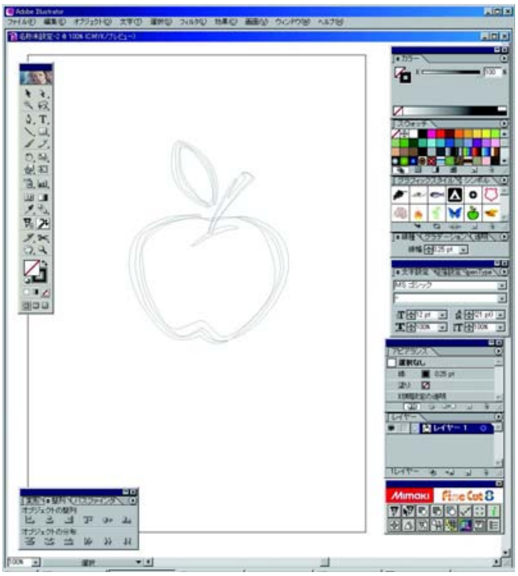
• 読み込みができるプロットコマンドは、MGL-IC,MGL-IIC,HP-GL です。

3 読み込むファイルのステップサイズを選択します。

選択したら[OK]をクリックします。



4 読み込んだファイルが表示されます。



重 要！

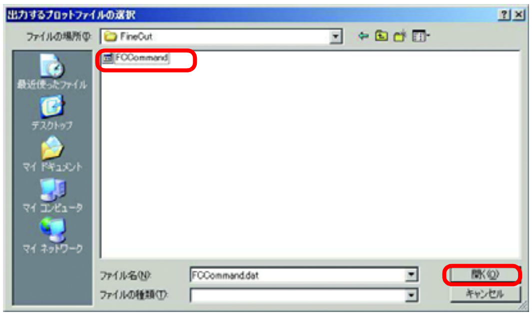
- プロットファイルを作成するアプリケーションによっては、画像が回転されて表示される場合があります。

プロットファイルを出力する

カッティングソフトウェアで作成したプロットファイルをプロッタへ出力することができます。

1 **FineCut メニューの [プロットファイルを出力] ボタンをクリックします。**

2 出力するファイルを選択し、[開く] をクリックします。



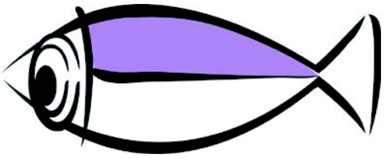
輪郭を抽出する

ビットマップ、JPEG、TIFF など Illustrator で読み込める、パスのない画像データをカットする場合に、アウトラインを作成します。
色を指定すると、同じ色の部分のみアウトラインを作成することもできます。

簡単トレース

画像データの輪郭を、簡単に作成できます。

1 **Illustrator　でオブジェクトを選択します。**

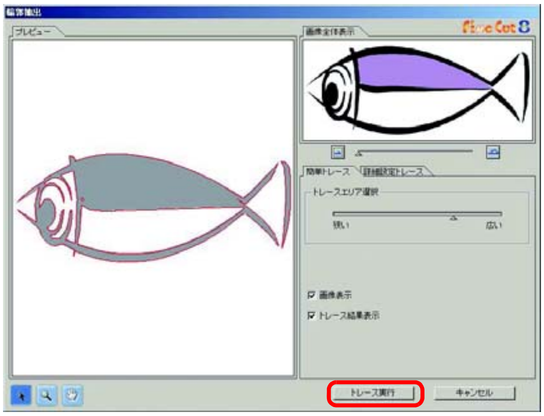


2 **FineCut メニューの [輪郭抽出] ボタンをクリックします。**

3 **[トレース実行] ボタンをクリックします。**

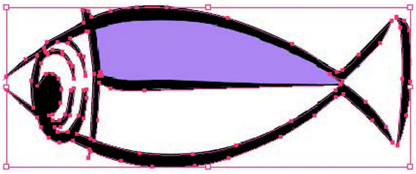
トレース範囲を変更する場合は、プレビューを見ながらスライダーをドラッグします。

（他の項目については
☞ P.7-31）



- [トレース実行] をクリックするたびに、[FC トレースレイヤー 1]、[FC トレースレイヤー 2]... と、新たなレイヤーが作成されます。レイヤー毎にカット条件を設定する場合などにお使いください。（☞ P.5-16）
- このレイヤー内のデータはカットデータとして使用するため、プリントしない設定になっています。このデータをプリントしたい場合は、Illustrator の「レイヤーオプション」で「プリント」を有効にしてください。

4 **Illustrator のレイヤー [FC トレースレイヤー] に輪郭線が作成されます。**

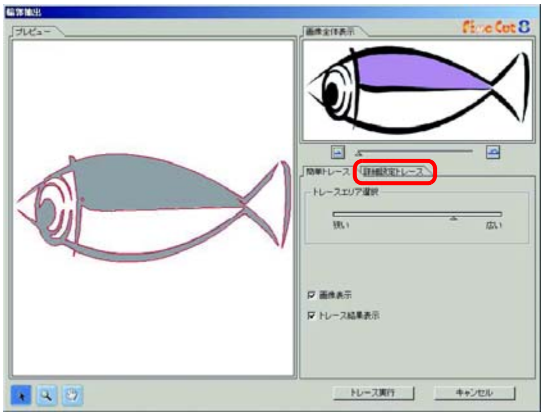


詳細設定トレース

簡単トレースでトレースしたオブジェクトに対して、更に詳しく設定したい場合や、特定の色や範囲の輪郭をトレースしたい場合にお使いください。

1

[簡単トレース]を実行後、[詳細設定トレース] タブをクリックします。

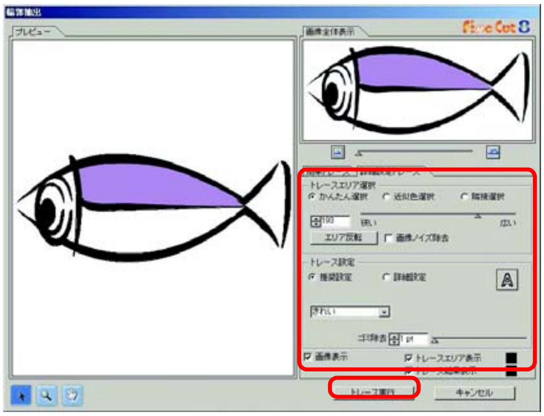


2

トレース設定を行い、[トレース実行] ボタンをクリックします。

プレビューを確認しながら、トレースエリアの選択とトレース設定をします。

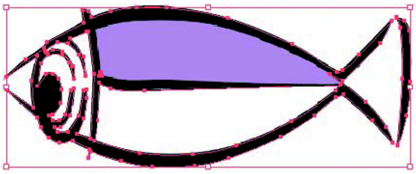
(他の項目については
☞ P.7-31)



- [トレース実行] をクリックするたびに、[FC トレースレイヤー 1]、[FC トレースレイヤー 2]... と、新たなレイヤーが作成されます。レイヤー毎にカット条件を設定する場合などにお使いください。(☞ P.5-16)
- このレイヤー内のデータはカットデータとして使用するため、プリントしない設定になっています。このデータをプリントしたい場合は、Illustrator の「レイヤーオプション」で「プリント」を有効にしてください。

3

Illustrator のレイヤー [FC トレースレイヤー] に輪郭線が作成されます。



RasterLink へ出力する (CJV30/TPC/CJV300/CJV150 シリーズ)

CJV30/CJV300/CJV150 シリーズおよび TPC をお使いの場合に、RasterLink と連係して、簡単にプリント & カットができます。(RasterLinkPro4 以上に対応しています)

重 要 !

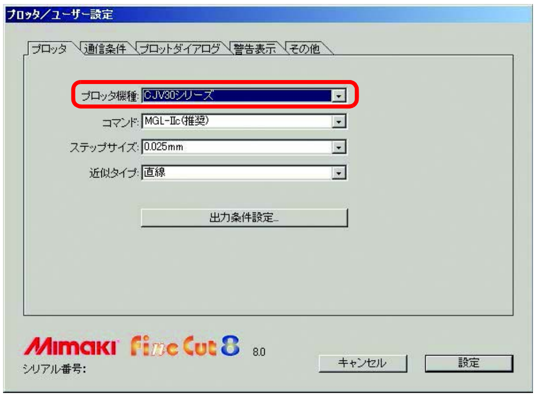
- オブジェクトをカットしたい場合は、あらかじめパスをカット用に設定してください。(P.4-18)

1 RasterLink を起動します。

ホットフォルダが未作成の場合は、RasterLink で作成してください。
また、Macintosh から出力する場合は、ホットフォルダの設定が必要です。
詳しくは、RasterLink のリファレンスガイドおよびインストールガイドをご覧ください。

2 FineCut メニューの [プロッタ / ユーザー設定] ボタンをクリックします。

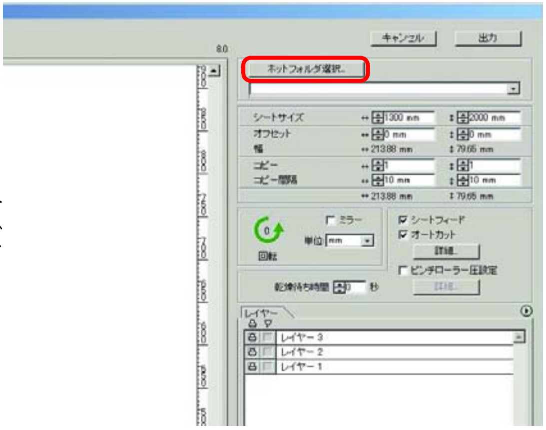
3 [プロッタ機種] で CJV30/CJV300/CJV150 シリーズまたは TPC を選択します。



- CJV30/CJV300/CJV150 シリーズまたは TPC 以外の機種を選択すると、次の手順で [RasterLink へ出力] ボタンをクリックしたときにエラーになります。

4 FineCut メニューの [RasterLink へ出力] ボタンをクリックします。

5 [ホットフォルダ選択...]をクリックします。

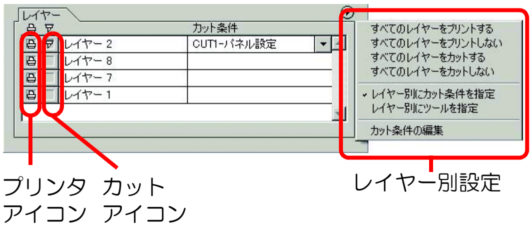


RasterLink のホットフォルダを選択します。

ホットフォルダが未作成の場合は、RasterLink から作成してください。

> **重 要 !**
> - ホットフォルダの選択画面にある [新しいフォルダの作成] ボタンからフォルダを作成しても、ホットフォルダとして機能しません。ホットフォルダは必ず RasterLink で作成してください。

6 プリントおよびカットするレイヤーを選択・設定します。



項目	説明
プリンタアイコン	クリックして、プリントするレイヤーにマークを付けます。
カットアイコン	クリックして、カットするレイヤーにマークを付けます。
レイヤー別設定	ボタンをクリックして、[レイヤー別にカット条件を指定] または [レイヤー別にツールを設定] を選択します。その後、レイヤー名の右の表示から、カット条件およびツールを選択します。

- 上記のレイヤー画面でプリントとカット両方にマークを付けた場合は、プリントを実行してからカットを実行します。この場合プリントするレイヤーの中に FineCut のトンボ作成機能で作成したトンボデータが含まれていると、プリント後にそのトンボ位置を読み込み、より正確な位置をカットできます。
- レイヤー画面でカットのマークのみ付けた場合は、カットするレイヤーの中にトンボデータを含めると、トンボを読み込んでカットできます。
- [レイヤー別にカット条件を指定] または [レイヤー別にツールを指定] を設定しない場合は、プロッタ側の設定でカットします。
- データは、周りに 0.5mm 余白を空けてレイアウトされます。

重 要！

- トンボを検出してカットする場合は、CJV30/CJV300/CJV150 シリーズまたは TPC の「トンボケンシュツ」で、トンボ検出点数を「1 テン」に設定してください。
- FineCut のトンボ作成機能でトンボデータを作成する際は、[矩形をカット線として残す] のチェックを外してください。チェックを付けると、矩形の一部が欠けてカットされます。(P.3-7)
（RasterLinkPro の「カット条件」画面にある [外枠カット] の使用をお勧めします）
- タイプ 2 のトンボ形状 ( ) をプリントする場合は、少なくともトンボサイズ分のコピー間隔を空けてください。(P.3-7)
- Illustrator 上のトンボデータは、1 セットのみ作成してください。複数作成すると、エラーとなります。
- レイヤー別設定でレイヤー毎に異なる設定をした場合、RasterLinkPro4 Ver.1.1 までは、レイヤー画面で設定されているレイヤーリストの一番上の条件でカットされます。RasterLinkPro41.2 以降では、レイヤー毎に設定した条件でカットできます。

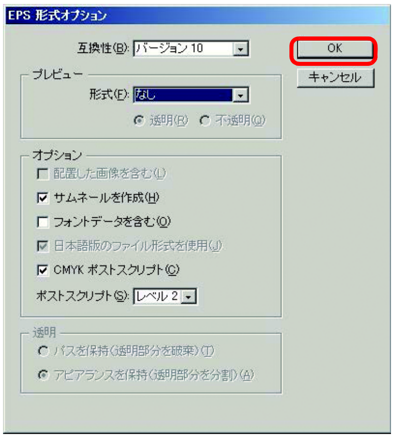
7 必要に応じて、その他の項目を設定します。

（P.7-34）

8 [出力] をクリックし、EPS 形式の設定をします。

[OK] をクリックすると、RasterLink にデータが送信されます。

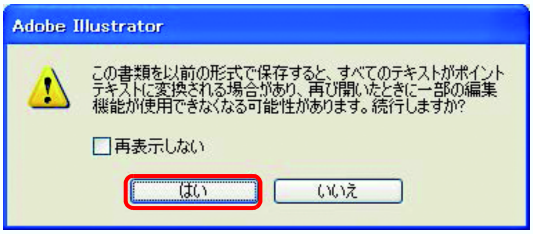
EPS の設定項目は、お使いの Illustrator のバージョンにより異なります。右の画面は Illustrator10 の場合です。



重 要 !

- プレビューの形式は [なし] を選択してください。（以下は Macintosh の画面です）
  [なし] 以外を選択すると、エラーが発生する場合があります。

- Illustrator CS の場合、[OK] をクリック後に以下のメッセージが表示されますが、問題ありません。[はい] をクリックしてください。



9 RasterLink からプリント & カットを実行します。

詳しくは、RasterLink のリファレンスガイドをご覧ください。

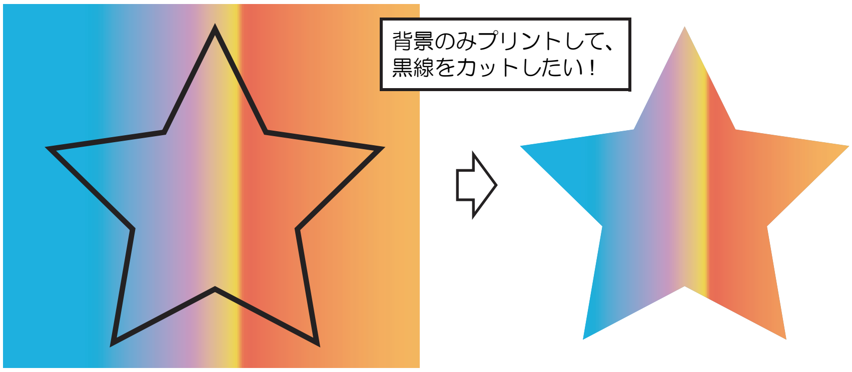
4

便利な使い方 -FineCut メニューから

カットするパスを設定する

オブジェクトをカットしたい場合、カットするパスを設定します。

- FineCut の「フレーム抽出」、「トンボの矩形」、「輪郭抽出」によって作成されたカットパスについては、自動的にカット用レイヤーが作成されるため、この操作は不要です。

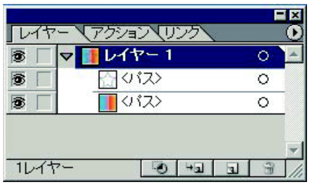


1

Illustrator でオブジェクトを開きます。

レイヤーパレットが表示されていない場合は、[ウィンドウ] メニューにある [レイヤー] にチェックを付けてください。

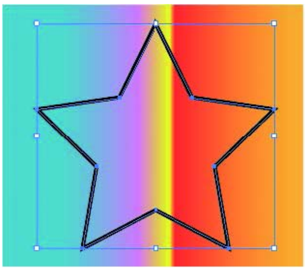
レイヤーパレット



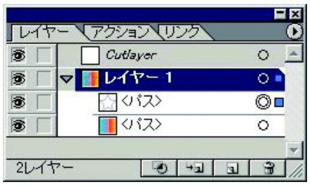
2

カットしたいパスをクリックします。

選択したパスには、レイヤーパレットでパス名の右に色が付きます。



レイヤーパレットの表示



3

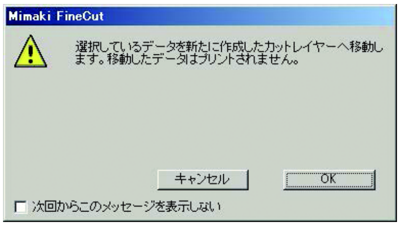
FineCut メニューの [カットレイヤーへ移動] ボタンをクリックします。

4

[OK] をクリックすると、パスがカット用に設定されます。

[FC カットレイヤー1] が作成され、選択したパスがこのレイヤーに移動します。

[カットレイヤーへ移動] を実行するたびに、「FC カットレイヤー1」「FC カットレイヤー 2」... と、新たなレイヤーが作成されます。



レイヤーパレットの表示

出力条件を設定する

カット時の出力条件をメディアごとに設定できます。

重 要！

- コマンドが「MGL-IIc」の場合のみ、本機能を使用できます。
- 設定した値が、ご使用のプロッタの設定可能な値を超えている場合は、プロッタの制限値でプロットします。設定可能な値については、ご使用のプロッタの取扱説明書を参照してください。

- ここでメディアごとの出力条件を登録しておくと、「プロッタ出力」画面でメディアごとに条件を変更できます。

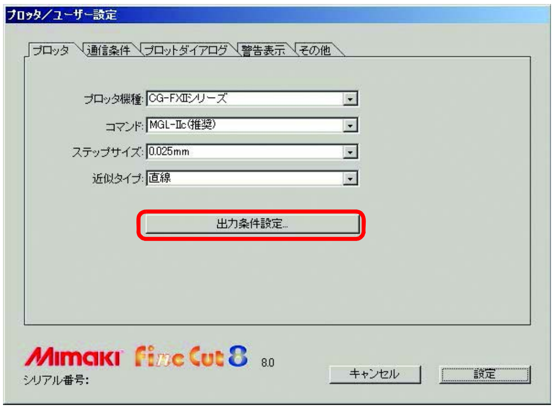
1

FineCut メニューの [プロッタ / ユーザー設定] ボタンをクリックします。

2

[出力条件設定 ...] をクリックします。

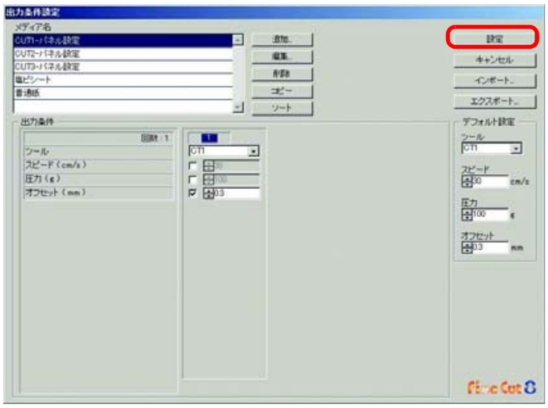
または「プロッタ出力」画面で [編集] をクリックします。



3

「出力条件設定」画面で出力条件を設定します。

手順 2 の「プロッタ / ユーザー設定」画面 - [プロッタ機種] で選択した機種により、設定項目が異なります。
各項目を設定後、[設定] をクリックします。(☞ P.7-5)



4

FineCut メニューの [プロット] ボタンをクリックします。

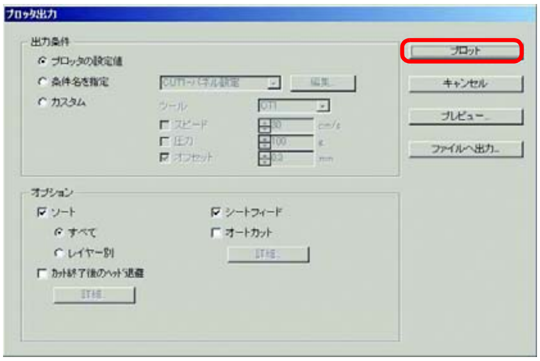
5

(プロットボタン) をクリックします。

6

出力条件を設定し、[プロット] をクリックします。

（詳しくは ☞ P.7-27）



- [条件名を指定] または [カスタム] の設定でプロットすると、プロッタ側の「スピード / 圧力 / オフセット値」が変更されます。プロッタのパネルで設定値を元に戻す場合は、プロッタをローカルモードにして [TOOL] ボタンを押してください。

線分を分割してカットする (CFL-605RT/CF/DC/CF2/CF3(M ヘッドを除く) シリーズ)

重要!	・この機能は CF シリーズ (CF/DC/CF2/CF3(M ヘッドを除く)) でのみ使用できます。CG シリーズでは使用できませんのでご注意ください。

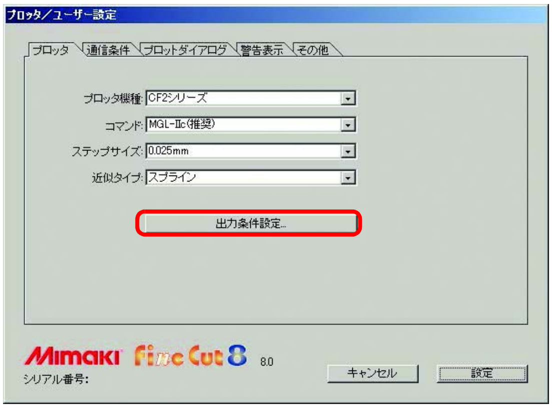
厚いメディアをカットするとき、刃の形状によっては線分の開始 / 終了位置を余分にカットしてしまい、製品を傷つけてしまう場合があります。
線分を自動分割し、線分の両端から内側、または内側から両端へと 2 回に分けてカットすると、切り過ぎを防ぐことができます。

線分の自動分割カット

1 **Illustrator でオブジェクトを選択します。**

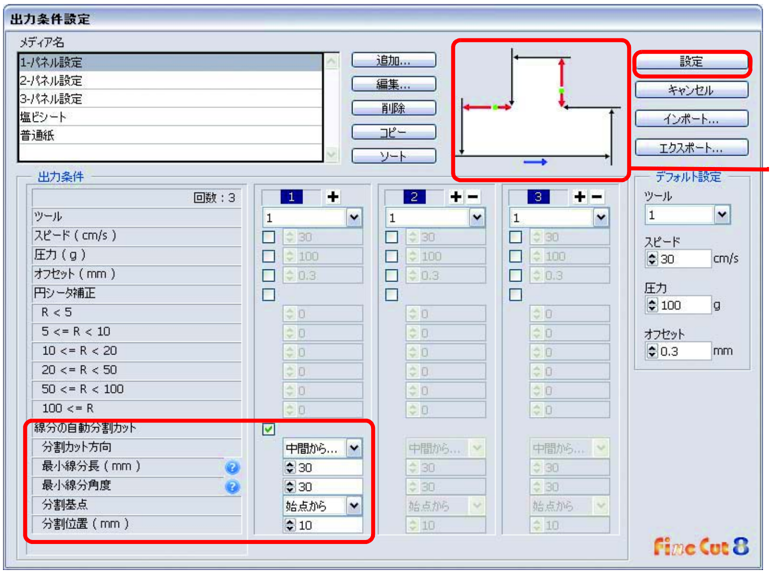
2 **FineCut メニューの [プロッタ / ユーザー設定] ボタンをクリックします。**

3 **[出力条件設定 ...] をクリックします。**

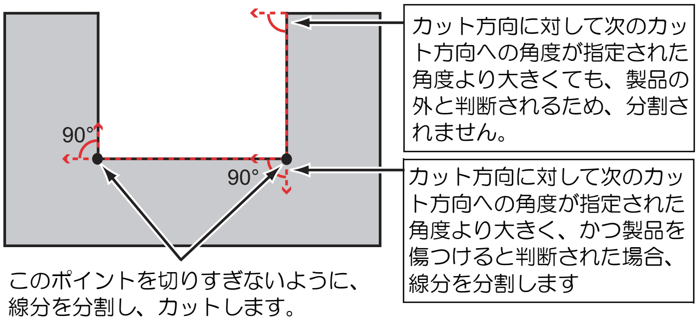


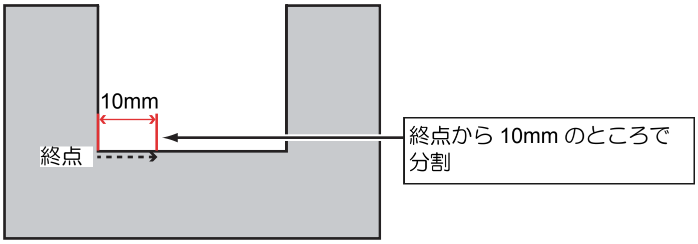
4 線分分割を設定します。

設定後、[設定] をクリックします。



分割基点によって変わる分割カット方向と分割位置を確認できます。([線分の自動分割カット] 選択時のみ表示)

項目	説明
線分の自動分割カット	チェックを付けます。
分割カット方向	分割した線分のカット方向を選択します。 使用する刃の形状に合わせて選択します。(P.4-26)
最小線分長 (初期値 :30mm (推奨))	分割する線分の最小長を設定します。 設定した長さ以上の線分を分割し、それより短い線分は分割されません。 (短い線分を分割すると、きれいにカットされない場合があります)
最小線分角度 (初期値 :30° (推奨))	分割する線分の最小角度を設定します。 設定した角度以上にカットラインが屈折している場合、そのポイントをカットしすぎないように線分を分割します。(ただし、製品の外側と判断された場合は分割しません) 内側（グレーの部分）を製品とする場合 
分割基点	分割する線分について、分割の基準位置を設定します。

項目	説明
分割位置 (初期値 :10mm (推奨))	線分の分割位置を、[分割基点] からの距離で指定します。 

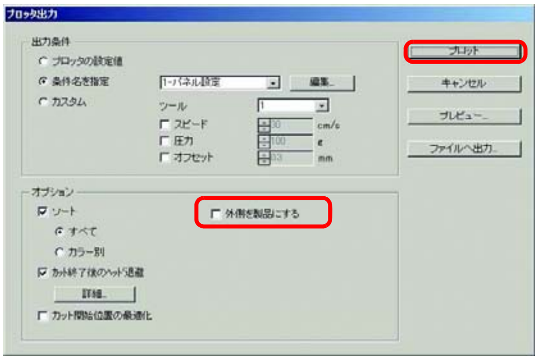
5 **FineCut メニューの [プロット] ボタンをクリックします。**

6 (プロットボタン) をクリックします。

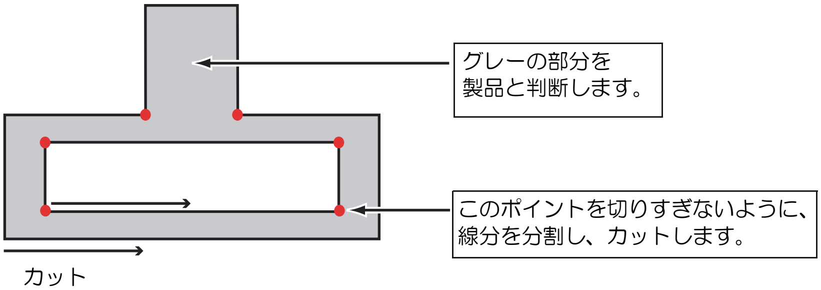
7

「プロッタ出力」画面で外側を製品にするかを設定して、[プロット] をクリックします。

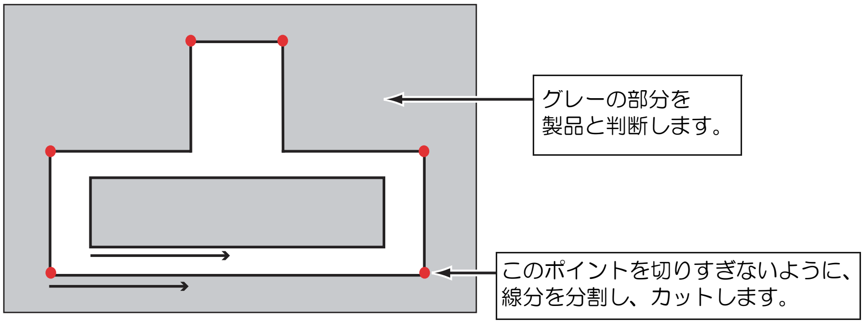
設定により、以下の図のように判断し、線分分割カットを行います。



[外側を製品にする] にチェックを付けない場合（初期値）

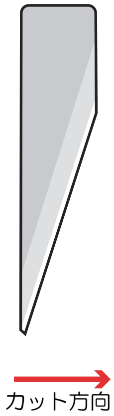
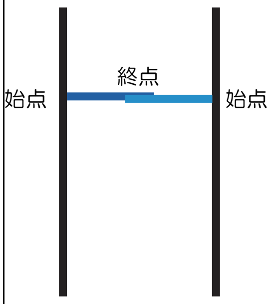
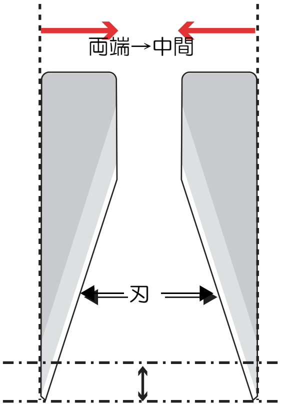
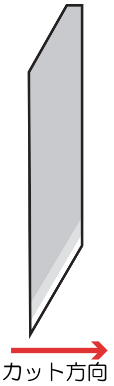
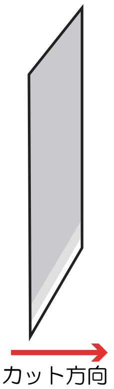


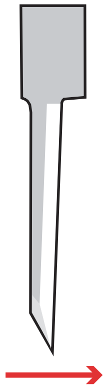
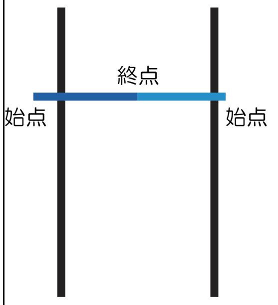
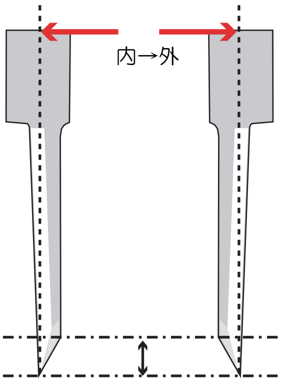
[外側を製品にする] にチェックを付けた場合



刃の形状と線分分割カットの設定について

線分分割カットでは、以下の例を参考に、使用する刃の形状に合った設定を行ってください。
偏芯調整の方法については、お使いのプロッタの取扱説明書を参照してください。

使用する刃	商品コード	形状	偏芯調整の値と テストカットパターン	分割カット方向 （☞**P.4-23**）
超硬刃 17°	SPB-0065		（超硬刃 17° の場合）テストパターン A の縦のラインと横のラインが、はみ出たりすき間がないように調整します。 ・はみ出た場合： はみ出た値をマイナス値として入力します。 ・すき間がある場合： すき間の値をプラス値として入力します。 以上のように調整すると、終点の横ラインが重なります。	両端から中間 (切り残しはありません)
超硬刃 30°	SPB-0045			
超硬デザイン刃 30°	SPB-0051			
ハイス刃 30°	SPB-0043			
ハイス刃 30° 7mm	SPB-0048			
チタンコート刃 30°	SPB-0047			
超硬刃 45°	SPB-0046			
ハイス刃 45°	SPB-0044			
チタンコート刃 45°	SPB-0008			

使用する刃	商品コード	形状	偏芯調整の値と テストカットパターン	分割カット方向 （☞ P.4-23）
超硬刃 2°	SPB-0064		 テストパターン A の横のラインの終点が一致するように調整します。 • 終点が交差している場合： 交差量 ÷2 の値をプラス値として入力します。 • 終点にすき間がある場合： すき間量 ÷2 の値をマイナス値として入力します。 以上のように調整すると、始点の横ラインが縦ラインを超えてはみ出ます。	中間から両端 (終点部に刃先が来るため、切り残しがありません） 

第５章
便利な使い方 - プロット画面から

この章では ...

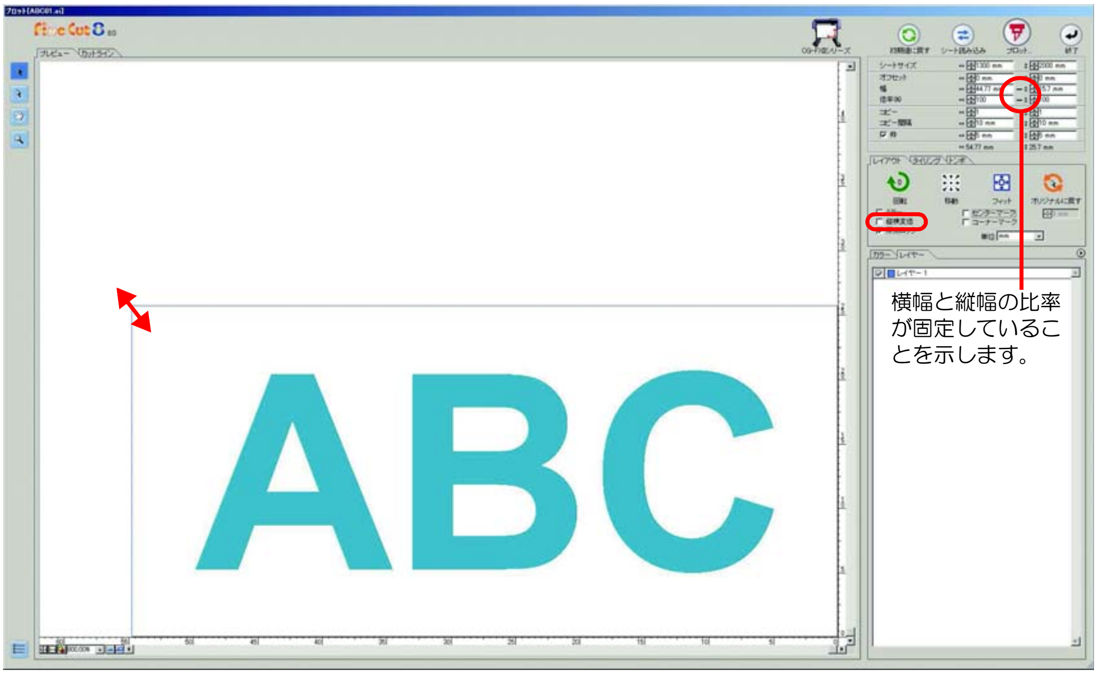
FineCut の便利な使い方について、プロット画面からできることを説明します。
プロット画面は、FineCut メニューの [プロット] ボタンをクリックして表示します。

オブジェクトを拡大・縮小する 5-2
1 つのオブジェクトを複数カットする（コピー）........... 5-4
1 つのオブジェクトを分割してカットする
（タイリング）.. 5-6
位置合わせ用のマークをつける 5-8
色別にオブジェクトをカットする................................ 5-10
レイヤー別にオブジェクトをカットする..................... 5-12
カラー / レイヤー別に出力順 / ツールを指定する........ 5-14
カラー別 / レイヤー別に出力条件を設定する 5-16
シートを無駄なく使う.. 5-19
プロッタとの接続を設定する 5-21
カット終了後のヘッド位置を設定する......................... 5-22
カット前にプレビューで確認する................................ 5-24

オブジェクトを拡大・縮小する

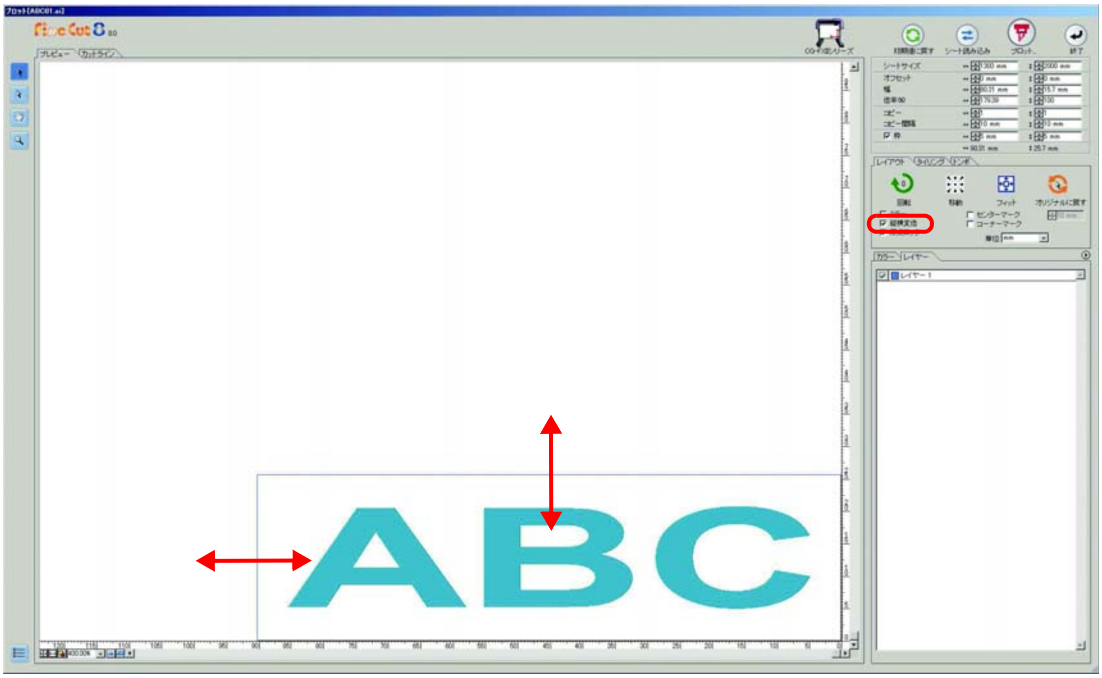
横幅と縦幅の比率を変えずに拡大 / 縮小

[レイアウト]タブにある[縦横変倍]のチェックボックスをクリックしてチェックを外します。
オブジェクトの端をマウスでドラッグして拡大 / 縮小します。



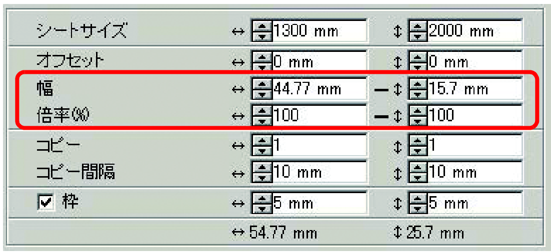
横幅または縦幅のみの拡大 / 縮小

[レイアウト]タブにある[縦横変倍]のチェックボックスをクリックしてチェックを付けます。オブジェクトの左右どちらかの端、またはオブジェクトの上下どちらかの端をマウスでドラッグして拡大 / 縮小します。



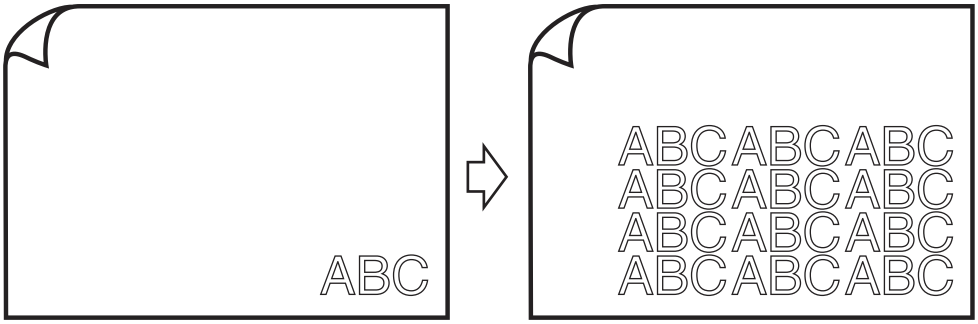
- [縦横変倍] の指定時にキーボードの shift キーを押しながらドラッグすると、横幅と縦幅の比率を保ちながら拡大 / 縮小できます。
- 横幅と縦幅のサイズを別々に変更した後に [縦横変倍] を無効にすると、変更したサイズの横幅と縦幅の比率を保持したまま拡大 / 縮小ができます。

オブジェクトをより正確に拡大 / 縮小する場合は、[幅] や [倍率] に値を入力します。



1 つのオブジェクトを複数カットする（コピー）

1 つのオブジェクトを縦方向、および横方向に複数カットする場合は、「コピー」を使用します。
A3 サイズのシートに「ABC」をカットする場合を例に説明します。



1

[コピー] と [コピー間隔] を設定します。

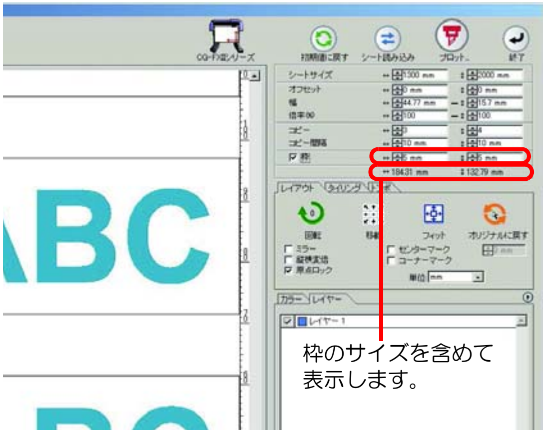
例）

- [コピー]
  横方向に「3」、縦方向に「4」を入力します。
- [コピー間隔]
  オブジェクト間の余白 (横方向、縦方向) を 10 mm に設定します。

2

[枠] にチェックを付け、サイズを入力します。

例）
横幅と縦幅をそれぞれ 5mm に設定します。(オブジェクトから 5 mm 離れた位置に枠が付きます。)



重 要 !

- 枠を設定すると、オブジェクトごとに枠を作成します。コピーした複数のオブジェクトを 1 つの枠で囲むことはできません。
- 「プロッタ / ユーザー設定」画面で [CF3 シリーズ (M ヘッド)] を選択した場合は、以下の 2 点にご注意ください。
  [コピー間隔] は 10mm 以上を設定してください。
  [枠] の機能は使用できません。

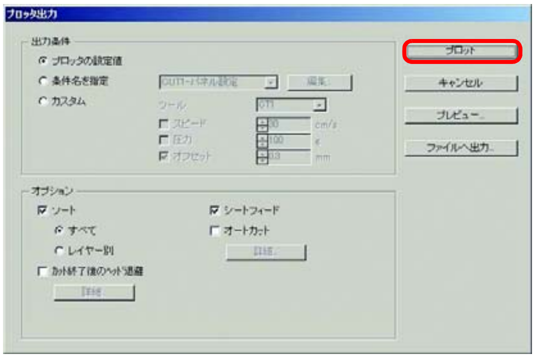
3

(プロットボタン) をクリックします。

オブジェクトがプロットされます。

4

[プロット] をクリックします。



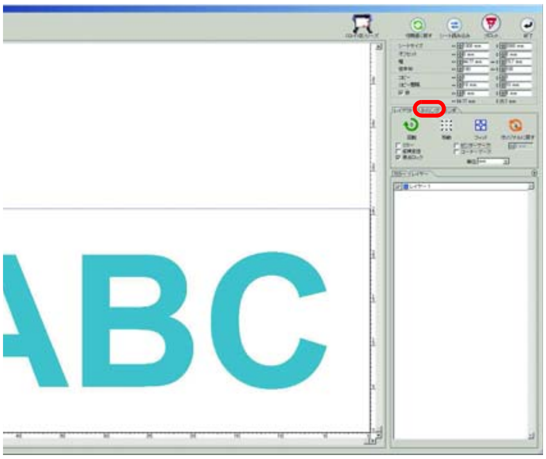
1 つのオブジェクトを分割してカットする（タイリング）

シート幅より大きいサイズのオブジェクト (看板など) を作成する場合は､｢タイリング｣を使用し、1 つのオブジェクトを分割してカットします。

ここでは分割した各オブジェクトを、「タイル」と呼びます。

1

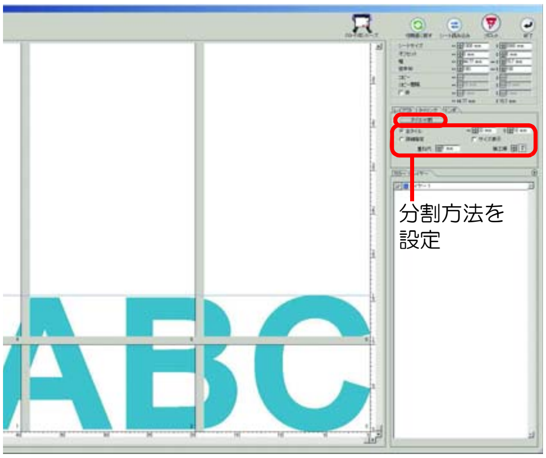
[タイリング] タブをクリックします。



2

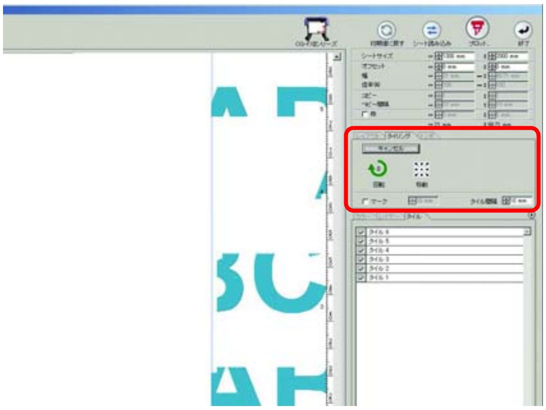
分割方法を設定して、[タイル分割] ボタンをクリックします。

（詳しくは ☞ P.7-23）

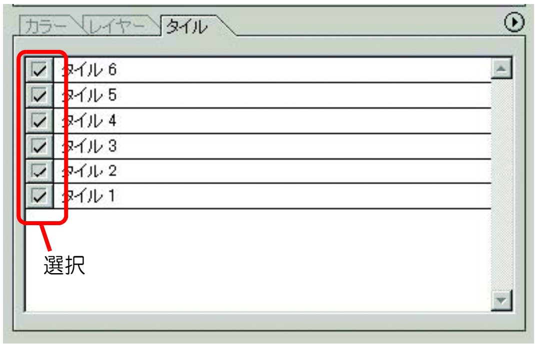


3 分割オブジェクトが表示されたら、タイルの配置等を設定します。

（詳しくは ☞ P.7-23）

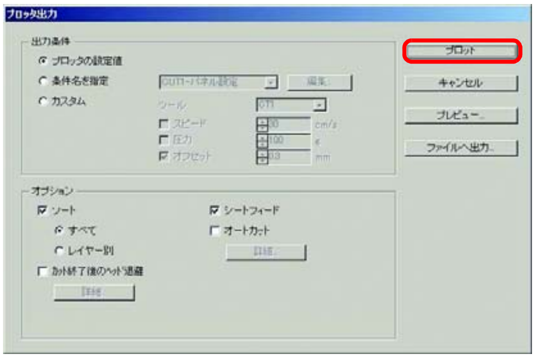


4 タイルリストからカットするタイルを選択します。



5 （プロットボタン）をクリックします。

6 [プロット] をクリックします。



位置合わせ用のマークをつける

重 要！ ・「プロッタ / ユーザー設定」画面で [CF3 シリーズ (M ヘッド)] を選択時、この機能は使用できません。

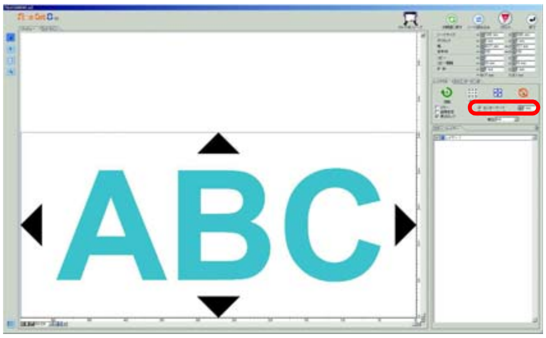
カットしたシールを貼る場合は、オブジェクトの枠にマークをつけると、簡単に位置合わせができます。

センターマーク

1 センターマークの設定をします。

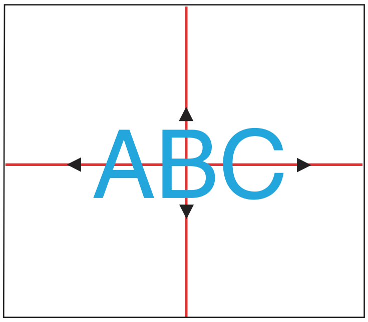
[レイアウト] タブの [センターマーク] にチェックを付け、マークのサイズを入力します。

その他の設定をしてプリントし、カットします。



2 カットしたシールを貼ります。

1. シールの中心位置を決め、罫線を引きます。
2. センターマークを罫線に合わせます。
   (希望の位置にシールを貼れます)

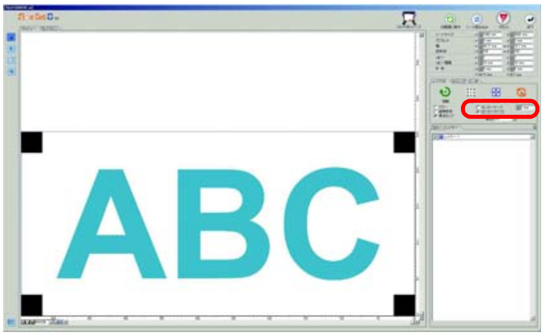


コーナーマーク

1 コーナーマークの設定をします。

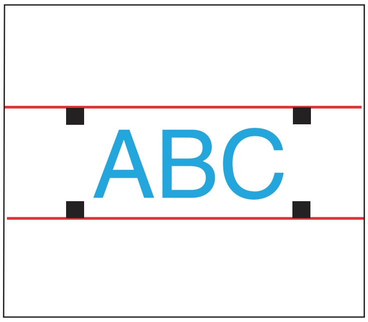
[レイアウト] タブの [コーナーマーク] にチェックを付け、マークのサイズを入力します。

その他の設定をしてプリントし、カットします。



2 カットしたシールを貼ります。

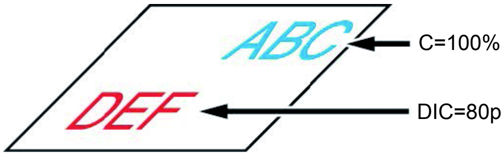
1. 目安にする罫線を引きます。
2. コーナーマークを罫線に合わせます。
   (水平にシールを貼れます。)



色別にオブジェクトをカットする

Illustrator 上で複数の色のオブジェクトがある場合、指定した色のオブジェクトのみをカットできます。

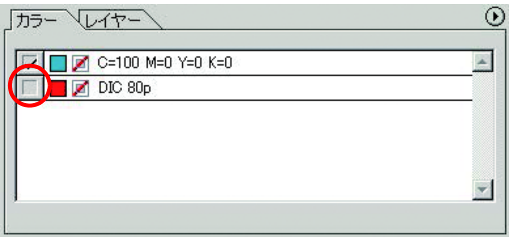
下の図を例に、青い色 (C=100%) の「ABC」のみをカットする手順を説明します。



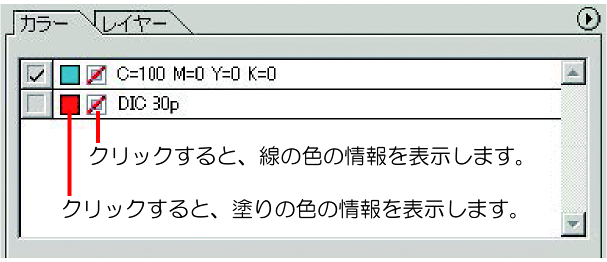
1 **FineCut メニューの [プロット]ボタンをクリックします。**

2 **カラーリストで、上の図にある「DEF」の色 (DIC 80p) のチェックを外します。**

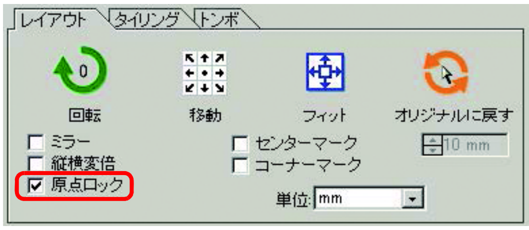
カットエリアから「DEF」のオブジェクトが消えます。



- カラーリストについて
  カラーリストには、オブジェクトに使用しているすべての色 (DIC 等の特色を含む) を表示します。また、オブジェクトの塗りと線の色を表示します。
  リスト右上の ▶ ボタンをクリックすると、出力条件などを指定できます。

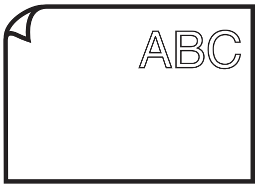


3 [原点ロック] を設定します。



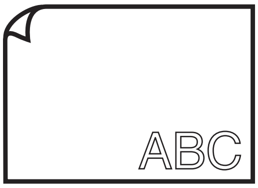
- 作成した位置でカットする場合は、[原点ロック] にチェックを付けます。

チェックありの場合



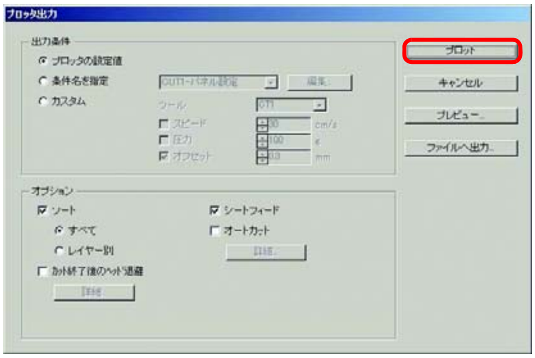
- チェックを付けない場合は、原点を基準にシートの右下に（CF/CF2/DC シリーズは左下に）カットします。

チェックなしの場合



4 (プロットボタン) をクリックします。

5 [プロット] をクリックします。



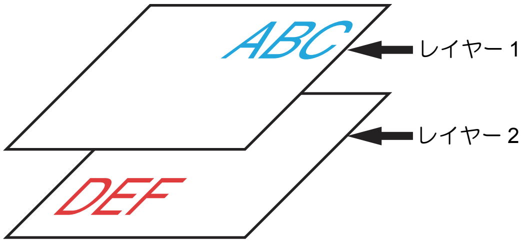
5

便利な使い方 - プロット画面から

レイヤー別にオブジェクトをカットする

Illustrator 上で複数のレイヤーにオブジェクトがある場合、指定したレイヤーのオブジェクトのみをカットできます。

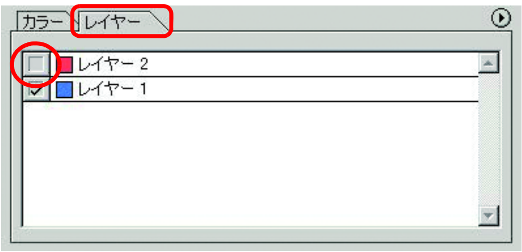
下の図を例に、レイヤー 1 の「ABC」のみをカットする手順を説明します。



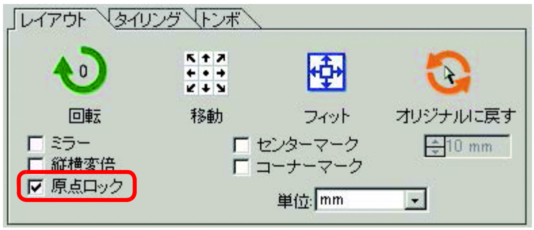
1 **FineCut メニューの [プロット]ボタンをクリックします。**

2 **[レイヤー] をクリックし、上の図にある「DEF」のレイヤーのチェックを外します。**

カットエリアからレイヤー 2 の「DEF」が消えます。

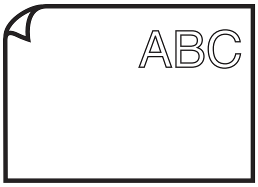


3 [原点ロック] を設定します。



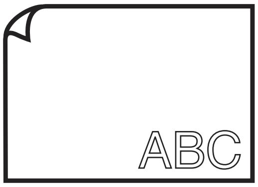
- 作成した位置でカットする場合は、[原点ロック] にチェックを付けます。

チェックありの場合



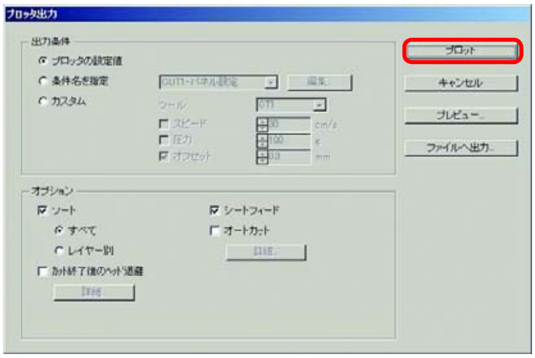
- チェックを付けない場合は、原点を基準にシートの右下に（CF/CF2/DC シリーズは左下に）カットします。

チェックなしの場合



4 (プロットボタン) をクリックします。

5 [プロット] をクリックします。



5

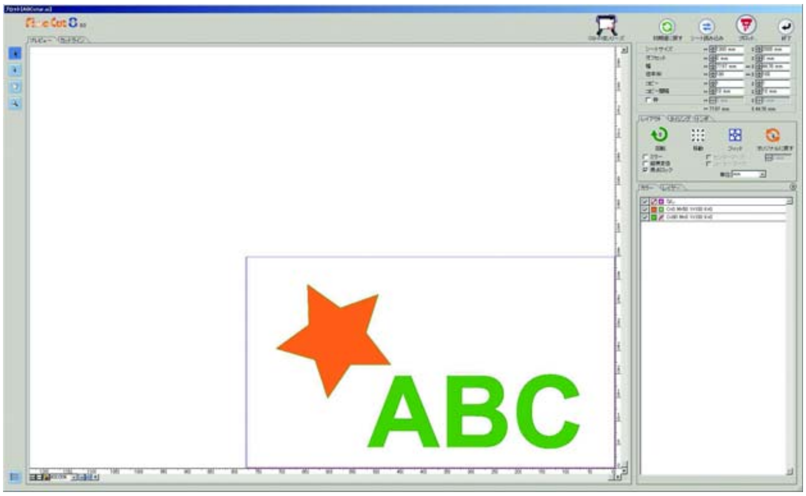
便利な使い方 - プロット画面から

カラー / レイヤー別に出力順 / ツールを指定する

カラー別またはレイヤー別に出力順やツールを指定することで、ツールの特性やカット形状に合わせて、カッティングをよりスムーズに行い、きれいな仕上がりにします。
また、カラー別またはレイヤー別にツールを指定すると、複数のツールの動作順を設定することができます。

なお、通常はカラーリストまたはレイヤーリストの 1 番下に表示されているオブジェクトから順に出力されます。

下の図を例に、赤色の枠をツール [HLF] で最初にカットする手順を説明します。

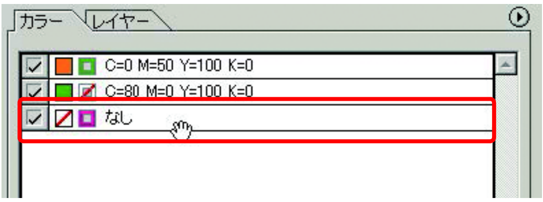


1

FineCut メニューの [プロット] ボタンをクリックします。

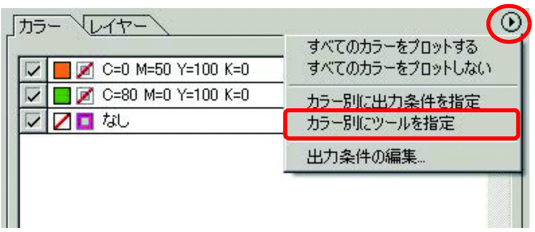
2

カラーリストの赤色をドラッグして一番下に移動します。



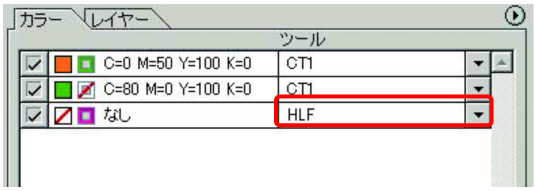
3

リストの右上のボタンをクリックして、[カラー (またはレイヤー) 別にツールを指定] を選択します。



4

ツールは **[HLF]** を選択します。



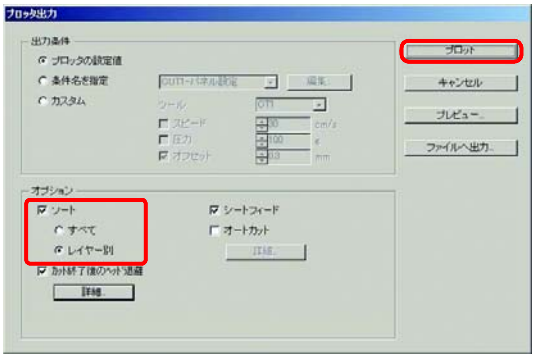
5

(プロットボタン) をクリックします。

6

[ソート] にチェックを付け、［カラー別 (またはレイヤー別)］を選択し、[プロット] をクリックします。

指定した順に出力されます。



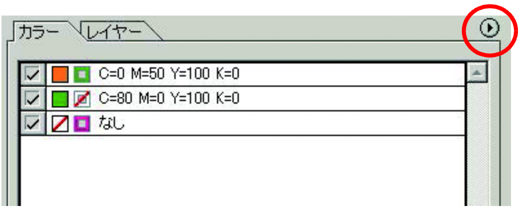
5

便利な使い方 - プロット画面から

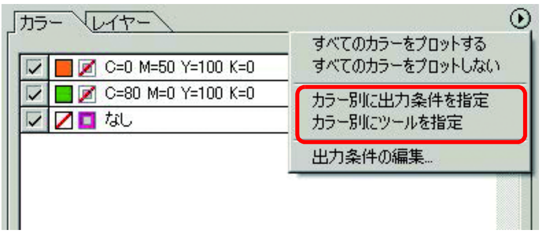
カラー別 / レイヤー別に出力条件を設定する

カラーまたはレイヤー別に出力条件を設定できます。
小さい文字や、オブジェクトの細かい部分は、色またはレイヤー別に作成して、それぞれの出力条件を変えると (カットスピードを遅くするなど)、きれいにカットできます。
また、CF/CF2/DC/CF3 シリーズでは、カラーまたはレイヤー別にツールを指定すると、カットと罫引きを一度に行うことができます。

1 カラーリスト(またはレイヤーリスト) の右上のボタンをクリックします。

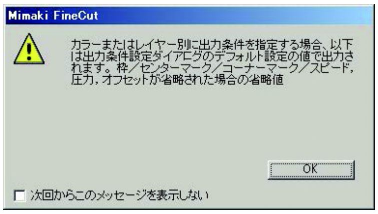


2 [カラー別(レイヤー別)に出力条件 (ツール) を指定] を選択します。

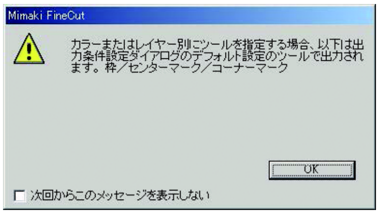


3 以下の画面が表示されたら、**[OK]** をクリックします。

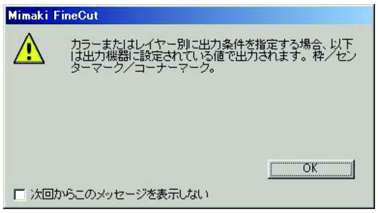
[カラー / レイヤー別に出力条件を指定] を選択した場合

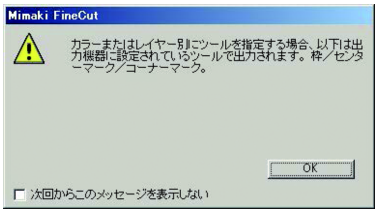


[カラー / レイヤー別にツールを指定] を選択した場合



CF3/CJV30/TPC/CJV300/CJV150 シリーズの場合

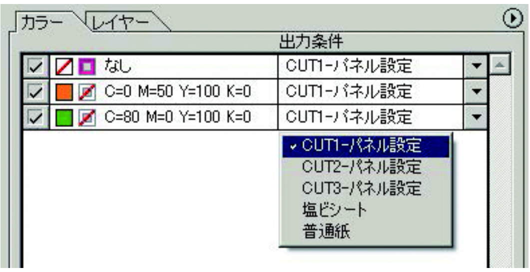




4 出力条件を設定します。

出力条件の右のボタンをクリックして、設定済みの条件から選択します。

[カラー別に出力条件を指定] の場合

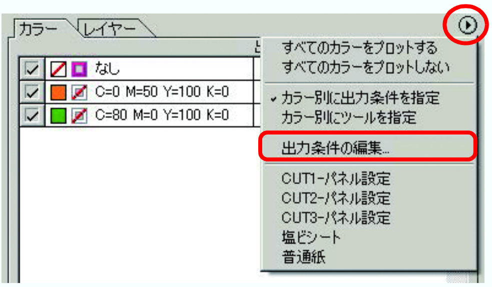


重 要 !

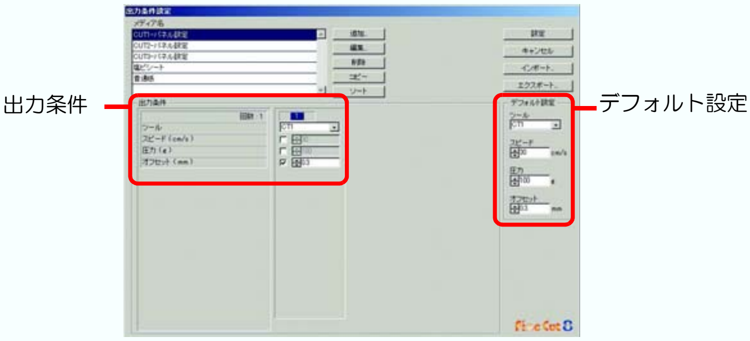
- 出力条件でツール番号を設定した場合、プロッタ側のツールの設定を確認してください。
- プロッタ側のペン番号割り付けを確認し、FineCut の設定を行ってください。
- CFL-605RT で B ユニットのツールを使う場合、罫引きローラー、レシプロカッター、タンジェンシャルカッターは同時に使用できません。「罫引き後にレシプロでカット」などの場合、ツールごとにカットデータを出力してください。

重 要 !

- 出力条件の内容を変更する場合は、リストの右上のボタンをクリックして、[出力条件の編集] を選択し、編集します。



- カラー / レイヤー別に出力条件を設定する場合、プロッタ側の設定値は使用できません。必ず、FineCut ですべての出力条件（スピード / 圧力 / オフセット）を設定してください。
- 出力条件で項目にチェックが付いていない場合 (未設定の項目) や、枠 / センターマーク / コーナーマークを指定した場合は、デフォルト設定でカットします。(CJV30/TPC/CJV300/CJV150/CF3 シリーズの場合はプロッタの設定値でカットします。)

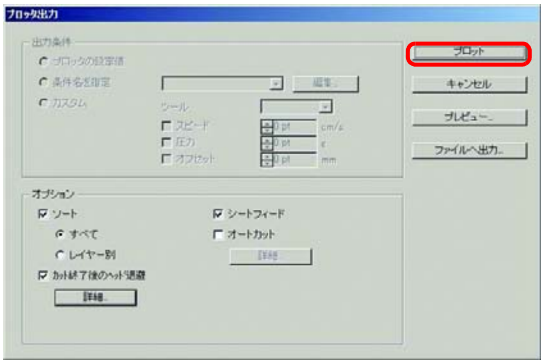


5

(プロットボタン) をクリックします。

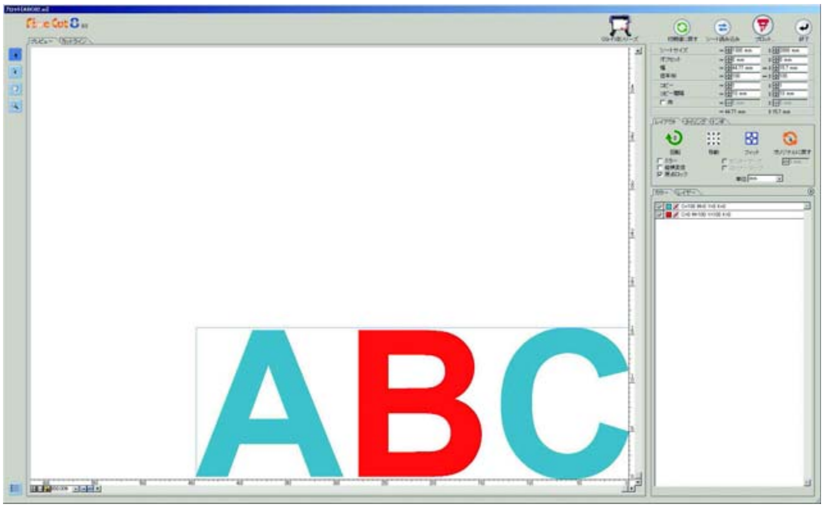
6

[プロット] をクリックします。



シートを無駄なく使う

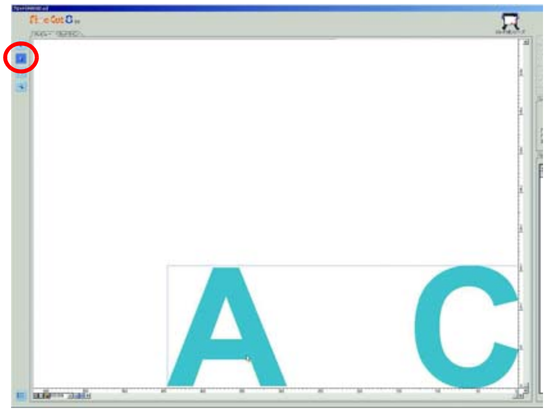
例えば色の違う ABC をカラー別にカットする場合、A と C をカットすると、色の異なる B の部分が空白になってしまいます。
空白の部分にカットするオブジェクトを移動すると、シートを無駄なく使えます。



1 **FineCut メニューの [プロット] をクリックします。**

2 **(ダイレクト選択ツール) で、移動するオブジェクトを選択します。**

右の例では「A」を選択します。

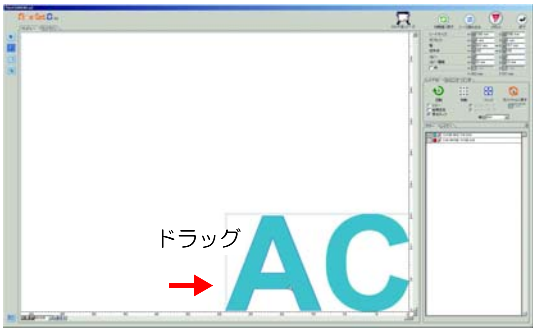


5

便利な使い方 - プロット画面から

3 オブジェクトを選択したまま、移動する位置にドラッグします。

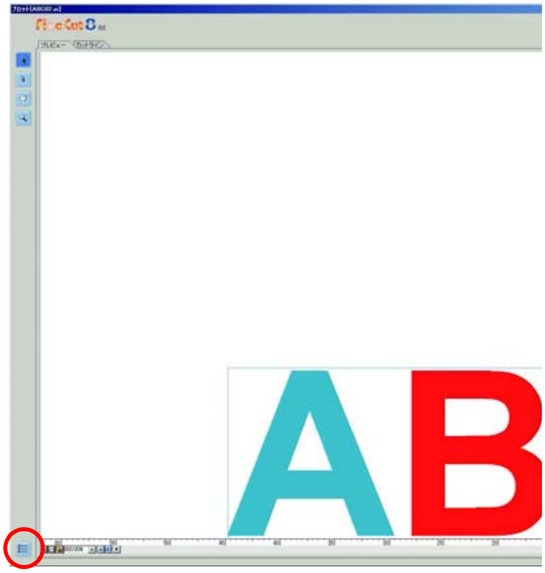
移動したオブジェクトを元に戻す場合は、 ([オリジナルに戻す] ボタン) をクリックします。



プロッタとの接続を設定する

プロット画面から、プロッタとの接続を確認・設定できます。

1 （プロッタ / ユーザー設定ボタン）をクリックします。



2 通信ポートを設定し、[設定] をクリックします。

必要に応じて [接続テスト] をクリックし、プロッタとの接続を確認してください。

(その他の設定について詳しくは ☞ P.7-13)

カット終了後のヘッド位置を設定する

データをカットした後のヘッド位置を設定できます。

1

FineCut メニューの [プロット]ボタンをクリックします。

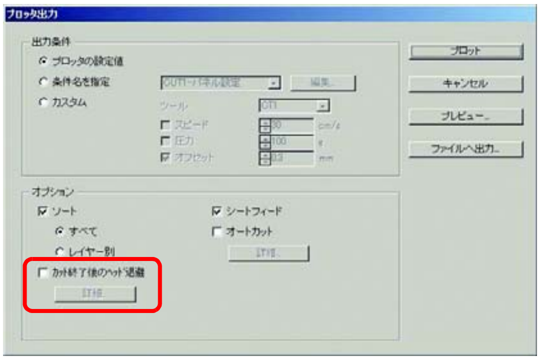
2

(プロットボタン) をクリックします。

3

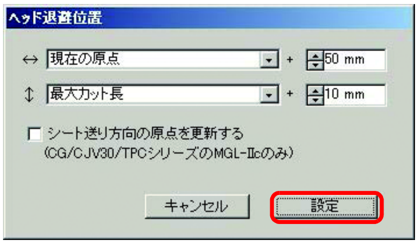
[カット終了後のヘッド退避] にチェックを付けます。

ヘッド退避位置の変更や退避位置に原点を設定する場合は、[詳細] をクリックして次の手順に進みます。



4 「ヘッド退避位置」画面で設定を変更します。

設定したら、[設定] をクリックします。



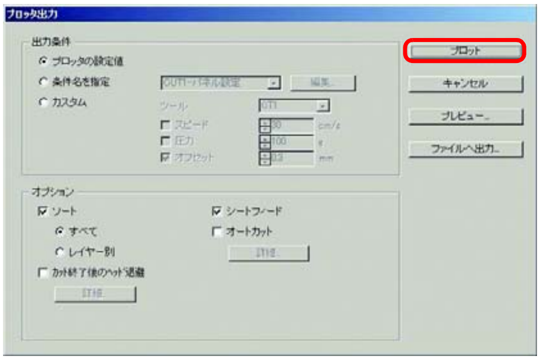
項目	説明
↔	基準の位置 ([現在の原点] または [最大カット幅] を選択) から見た、幅方向のヘッド退避位置を設定します。
↕	基準の位置 ([現在の原点] または [最大カット幅] を選択) から見た、長さ方向のヘッド退避位置を設定します。
シート送り方向の原点を更新する	ヘッド退避位置を原点に設定します。 (CG/CJV30、TPC でコマンドが MGL-IIc の場合のみ使用可能) ここにチェックを付けると、同じシートで連続出力をする場合に、前回カットした位置に重ねてカットするミスを防ぐことができます。

重 要 !

- CJV300/150 シリーズは、ヘッド退避位置が必ず原点になります。
- プロッタ側の [マイスウギリ][ブンカツカット] を使用する時は、[シート送り方向の原点を更新する] のチェックを外してください。この項目にチェックがあると、[マイスウギリ] や [ブンカツカット] が正常に行われません。

5 [プロット] をクリックします。

プロットが始まります。
終了後、設定した位置にヘッドが退避します。



カット前にプレビューで確認する

データを実際にカットする前に、設定した出力条件でのカットライン、方向、順序などをプレビューで確認できます。

1

FineCut メニューの [プロット] ボタンをクリックします。

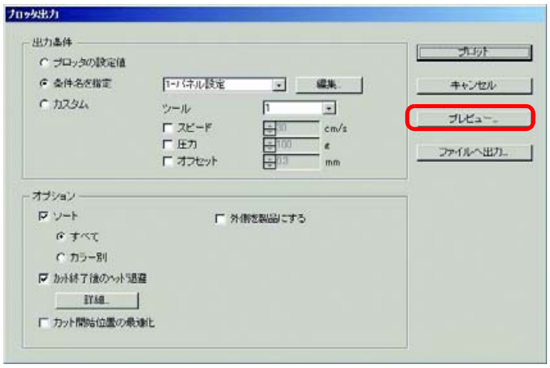
2

(プロットボタン) をクリックします。

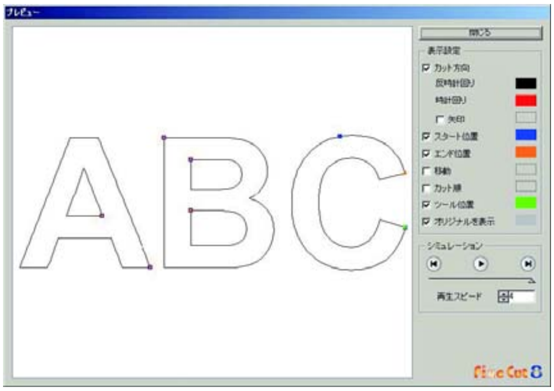
3

出力条件等を設定し、[プレビュー] をクリックします。

（設定項目の詳細 ☞ P.7-27）



4 カットラインをプレビューで確認します。



- [表示設定] の色は、各設定の右にある色をクリックすると変更できます。
- コピーやトンボ分割カットを設定してある場合も、プレビューではコピーやトンボ分割はされずに表示されます。

項目	説明
カット方向	反時計回りにカットするラインを黒、時計回りにカットするラインを赤で表示します。 [矢印] にチェックを付けると、カットする方向を矢印で表示します。 • オープンパスの場合、どちらのカット方向も黒で表示します。
スタート位置	カットの開始点を青で表示します。
エンド位置	カットの終了点をオレンジで表示します。
移動	ツールをアップして移動するラインを黄色で表示します。
カット順	カットの順番を番号で表示します。
ツール位置	ツール (ヘッド) の位置を緑で表示します。シミュレーションを行うと、ツールの動きが確認できます。
オリジナルを表示	Illustrator で作成した図柄を FineCut に読み込み、プロット画面上で加工した、カットする前の状態を表示します。

5

[シミュレーション] の ▶ をクリックして、カットの動きを確認します。

⏮ でカット開始前の状態に戻ります。⏭ でカット終了時の状態を表示します。
スライドバーを使うと、任意の位置からのシミュレーション表示ができます。
[再生スピード] でシミュレーションの速さを設定することもできます。

6

必要に応じて手順 3 に戻り、出力条件を調整します。

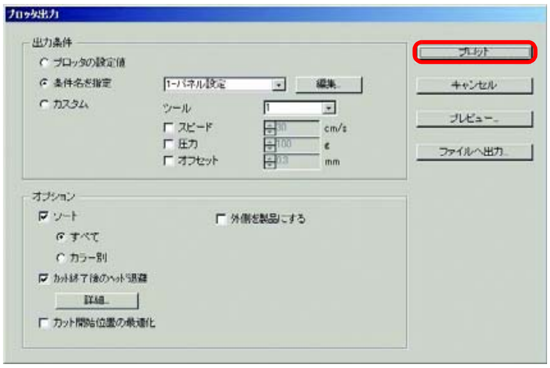
- CF/CF2/DC/CF3 シリーズの場合、カットの開始位置がプレビューで確認できます。
  調整は、[カット開始位置指定] ツール (☞ P.6-4) または「プロッタ出力」画面の [カット開始位置の最適化 (☞) から行います。
  また、線分分割の分割位置もプレビューで確認できます。
- CF3 シリーズ (M ヘッド) の場合、以下の設定がプレビューで確認できます。
  カットの開始位置 :
  調整は、[カット開始位置指定] ツール（☞ P.6-4）または「プロッタ出力」画面の [カット開始位置の最適化]、[スタート / エンド補正]（☞ P.7-27）から行います。
  オフセット方向 :
  調整は、「プロッタ出力」画面の [オプション] 内で行います。（☞ P.7-27）
  カットラインの位置・カット方向 :
  調整は、「出力条件設定」画面の [エンドミル径] で行います。（☞ P.7-8）

7

再度プレビューを確認し、[閉じる] をクリックします。

8

[プロット] をクリックしてカットします。



第6章
便利な使い方 - その他

この章では ...

FineCut の便利な使い方について、 その他の機能を説明します。

線分を修正する.. 6-2
カットの開始位置を指定する... 6-4
CF3 シリーズ (M ヘッド) をお使いの場合..................... 6-6
カラーライブラリからシート色を指定する 6-11

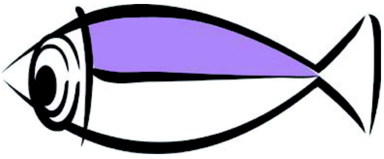
線分を修正する

「輪郭抽出」(☞ P.4-12) で作成したアウトライン (線分) の修正や変更ができます。

1

輪郭抽出した画像を
Illustrator で開きます。

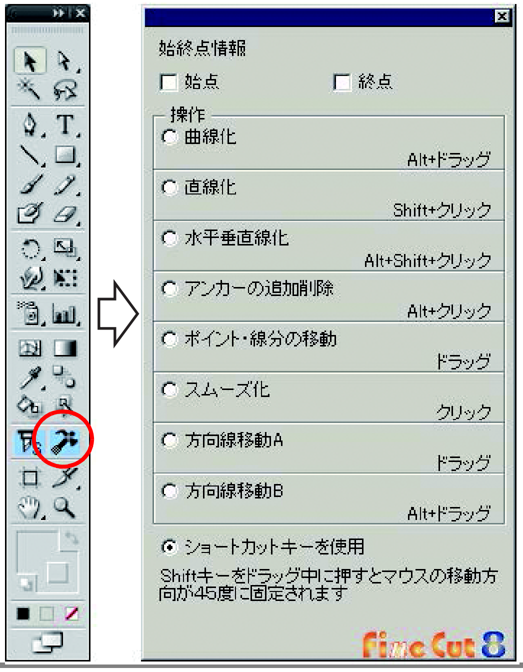
必要に応じて、Illustrator のズームツールで修正する線分を拡大します。



2

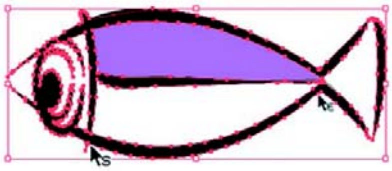
Illustrator ツールパレットの [線分修正ツール] ボタンをクリックします。

線分修正ツールが表示されます。
（詳しくは☞ P.7-38）



3

始点と終点を指定します。



項目	説明
始点	カーソルをアンカーポイントに近付けると、カーソルに「S」が表示されます。アンカーポイントをクリックし、始点を指定します。
終点	始点が選択済みの場合は、カーソルをアンカーポイントに近付けると、「E」が表示されます。アンカーポイントをクリックし、終点を指定します。

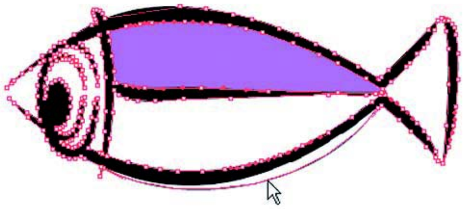
4 操作方法を選択します。

ここでは [線分の曲線化] を例に説明します。

- [ショートカットキーを使用] にチェックを入れると、各操作の右に書かれたキー操作で修正ができます。Windows の場合は Alt キー、Macintosh の場合は Option キーを押しながらマウスを操作します。

5 線分をドラッグし曲線化します。

マウスボタンを放した位置で線が確定されます。



カットの開始位置を指定する

重 要!
- この機能は CF シリーズ (CF/DC/CF2/CF3(M ヘッドを除く)) でカットする場合に効果があります。

オブジェクトのカット開始位置を指定できます。
オブジェクトの形状に合わせてカット開始位置を指定することで、より良い品質でカットが行えます。

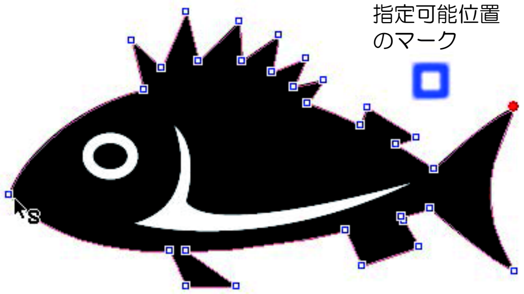
1 オブジェクトを、Illustratorの[分割・拡張]や[アピアランスを分割] などで単純なパスに変換します。

文字の場合は [アウトラインを作成] を行います。

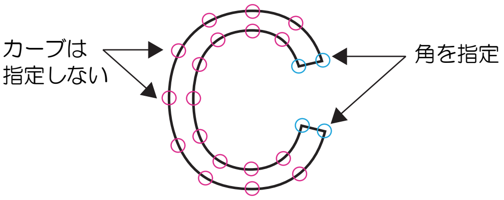
2 Illustrator ツールパレットの [カット開始位置指定] ボタンをクリックします。

3 カット開始位置を指定します。

現在のカット開始位置が赤のマークで表示されます。
指定可能な位置 (青のマーク) の中から任意のポイントをクリックして指定します。
指定された位置が赤色に変わります。



- カット開始位置は、Illustrator のデータとして保存されます。
- カット開始位置は、オブジェクトの角を指定してください。カーブの途中をカット開始位置に指定すると、カットラインがきれいに仕上がらないことがあります。



4

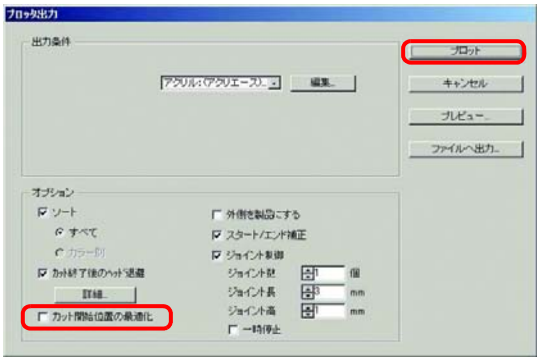
FineCut メニューの [プロット] をクリックします。

5

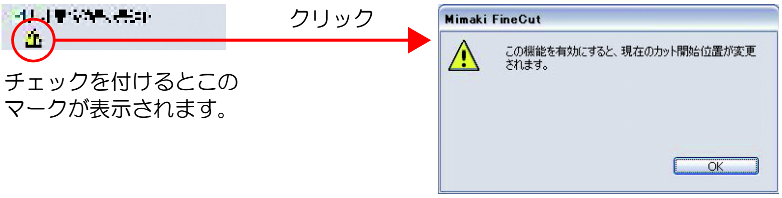
(プロットボタン) をクリックします。

6

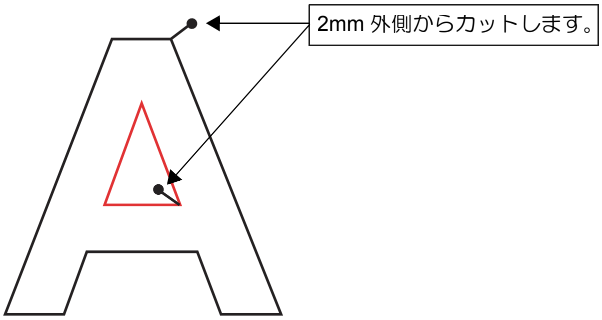
(CF/CF2/DC/CF3 シリーズの場合)
[カット開始位置の最適化] のチェックを外して、[プロット] をクリックします。



- [カット開始位置の最適化] にチェックが付いていると、設定したカット開始位置が無効になります。([!] をクリックすると、以下のメッセージが表示されます。)



- (CF3 シリーズ (M ヘッド) のみ)
  上の画面で [スタート / エンド補正] にチェックを付けると、オブジェクトの 2mm 外側からカットします (外側を製品にしない場合などは、これによりカット開始 / 終了位置の切り口がきれいになります)。



6

便利な使い方 - その他

CF3 シリーズ (M ヘッド) をお使いの場合

カット方法の設定ができます。

1 プロッタ側で、Z 軸原点を設定します。

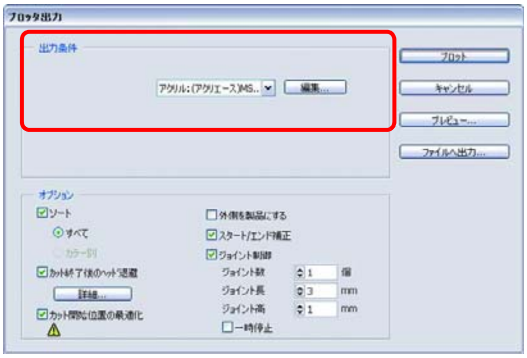
詳しくはプロッタの取扱説明書を参照してください。

2 FineCut メニューの [プロット] をクリックします。

3 (プロットボタン) をクリックします。

4 出力条件を選択します。

FineCut で設定した出力条件を選択します。
[編集] をクリックすると、メディアの追加や、メディア別のカット条件を設定できます。
カット条件では、ワーク厚、切削深さ等、エンドミルを使ってのカット条件を設定します。
（☞ P.7-5）



- カラー別 / レイヤー別に出力条件を設定 (☞ P.5-16) した場合、ここでの設定はできません。

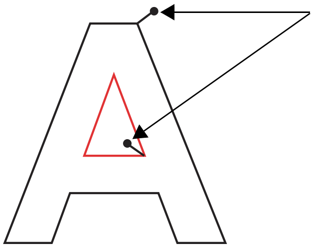
5 オプションを設定します。

前の手順で設定した出力条件に加えて、仕上がりがきれいになるよう、ここでメディアとオブジェクトの形状に合わせた設定をします。

<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td colspan="2">(下記以外の項目については、 ☞ P.7-27)</td></tr>
<tr><td>カット開始位置の最適化</td><td>カット開始位置の仕上がりがきれいになるよう、位置を最適化します。
チェックを付けない場合は、データ作成時の開始位置、または [カット開始位置指定] ツールで指定した位置でカットします。

• 設定後、必ずプレビューでカット開始位置を確認してください。
• 最適化により、開始位置がオブジェクトよりも外側になる場合があります。カットラインが隣のオブジェクトにかかってしまう場合は、Illustrator でオブジェクトの間隔をあけるなどして調整してください。</td></tr>
<tr><td>外側を製品にする</td><td>オブジェクトの中をくり抜いて外側を製品にします。チェックを付けると、製品として残す部分を判断して、オフセットする方向を決定します。また、カット面がきれいに仕上がるよう、カット方向を最適化します。

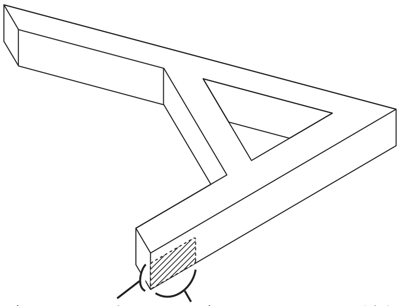
内側を製品にする
（チェック無し）

外側を製品にする
（チェックあり）</td></tr>
<tr><td>スタート / エンド補正</td><td>オブジェクトの 2mm 外側からカットします (外側を製品にしない場合などは、これによりカット開始 / 終了位置の切り口がきれいになります)。

</td></tr>
</table>

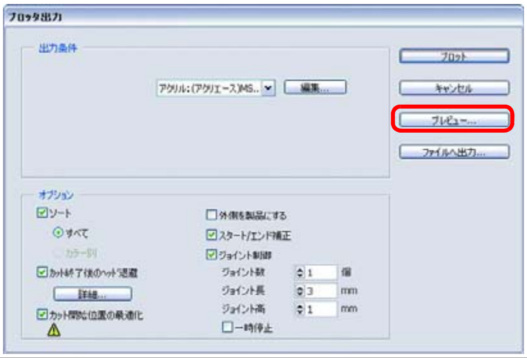
項目		説明
ジョイント制御		カットラインの一部を切り残しておき、最後にカットします。ワークがずれるのを防ぎ、カット面がきれいに仕上がります。 小さいメディアや重いメディアなど、カット中にメディアがずれやすいものは終点がきれいにカットできないため、ヘッドを退避して、テープ等で固定してから終点をカットします。
	ジョイント数	切り残す数を設定します。 指定した数のジョイント用切り残し部分を、カットライン上に均等に配置します。切り残し部分の位置はジョイント長によって変わりますのでプレビューで確認してください。
	ジョイント長	切り残すメディアの長さを設定します。
	ジョイント高	切り残すメディアの厚さを設定します。
	一時停止	終点を切り残した後、ヘッドを一旦退避します。

ジョイント制御について

- [ジョイント制御] を設定したら、 一度試し切りすることをおすすめします。
- 「出力条件設定」 画面 (☞ P.7-5) でカット回数を複数回に設定して [切削深さ] を設定した場合、切削深さがここで設定した [ジョイント高] より高ければ、ジョイント制御は行われません。
- 「出力条件設定」画面でカット回数を複数回に設定した場合、ジョイント部分はジョイント制御された回数分カットされます。
- [ジョイント数] を複数個に設定すると、大きな形状やたわみのあるメディアがずれることなくカットできます。
- メディアのたわみにより、場所によってはメディアが浮いてしまう場合があるため、[ジョイント高] は多めに設定することをおすすめします。

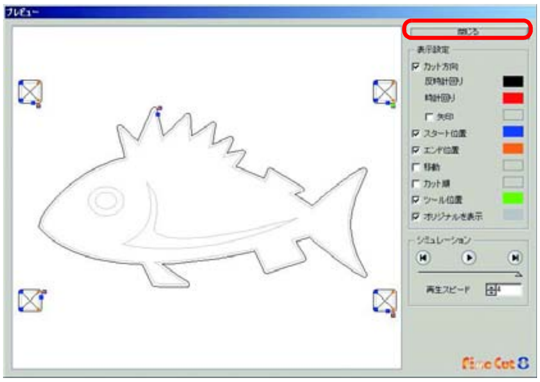


6 [プレビュー] をクリックします。



7 カットラインを確認します。(☞P.5-24)

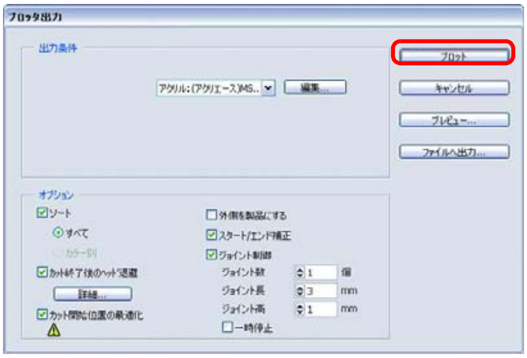
確認後、[閉じる] をクリックします。



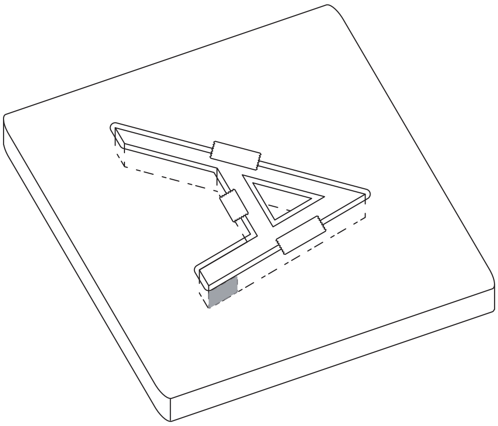
- カットラインは、「出力条件設定」画面または手順 4 の [編集] ボタンから設定した [エンドミル径] の半分の値でオフセットされています。プレビューでカットラインを確認しながら、「出力条件設定」画面でエンドミル径を調整してください。(☞ P.7-5)

8

[プロット] をクリックしてカットします。



- 「プロッタ出力」画面の [ジョイント制御] で [一時停止] を選択した場合、ここでカットが一時停止し、ヘッドが退避します。
  メディアをテープで固定して、プロッタの [REMOTE] ボタンを押すと、ジョイント部分をカットします。



カラーライブラリからシート色を指定する

FineCut CD-ROM 内の「カラーライブラリ」フォルダには、各シート (フィルム) メーカー様からご提供頂いたスウォッチライブラリ、およびカラーチャート・プラグインが含まれています。
カラーライブラリをインストールすると、シート (フィルム) の色見本を Illustrator に表示し、データの塗りつぶしや線の色として指定できます。

ご提供メーカー（順不同）

会社名	カラーライブラリ・タイプ
株式会社中川ケミカル	カラーチャート・プラグイン
住友スリーエム株式会社	スウォッチライブラリ
積水化学工業株式会社	スウォッチライブラリ
桜井株式会社	スウォッチライブラリ
ニチエ株式会社	スウォッチライブラリ

動作環境

Windows	カラーチャート・プラグイン	Adobe Illustrator 7.0J ～ 10J
	スウォッチライブラリ	Adobe Illustrator 7.0J～10J, CS, CS2, CS3, CS4, CS5, CS6, CC, CC2014
Macintosh	カラーチャート・プラグイン	Adobe Illustrator 7.0J ～ 9.02J
	スウォッチライブラリ	Adobe Illustrator 7.0J～10J, CS, CS2, CS3, CS4, CS5, CS6, CC, CC2014

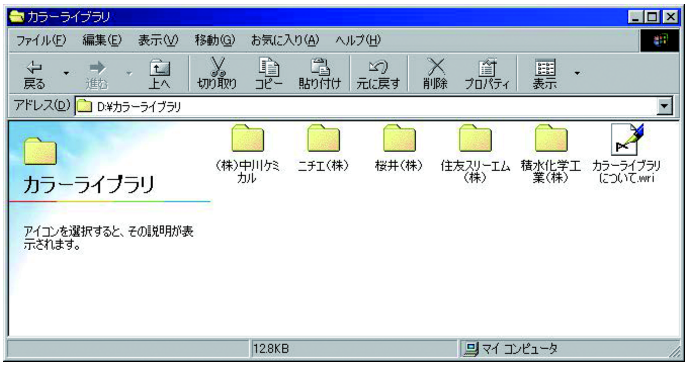
重 要！
- カラーライブラリを使用して発生したいかなる障害に関しても、株式会社ミマキエンジニアリングおよびカラーライブラリ提供メーカーは責任を負いません。あらかじめご了承の上、ご使用ください。

本製品中の製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

インストールする

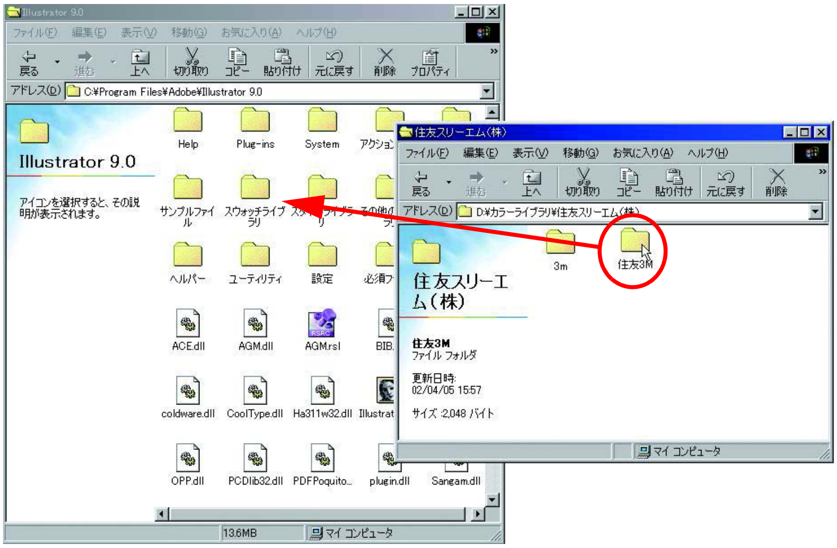
ここでは、スウォッチライブラリのインストール方法を説明します。
カラーチャート・プラグインは、インストーラの指示に従ってインストールしてください。

1 **FineCut** の **CD-ROM** 内にある「カラーライブラリ」フォルダを開きます。



2 インストールするスウォッチライブラリ・ファイルを **Illustrator** の「スウォッチライブラリ」フォルダにドラッグ&ドロップします。

- Illstrator CS/ CS2/ CS3/ CS4/ CS5/ CS6/ CC/CC2014の場合は、「プリセット」の中の 「スウォッチ」 フォルダにドラッグ&ドロップします。



カラーライブラリを使用する

1 **Illustrator を起動します。**

2 **Illustrator の [ウィンドウ] メニューにある [スウォッチライブラリ] から、使用するライブラリを選択します。**

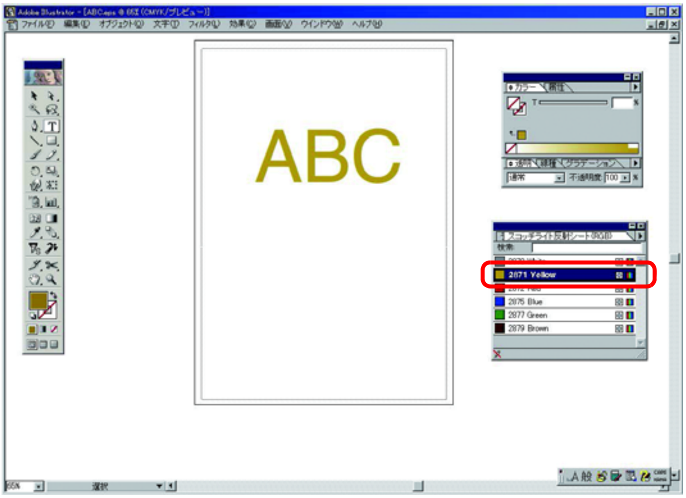
3 カッティングシート(フィルム)の色見本が、カラーパレットとして表示されます。

6

便利な使い方 - その他

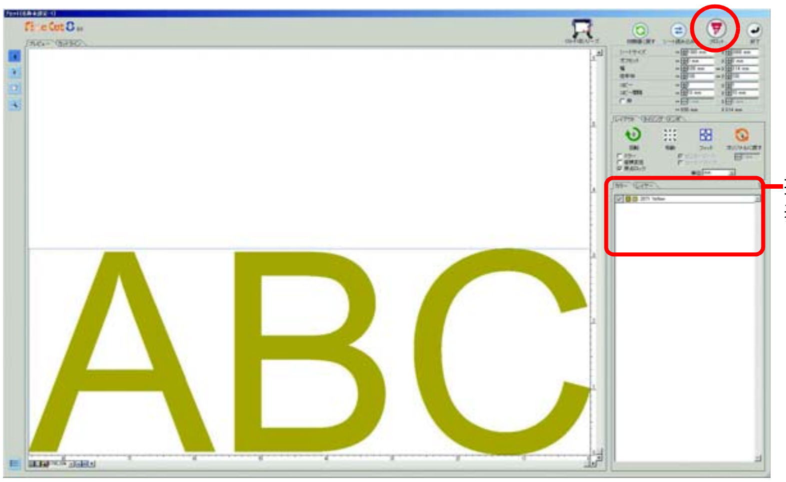
4

カットするデータに、カラーパレット内の色 (シート名) を指定します。



5

FineCut メニューの **[** プロット **]** ボタンをクリックします。



6

指定したシートをプロッタにセットし、カットします。

（例では「スコッチライト反射シート 2871 Yellow」をセットします。）

第７章
機能説明

この章では ...

FineCut の各機能を説明します。

FineCut メニュー 7-2
　表示方法 7-2
　メニュー一覧 7-2
「プロッタ / ユーザー設定」画面 7-4
　プロッタ 7-4
　出力条件設定 7-5
　通信条件 7-13
　プロットダイアログ 7-14
　警告表示 7-15
　その他 7-16
「プロット」画面 7-17
「プロッタ出力」画面 7-27
「輪郭抽出」画面 7-31
　簡単トレース 7-31
　詳細設定トレース 7-32
「RasterLink 出力」画面 7-34
「FineCut について」画面 7-37
線分修正画面 7-38
カット開始位置指定 7-41
オンライン・インフォメーション 7-42
FineCut のアンインストール 7-43
　Windows 7-43
　Macintosh 7-43

表示方法

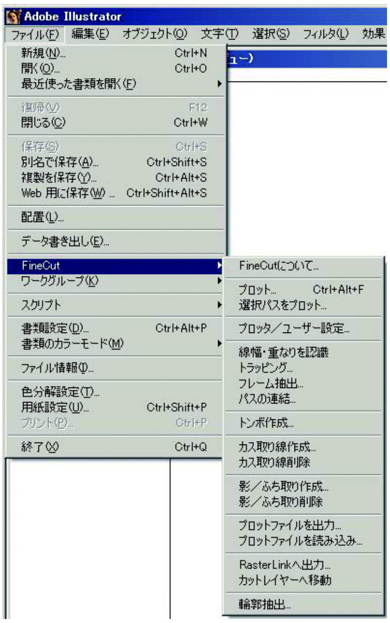
Illustrator から、以下のいずれかの方法で FineCut メニューを表示、選択します。

Illustrator の [ウィンドウ] メニューから

[FineCut メニューを表示]（Illustrator10 以上の場合は [Mimaki FineCut]）をクリックすると、下の画面を表示します。
この画面でボタンをクリックして、各メニューを起動します。

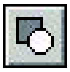
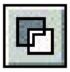
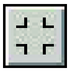
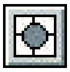
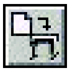
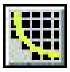
Illustrator の [ファイル] メニューから

[FineCut] をクリックして、各メニューをクリックします。



メニュー一覧

ボタン	メニュー	説明
	プロット	オブジェクトのレイアウトや各種オプションを設定して、プロットします。（☞ P.7-17）

ボタン	メニュー	説明
	選択パスをプロット	選択したオブジェクトのみプロットします。
	線幅・重なりを認識	選択したオブジェクトの線幅や重なりを認識します。（☞ P.4-2）
	トラッピング	選択したオブジェクトをトラッピング処理します。（☞ P.4-3）
	フレーム抽出	選択したオブジェクトにフレームを作成します。（☞ P.3-4）
	パスの連結	オープンパス（始終点の座標が離れているパス）の端点を連結します。（☞ P.4-4）
	トンボ作成	トンボを作成します。（☞ P.3-6）
	FineCut について	取扱説明書や FineCut の最新情報などを表示します。（☞ P.7-37）
	カス取り線作成	シールを剥がしやすくするため、オブジェクトの周りに切り込み（カス取り線）を入れます。（☞ P.4-6）
	カス取り線削除 (ファイルメニュー内のみ)	作成したカス取り線を削除します。
	影 / ふち取り作成	オブジェクトに影 / ふち取りを作成します。（☞ P.4-8）
	影 / ふち取り削除 (ファイルメニュー内のみ)	作成した影 / ふち取りを削除します。
	プロットファイルを読み込み	保存したプロットファイルを読み込みます。（☞ P.4-10）
	プロットファイルを出力	作成したプロットファイルをプロッタに出力します。（☞ P.4-10）
	輪郭抽出	ビットマップイメージをカットするためのアウトラインを作成します。（☞ P.4-12）
	RasterLink へ出力	CJV30/TPC/CJV300/CJV150 シリーズをお使いの場合に、各種設定済みのファイルを RasterLink へ送ります。（☞ P.4-14）
	カットレイヤーへ移動	選択したパスを、新たに作成したカットレイヤーへ移動します。移動したデータはプリントされません。（☞ P.4-14）
	プロッタ / ユーザー設定	使用するプロッタと、プロッタに接続するための通信条件等を設定します。（☞ P.7-4）

「プロッタ / ユーザー設定」画面

FineCut とプロッタが通信できるように、機種や通信条件等を設定します。
FineCut メニューの （[プロッタ / ユーザー設定] ボタン）をクリックして起動します。

> **重要！**
> ・ここでの設定値がプロッタ側の設定値と異なると、正常にオブジェクトを出力できません。必ず、プロッタの設定値と同じ値を設定してください。

プロッタ

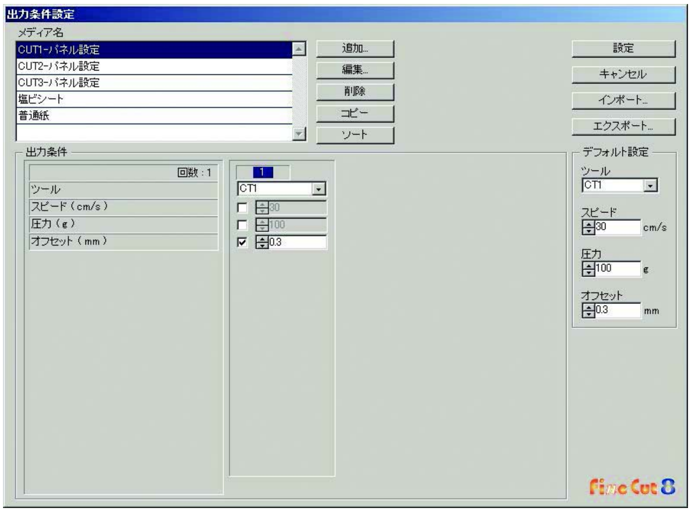
接続しているプロッタについて設定します。
詳しくは、接続しているプロッタの取扱説明書をご覧ください。

項目	説明
プロッタ機種	接続しているプロッタの機種を選択します。
コマンド	プロッタで設定しているコマンドを選択します。
ステップサイズ	プロッタで設定しているステップサイズを選択します。
近似タイプ	オブジェクトのベジェ曲線をカットするときの近似方法を選択します。
出力条件設定 ...	メディア、ツールを設定します。（☞ 次ページ）

> **重要！**
> ・[近似タイプ] を変更した場合は、再度カット条件を調整してください。お使いのメディアによってはカッターに負荷がかかり、破損の原因となることがあります。
> ・[プロッタ機種] で CF3 シリーズ（M ヘッド）を選択した場合、[近似タイプ] は [スプライン] のみ選択できます。

出力条件設定

機種共通

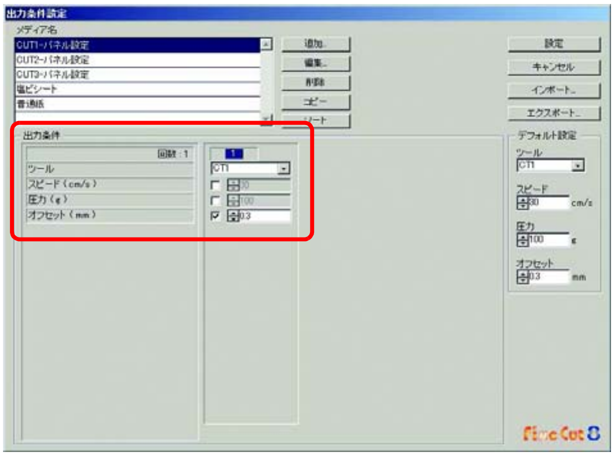


- CF3/CJV30/TPC/CJV300/CJV150 シリーズを選択している場合、[デフォルト設定] は表示されません。

項目	説明
メディア名	登録済みのメディア名（出力条件）を表示します。
出力条件	出力条件を表示・変更します。[メディア名] からメディアをクリックすると、出力条件が表示されます。選択した機種により、表示内容が異なります。（☞ 次ページ）
[追加]	メディア名を追加します。
[編集]	メディア名を変更します。[メディア名] からメディアをクリックして、[編集] をクリックします。
[削除]	メディア名を削除します。[メディア名] からメディアをクリックして [削除] をクリックします。
[コピー]	メディア名をコピーします。[メディア名] からメディアをクリックして、[コピー] をクリックします。
[ソート]	メディア名を昇順に並び替えます。
[インポート]	保存したメディア名（出力条件）ファイルをインポートします。 異なる環境でも同じ条件でプロットする場合に [インポート ...] をクリックして、保存したファイルを読み込みます。
[エクスポート]	設定済みのすべてのメディア名（出力条件）をファイルに保存します。
デフォルト設定	カラー / レイヤー別に出力条件を設定したときに（☞ P.5-16）、枠やマークなど、設定できない部分の出力条件（ツール / スピード / 圧力 / オフセット）を設定します。

CG/CJV30/TPC/CJV300/CJV150 シリーズ選択時

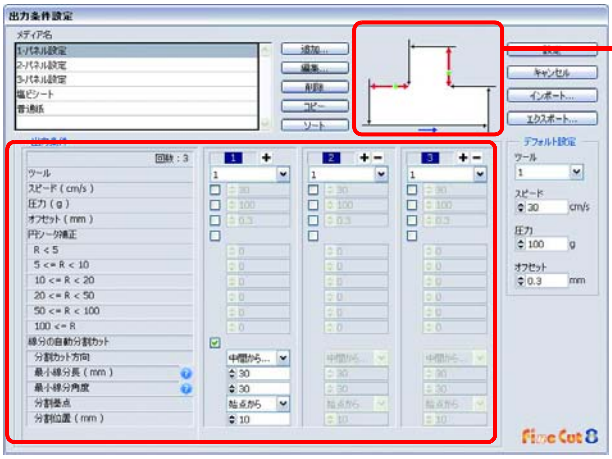
- カラー / レイヤー別に出力条件を設定する場合、下の画面でチェックを付けない項目は、デフォルト設定（CG シリーズの場合）またはプロッタの設定値（CJV30/TPC/CJV300/CJV150 シリーズの場合）が有効になります。
- 各項目の詳細については、プロッタの取扱説明書をご覧ください。



項目	説明	初期値
回数	カットする回数を表示します。 (CG/CJV30/TPC/CJV300/CJV150 シリーズでは常に 1 になります)	--
ツール	使用するツールを選択します。 （CJV30/TPC シリーズには CT4/CT5/PIN はありません）	CT1
スピード	1 秒あたりのカット速度を設定します。	30
圧力	カットする圧力を設定します。	100
オフセット	カッターホルダーの中心から刃先までの距離を設定します。 (セットしている刃の種類により異なります)	0.3

CF/CF2/DC/CF3（M ヘッドを除く）シリーズ選択時

- カラー / レイヤー別に出力条件を設定する場合、下の画面でチェックを付けない項目は、デフォルト設定（CF/CF2/DC シリーズの場合）またはプロッタの設定値（CF3 シリーズ（M ヘッドを除く）の場合）が有効になります。
- 各項目の詳細については、プロッタの取扱説明書をご覧ください。

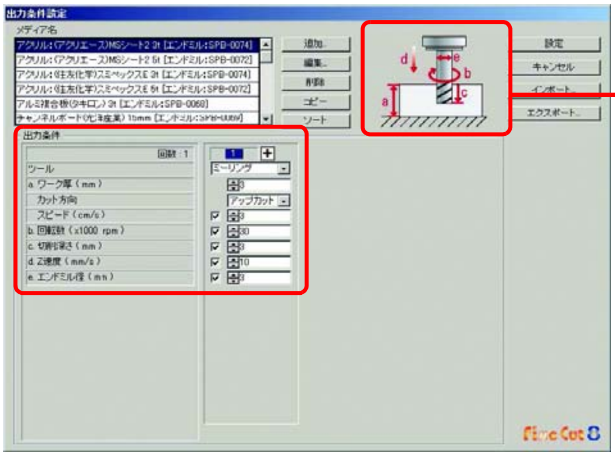


分割基点によって変わる分割カット方向と分割位置を確認できます。([線分の自動分割カット] 選択時のみ表示)

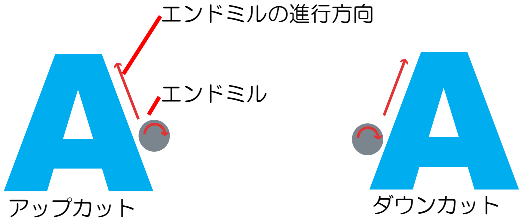
項目		説明	初期値
回数		カットする回数を表示・変更します。 硬い素材や厚い素材をカットする場合は、FineCut で 1 つのカットラインに対してカットする回数 / スピード / 圧力などを複数回設定するとカットできます。 ＋ をクリックするとカットする回数が増え、回数ごとの出力条件が設定できます。回数を減らすときは － をクリックします。	1
ツール		使用するツールを選択します。プロッタ側で割り付けてあるツール番号、またはツール名を指定します。 **重 要！** 出力条件でツール番号を設定した場合、プロッタ側のツールの設定を確認してください。	1
スピード		1 秒あたりのカット速度を設定します。	30
圧力		カットする圧力を設定します。	100
オフセット		カッターホルダーの中心から刃先までの距離を設定します。	0.3
円シータ補正		カットする円の始終点のずれ量を補正します。	オフ
線分の自動分割カット (☞ P.4-22)	線分の自動分割カット	線分を分割してカットする場合にチェックを付けます。	オフ
	分割カット方向	分割した線分のカット方向を選択します。	両端から中間
	最小線分長	分割する線分の最小長を設定します。 [?] をクリックすると、項目の説明を表示します。	30
	最小線分角度	分割する線分の最小角度を設定します。 [?] をクリックすると、項目の説明を表示します。	30
	分割基点	分割する線分について、分割の基準位置を設定します。	終点から
	分割位置	線分の分割位置を、[分割基点] からの距離で指定します。	10
◀ ▶		前ページ / 次ページへ移動します。カット回数が 4 回以上のとき表示します。	--

CF3 シリーズ（M ヘッド）選択時

- チェックを付けない項目については、プロッタの設定値が有効になります。
- 各項目の詳細については、プロッタの取扱説明書をご覧ください。



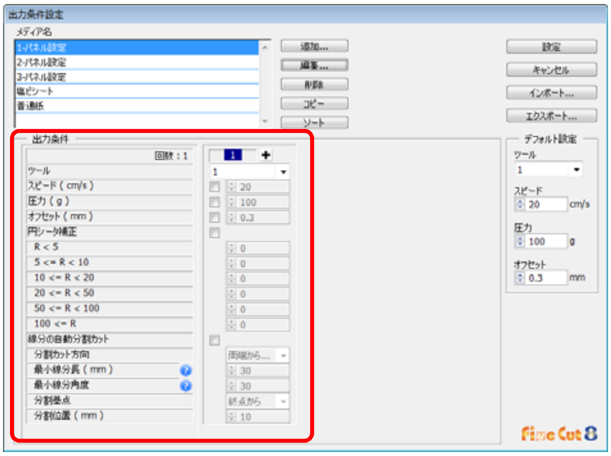
出力条件の各項目を示しています。

項目	説明	初期値
回数	カットする回数を表示・変更します。 硬い素材や厚い素材をカットする場合は、FineCut で 1 つのカットラインに対してカットする回数 / スピード / 圧力などを複数回設定するとカットできます。 ＋ をクリックするとカットする回数が増え、回数ごとの出力条件が設定できます。回数を減らすときは － をクリックします。	1
ツール	[ミーリング] を表示します。	--
a　ワーク厚	ワーク (メディア) の厚さを設定します (最大 50mm)。カット回数 1 回目の条件設定欄でのみ、設定できます。	3
カット方向	カットする方向を選択します。カット方向を変えると、切断面の仕上がりが改善されることがあります。事前にカットするメディアでテストカットを行い、確認することをお勧めします。 • アップカット エンドミルの進行方向の左側を加工物として削る方法です。 • ダウンカット エンドミルの進行方向の右側を加工物として削る方法です。 	アップカット
スピード	エンドミルが進行方向へ進む速度を設定します。	3

項目		説明	初期値
b	回転数	エンドミルの回転数を設定します。ベースとなる 1000rpm にかける数を設定してください。	30x1000
c	切削深さ	Z 軸の原点位置 (ワーク上面からエンドミル先端までの距離) を設定します。	3
d	Z 速度	エンドミルがワークに入る速度を設定します。	10
e	エンドミル径	エンドミルの直径を設定します。オフセット値はここで設定した値の半分の量で設定されます。 オフセットが不要の場合は、カット回数 1 回目の条件設定欄でチェックを外します。	3
		前ページ / 次ページへ移動します。カット回数が 4 回以上のとき表示します。	--

CFL-605RT 選択時

- チェックを付けない項目については、プロッタの設定値が有効になります。
- 各項目の詳細については、プロッタの取扱説明書をご覧ください。



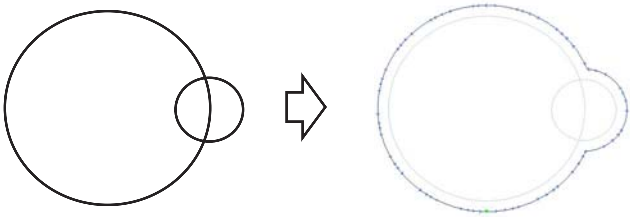
項目	説明	初期値
回数	カットする回数を表示・変更します。 硬い素材や厚い素材をカットする場合は、FineCut で 1 つのカットラインに対してカットする回数 / スピード / 圧力などを複数回設定するとカットできます。 ➕ をクリックするとカットする回数が増え、回数ごとの出力条件が設定できます。回数を減らすときは ➖ をクリックします。	1
ツール	使用するツールを選択します。 **重 要!** • 出力条件でツール番号を設定した場合、プロッタ側のツールの設定を確認してください。 • プロッタ側のペン番号割り付けを確認し、FineCut の設定を行ってください。 • CFL-605RT で B ユニットのツールを使う場合、罫引きローラー、レシプロカッター、タンジェンシャルカッターは同時に使用できません。「罫引き後にレシプロでカット」などの場合、ツールごとにカットデータを出力してください。	1
スピード	1 秒あたりのカット速度を設定します。	20
圧力	カットする圧力を設定します。	100
オフセット	カッターホルダーの中心から刃先までの距離を設定します。 (セットしている刃の種類により異なります)	0.3
円シータ補正	カットする円の始終点のずれ量を補正します。	オフ

項目		説明	初期値
線分の自動分割カット (☞ P.4-22)	線分の自動分割カット	線分を分割してカットする場合にチェックを付けます。	オフ
	分割カット方向	分割した線分のカット方向を選択します。	両端から中間
	最小線分長	分割する線分の最小長を設定します。 [?] をクリックすると、項目の説明を表示します。	30
	最小線分角度	分割する線分の最小角度を設定します。 [?] をクリックすると、項目の説明を表示します。	30
	分割基点	分割する線分について、分割の基準位置を設定します。	終点から
	分割位置	線分の分割位置を、[分割基点] からの距離で指定します。	10
◀ ▶		前ページ / 次ページへ移動します。カット回数が 4 回以上のとき表示します。	--

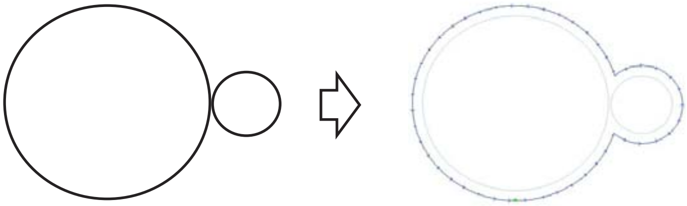
オフセットについて

CF3 シリーズ（M ヘッド）の選択時、[エンドミル径] を設定すると、Illustrator のオブジェクトと FineCut の設定状態により、次のようにオフセットしてカットされます。

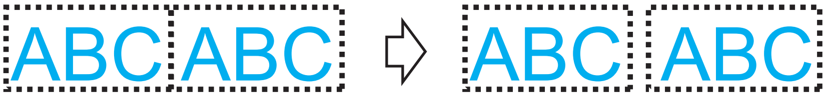
- パス同士が交差しているものは、 外周をオフセットします。
- 交差の中にあるパスはカットされません。



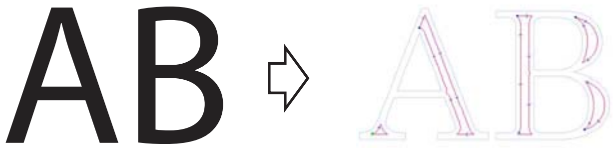
- オフセット図形が重なった場合、 図のように融合されます。



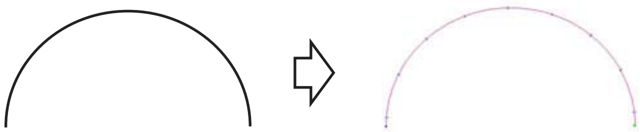
- コピー機能を使用するときは、 隣のオブジェクトを浸食することがあるため、 [コピー間隔] を広めに (10mm 以上) 設定してください。 (☞ P.5-4)



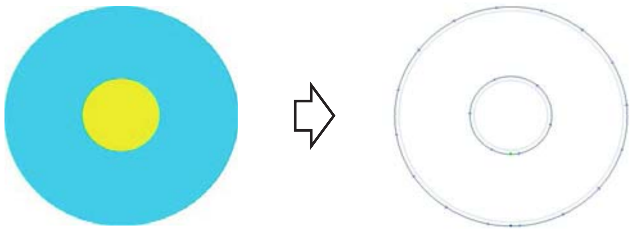
- 内側にオフセットした結果、 他を浸食してしまう部分はカットしません。



- オープンパスはオフセットしません。

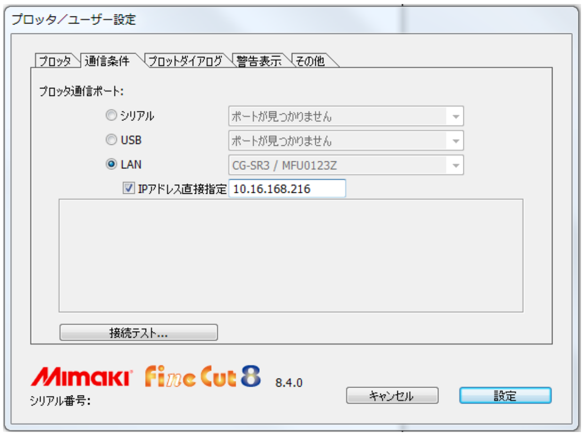


- カラー/ レイヤー別に出力条件を設定する場合、カラー/ レイヤー別にオフセットされます。



通信条件

接続しているプロッタとの通信条件を設定します。



項目	説明	初期値
プロッタ通信ポート	プロッタを接続しているポートを選択します。 CG-FX/ CG-FXII/ CG-75ML/ CG-60SR/ CG-100SRII/ CG-SRIII/ CJV30/ TPC/ CJV300/ CJV150/CFL-605RT/ CF3 シリーズをお使いの場合は、USB 接続ができます。 パソコンとプロッタを接続し、プロッタの電源を ON にしておきます。 その後この画面で [USB] を選択して、接続されている機器を選択してください。 CFL-605RT/ CG-SR Ⅲシリーズをお使いの場合は LAN 接続ができます。 パソコン、プロッタともに LAN ケーブルでネットワークに接続し、プロッタの電源を ON にしておきます。 接続したい機器がリストからみつからない場合、IP アドレス直接指定チェックボックスを ON にし、機器の IP アドレスを入力してください。 接続機器は [機種名 / シリアル No.] の形式で表示されます。 複数の機器が接続されている場合はシリアル No. で識別できます。シリアル No. はプロッタの [ﾏｼﾝｼﾞｮｳﾎｳ] で確認することができます。	--
通信速度	(通信ポートで [シリアル] を選択した場合) データの転送速度を選択します。	9600
データ長	(通信ポートで [シリアル] を選択した場合) データビット長を選択します。	8
パリティー	(通信ポートで [シリアル] を選択した場合) パリティーチェックについて選択します。	なし
ハンドシェーク	(通信ポートで [シリアル] を選択した場合) ハンドシェーク方式について選択します。	ハード ワイヤー
[接続テスト ...]	プロッタとの接続をテストします。	--

重 要 !

- **シリアル接続での注意**
  CG-SR Ⅲシリーズとシリアル接続する場合は、[通信速度] を [38400bps] に設定してください。[38400bps] 以外で通信するとカット品質が低下する場合があります。
- **LAN 接続での注意**
  (1) 機器に設定されているアドレスがパソコンに割り当てられている IP アドレスと異なるネットワークアドレスの場合、通信できません。
  (2) プロッタ通信ポートで LAN を選択しても接続機器が表示されない場合には、ネットワーク上のルータ、パソコンのセキュリティソフトなどのファイアーウォールの設定を見直してください。

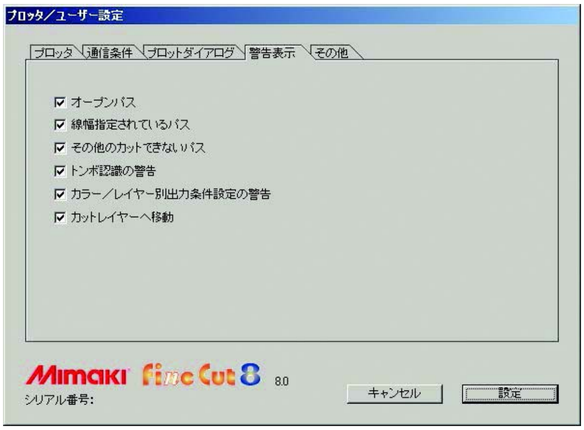
プロットダイアログ

「プロット」画面、および「RasterLink 出力」画面の表示について設定します。

項目	説明	初期値
デフォルトシートサイズ	読み込みが正常に行われなかったり、[ダイアログ表示時にシート読み込みを行う] にチェックが付いていない場合は、ここで指定したサイズでプレビュー表示します。	1.3mx2m
初期表示タイプ	「プロット」画面および「RasterLink 出力」画面の表示方法を選択します。	シート幅表示
ダイアログ表示時にシート読み込みを行う	「プロット」画面を表示する際に、プロッタからシートサイズを自動的に読み込んでプレビュー表示します。	オン
表示のみプロット対象	表示パスのみプロットされます。非表示のパスはプロット対象になりません。	オン

警告表示

下記の項目から、警告を表示する状態を選択します。



項目	説明	初期値
オープンパス	オブジェクトのパスが閉じていない。（始点と終点が同じでない）	オン
線幅指定されているパス	線幅が指定されているパスがある。	オン
その他のカットできないパス	Illustrator のグラデーションメッシュツールを使ってオブジェクトを作成している。またはオブジェクトがラスター画像である。	オン
トンボ認識の警告	トンボ認識の実行時に２点補正を行っている。（CG-EX のみ）	オン
カラー / レイヤー別出力条件設定の警告	カラー別またはレイヤー別に出力条件を設定している。	オン
カットレイヤーへ移動	[カットレイヤーへ移動](P.4-18) を実行するとき、確認画面を表示する。	オン

7

機能説明

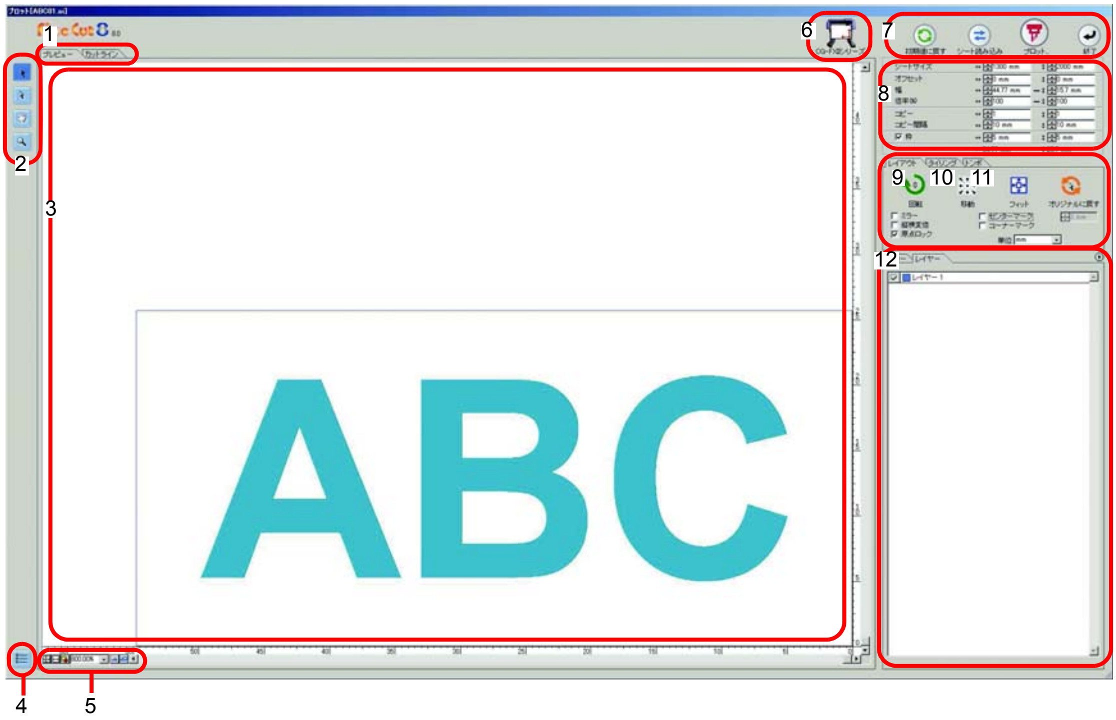
その他

Illustrator 起動時に「オンライン・インフォメーション」を表示するかを選択します。

項目	説明	初期値
Illustrator 起動時に FineCut の情報を確認する	Illustrator の起動時に FineCut の情報を取得し、新着 / 未確認の情報があれば、オンライン・インフォメーションを表示します。	オン

「プロット」画面

プロットに関する設定をします。
FineCut メニューの （[プロット] ボタン）をクリックして起動します。



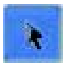
1 画面表示モード

タブをクリックして、表示方法を切り替えます。

項目	説明
プレビュー	オブジェクトをカラー表示します。
カットライン	オブジェクトをパス表示（アウトライン表示）します。白色のオブジェクトやカットラインのイメージを確認しやすくなります。

2 ツールボックス

オブジェクトの移動や拡大 / 縮小表示をします。

ボタン	項目	説明
	選択ツール	表示しているオブジェクト全体を移動します。 また、タイリングの分割線を移動します。
	ダイレクト選択ツール	オブジェクトの一部を選択して移動します。シートの空いている所にオブジェクトを移動できるため、シートを無駄なく使うことができます。（☞ P.5-19）

ボタン	項目	説明
	表示領域変更ツール	オブジェクトを表示する領域を変更します。
	ズームツール	レイアウトエリアの表示を拡大、縮小します。 カットエリア(白い部分)でクリックすると、拡大して表示します。 [Alt] キー（Windows 版）, [Option] キー（Macintosh 版）を押しながらクリックすると、縮小して表示します。

3 レイアウトエリア

白い部分が、シートから読み込んだ有効カットエリアです。横軸にシート幅、縦軸にシートの長さを表示しています。
カットエリアからオブジェクトがはみ出ると、プロットボタンの左横に マークを表示します。マークをクリックすると、エラー内容を表示します。

4 通信設定

通信設定画面を表示します。（☞ P.7-13）

5 ズームサイズ

レイアウトエリアに表示する画面のズームサイズを変更します。

ボタン	項目	説明
	シート全体表示	シート全体を画面表示します。
	シート幅表示	シート幅いっぱいに画面表示します。
	オブジェクト全体表示	オブジェクト全体を画面全体に表示します。
100.00%	% 表示	ズームサイズを % で選択、入力します。(0.2 ～ 6400%)
	ズームアウト / ズームイン	表示を拡大 / 縮小します。

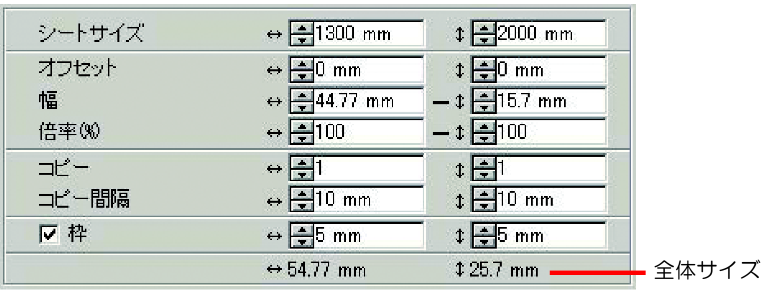
6 プロッタ名

現在選択されているプロッタ名と、プロッタに対するカット方向を表示します。

7 実行ボタン

ボタン	項目	説明
	初期値に戻す	変更したオブジェクトのレイアウトを初期値に戻します。
	シート読み込み	プロッタにセットしたシートのサイズを読み込みます。 ボタンの左横に ⚠ マークが表示されている場合は、プロッタのシートサイズが読み込めていません。プロッタをリモートモードにしてから、ボタンをクリックしてください。
	プロット	「プロッタ出力」画面を表示します。（☞ P.7-27） ボタンの左横に ⚠ マークが表示されている場合は、カットエリアからオブジェクトがはみ出ています。オブジェクトをカットエリア内に移動するか、サイズを変更してください。
	終了	「プロット」画面を閉じます。

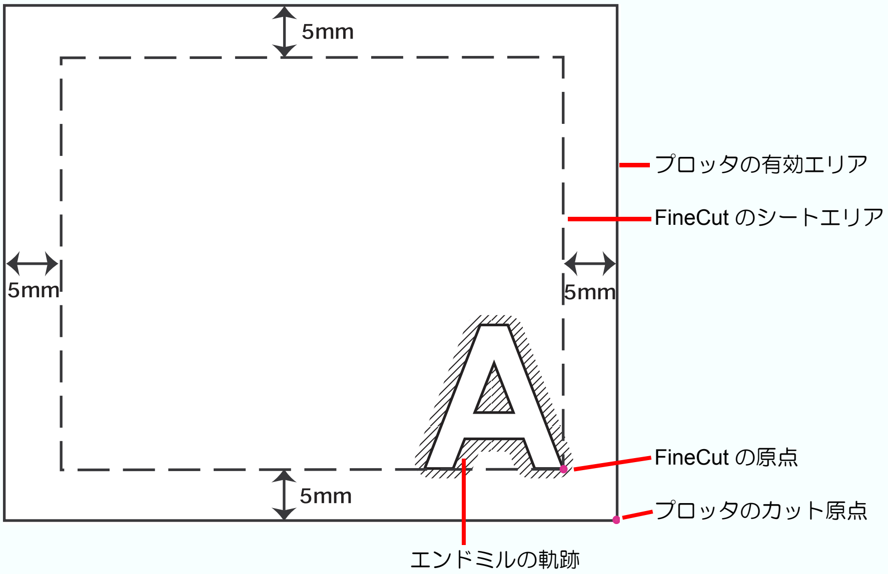
8 サイズ入力エリア

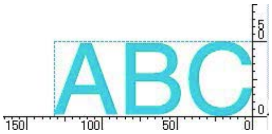
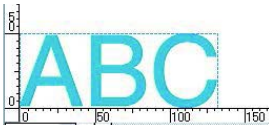


項目	説明	初期値
シートサイズ	(シート読み込みボタン)をクリックして、読み込んだシートサイズ（幅と長さ）を表示します。 または、シートサイズ(カットエリアの幅と長さ)を入力します。	--

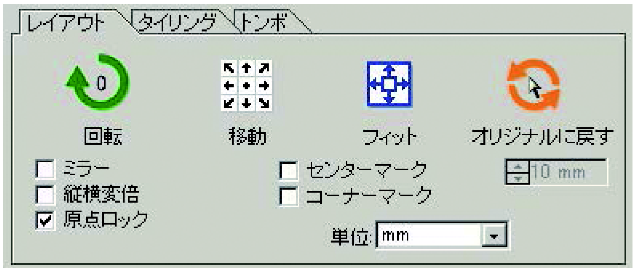
重 要！

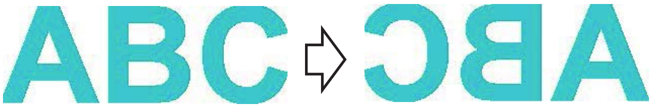
- 「プロッタ / ユーザー設定」画面の [プロッタ機種] で [CF3 シリーズ（M ヘッド）] を選択した場合 （☞ P.7-4）、FineCut はミーリングのエンドミル径を考慮し、プロッタのカット原点より縦横とも 5mm 内側にレイアウトしてカットします。
このため、[シートサイズ] に表示される値は縦横とも 10mm ずつ小さくなります。



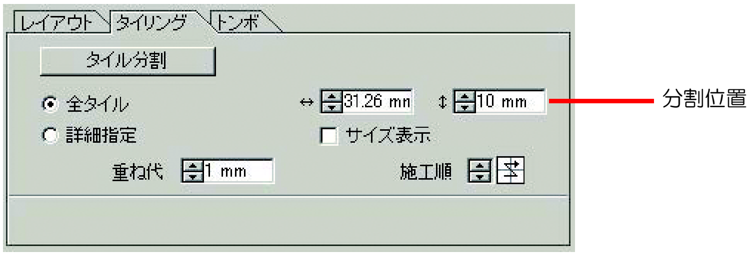
項目	説明	初期値
オフセット	原点の位置を設定します。 レイアウトエリアの右下隅(CG/CJV30/TPC/CJV300/CJV150/CF3 シリーズ)、または左下隅（CF/CF2/DC シリーズ）が原点です。FineCut のデフォルト値は、レイアウトエリアの横 0mm, 縦 0mm の位置です。 CG/CJV30/TPC/CJV300/CJV150/CF3 シリーズ  CF/CF2/DC シリーズ 	0
幅	オブジェクトの横幅と縦幅を設定します。 [横幅] と [縦幅] の間に “ ー ” マークが付いている場合、どちらかの幅を変更しても、横幅と縦幅の比率は変わりません。 横幅と縦幅を別々に変える場合は、下の [レイアウト] 画面にある [縦横変倍] にチェックを付けます。	--
倍率（☞ P.5-2）	オブジェクトの横幅と縦幅の倍率を設定します。横幅と縦幅の間に “ ー ” マークが付いている場合、どちらかの倍率を変更しても、横幅と縦幅の比率は変わりません。 横幅と縦幅の倍率を別々に変える場合は、下の [レイアウト] 画面にある [縦横変倍] にチェックを付けます。	--
コピー（☞ P.5-4）	1 つのオブジェクトを横方向および縦方向にコピーする数を入力します。	1
コピー間隔（☞ P.5-4）	コピーしたオブジェクトの、横方向および縦方向の間隔を設定します。	10mm
枠	カットするオブジェクトの周りに枠を作成し、カットします。また、オブジェクトから枠までの距離が設定できます。枠を作成すると、不要な部分がはぎ取りやすくなります。 • センターマーク、コーナーマーク（☞ P.5-8）を付けると、カットしたシールを貼る際の位置合わせが簡単にできます。	オフ
全体サイズ	オブジェクトの幅と高さを表示します。 [コピー] で複数個のコピーを設定した場合は、コピーする分の長さを含めて表示します。コピー間隔や枠が設定してある場合は、その長さも含みます。	--

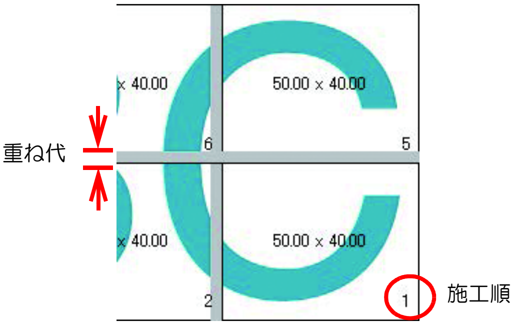
9 レイアウト



ボタン	項目	説明	初期値
	回転	オブジェクトを時計回りに 90° ずつ回転します。矢印の中に角度（0, 90, 180, 270）を表示します。	0°
	移動	矢印の位置をクリックして、オブジェクトを移動します。	--
	フィット	オブジェクトをシートサイズに合わせます。	--
	オリジナルに戻す	ダイレクト選択ツール で変更したレイアウトを元に戻します。	--
	ミラー	オブジェクトを左右に反転してカットします。 	オフ
	縦横変倍（P.5-2）	サイズを変更するときに、オブジェクトの横幅と縦幅の比率を変えます。	オフ
	原点ロック（P.5-10）	オブジェクトの位置を、オブジェクトを作成した位置に固定します。 ロックを外すと、シートの右下または左下にカットされるため、特定の色やレイヤーのオブジェクトのみをカットするときなど、シートが無駄なく使えます。	オフ
	センターマーク（P.5-8）	サイズ入力エリアで [枠] を設定する場合、枠の縦横の中心にマークを付けます。 カットしたシールを、マークを基準に任意の位置に貼れます。	オフ
	コーナーマーク（P.5-8）	サイズ入力エリアで [枠] を設定する場合、枠の四隅にマークを付けます。 カットしたシールを、マークを基準に水平に貼れます。	オフ
	単位	この画面での表示単位を設定します。	mm

10 タイリング（☞ P.5-6）

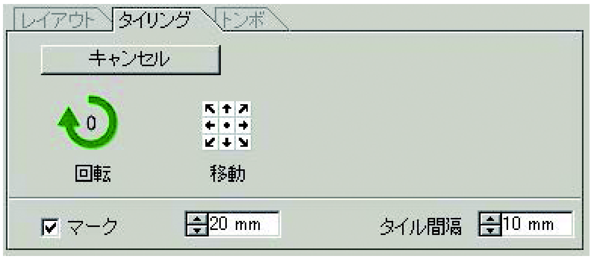


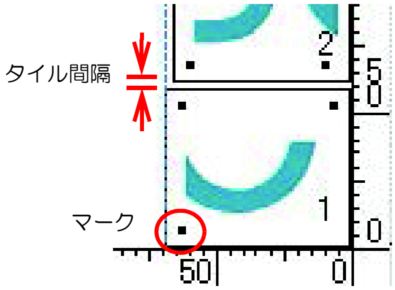


項目	説明	初期値
タイル分割	下記の各項目を設定後、このボタンをクリックして分割を実行します。	--
全タイル	全て同じサイズでオブジェクトを分割します。	--
分割位置	分割する位置を設定します。	--
詳細指定	任意の位置で分割します。 選択ツールで、分割線を移動します。	--
重ね代	分割したオブジェクト同士の重ね代を設定します。	10
サイズ表示	分割した各オブジェクトのサイズを表示します。	オフ
施工順	カットしたオブジェクトを貼り合わせる順番を選択します。	

分割したタイルのレイアウト

[タイル分割] をクリックすると、設定画面が表示されます。

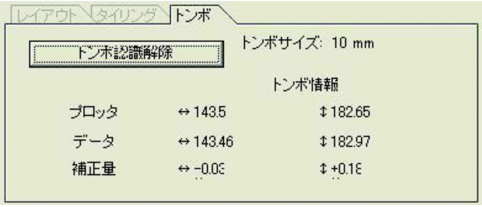




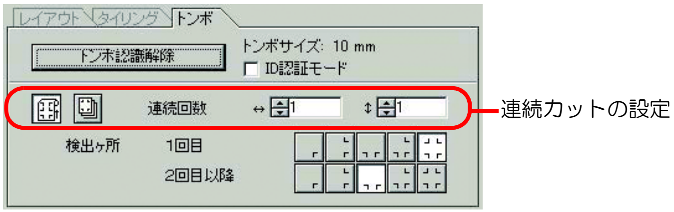
ボタン	項目	説明	初期値
[キャンセル]		分割をキャンセルします。	--
	回転	オブジェクトを時計回りに 90° ずつ回転します。矢印の中に角度（0, 90, 180, 270）を表示します。	0°
	移動	矢印の位置をクリックして、分割したオブジェクトをシート内で移動します。	--
マーク （**CF3**（**M** ヘッド）を除く）		分割した各オブジェクトにマークをつけます。 サイズ欄でマークサイズを選択または入力します。 カット後、マークを合わせると、分割前のオブジェクトの形で貼り合わせることができます。	オン 20mm
タイル間隔		連続してカットする場合、分割した各オブジェクト同士の間隔を設定します。	10mm

11 トンボ

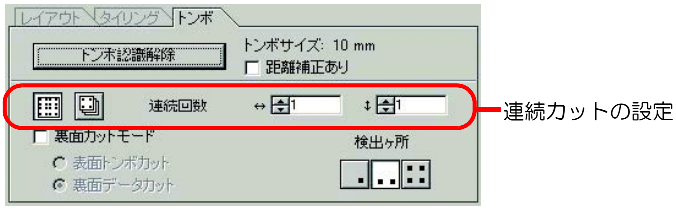
CG-EX シリーズ の場合



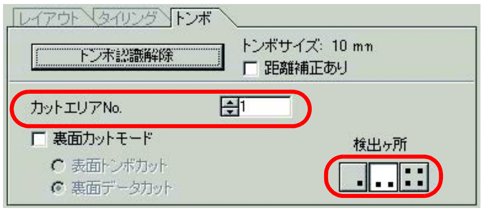
CG-FX / FXII / 75ML / 60SR / SRII / SRIII、CJV30 / TPC / CJV300 / CJV150 シリーズ の場合



CF2/ DC/ CF3 シリーズの場合

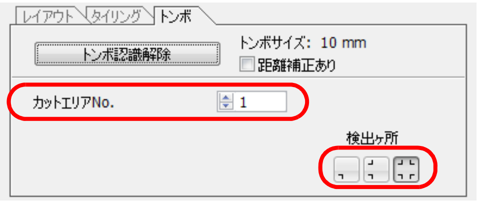


トンボ分割をした場合



CFL-605RT の場合

トンボ分割をした場合



7

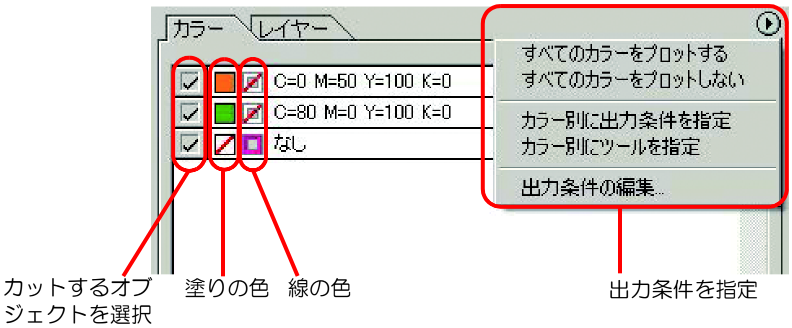
機能説明

項目	説明	初期値
[トンボ認識]/ [トンボ認識解除]	[トンボ認識] を実行すると、そのトンボ読み取り結果に対して傾きとサイズを補正します。 [トンボ認識解除] をクリックすると、トンボ認識を中止します。	--
連続カットの設定	ロールモード（マルチモード）またはハザイモード（シングルモード）を選択し、連続カットの回数を設定します。	ロールモード (マルチモード)
検出ヶ所	トンボの検出ヶ所を選択します。CG/CJV30/CJV300/CJV150 シリーズ、TPC の場合、上の段でデータの 1 回目の検出ヶ所を、下の段でデータの 2 回目以降の検出ヶ所を選択します。	1 回目 2 回目
ID 認証モード	CG-75ML をお使いの場合に、ID 認証モードでカットするときにチェックを付けます。	オフ
距離補正あり	メディアの種類や印刷環境などの影響で、実際のデータとプリント済みメディアのサイズが違うときにチェックを付けます。 プリント済みメディアに合わせてフレームをカットできます。 • 紙器など、形状が決まっているものをカットする場合は、チェックを付けないでください。 サイズが合わなくなることがあります。	オン
裏面カットモード （CF2/DC/CF3 シリーズ CFL-605RT）	プリント面からではなく、裏面からカットします。 （CF2/DC/CF3: ☞ P.3-35,CFL-605RT: ☞ P.3-44）	オフ
トンボ分割をした場合	カットエリア No. を選び、トンボの検出ヶ所を選んでカットします。（☞ P.3-32）	--

12 カラー / レイヤー

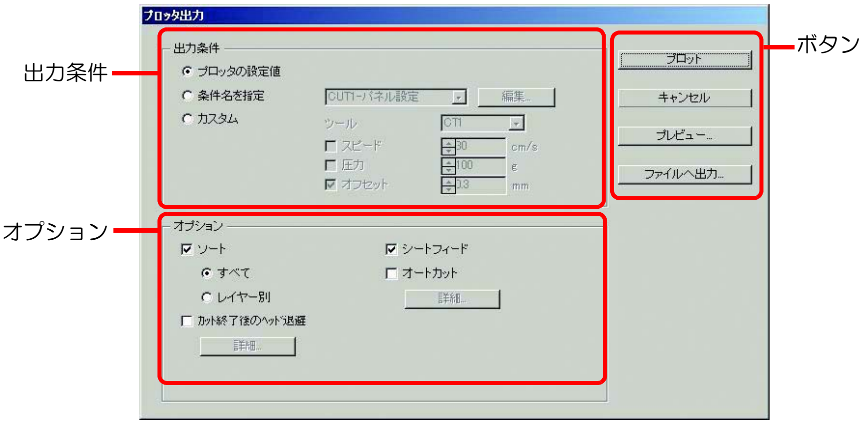
[カラー] または [レイヤー] タブをクリックして、カラー別またはレイヤー別の情報を表示します。タイリングを実行すると、タイルリストを表示します。

- 左端のチェックボックスにチェックを付けたオブジェクトのみカットします。
- リストの 1 番下に表示されているオブジェクトから順にカットします。
  リストの各行をドラッグして移動すると、 カット順を変えることができます。
- カラーリストでは、 塗りの色、 線の色をクリックして各情報を表示します。
- 右上の ▶ ボタンをクリックすると、 出力条件を指定できます。



「プロッタ出力」画面

出力の設定をします。
「プロット」画面で （プロットボタン）をクリックして起動します。

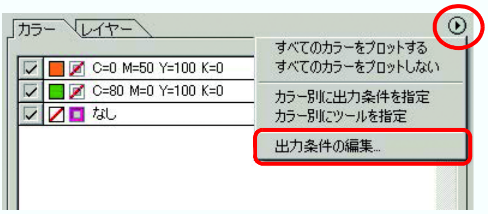


出力条件

出力条件を選択します。

重 要！

- カラー / レイヤー別に出力条件またはツールを指定した場合、この画面からは編集できません。「プロット」画面のカラー / レイヤータブの右にある ボタンをクリックして、[出力条件の編集] を選択します。

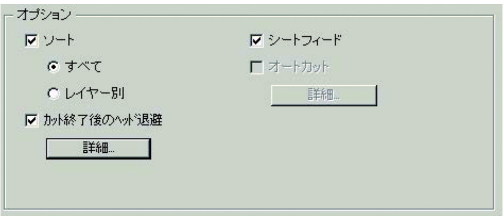


項目	説明
プロッタの設定値 (CF3 シリーズ (M ヘッド) を除く) (初期値)	プロッタで設定した値で出力します。
条件名を指定	FineCut で設定した出力条件を選択します。 [編集] をクリックすると、メディアの追加や、メディア別にカット条件を設定できます。（☞ P.7-5)
カスタム (CF3 シリーズ (M ヘッド) を除く)	この画面で出力条件を設定します。（☞ P.7-5）

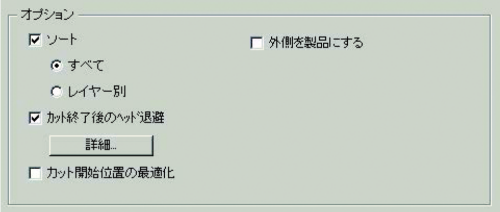
オプション

オプション設定をします。選択した機種（☞ P.7-4「「プロッタ / ユーザー設定」画面」）により、表示内容が異なります。

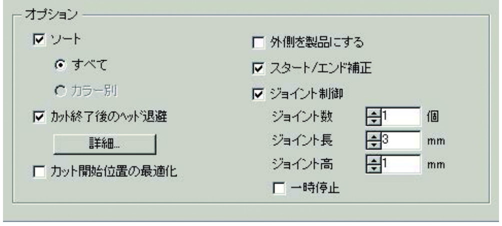
CG/CJV30/TPC/CJV300/CJV150 シリーズ選択時



CF/ CF2/ DC/ CF3 シリーズ /CFL-605RT 選択時



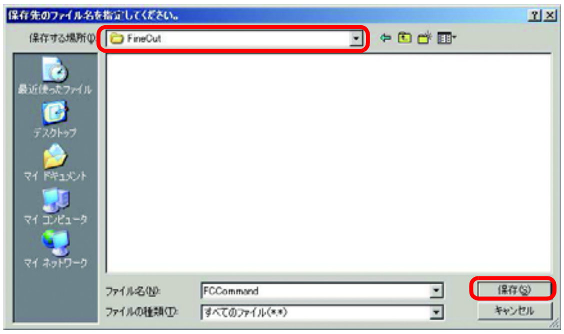
CF3 シリーズ（M ヘッド）選択時



項目		説明	初期値
ソート		自動でオブジェクトのカット順を最適化します。 チェックを外した場合は、リストの一番下に表示されているカラー / レイヤー / タイルから順にカットします。 • CG/CJV30/TPC/CJV300/CJV150 シリーズ ヘッドの移動を最小限にしてソートするため、効率良くカットできます。 • CF/CF2/DC/CF3 シリーズ ヘッドの移動を最小限にし、かつ内側にあるオブジェクトを優先的にカットするようソートします。	オン
	すべて	すべてのオブジェクトを対象にカット順を最適化します。	オン
	カラー / レイヤー / タイル別	カラー / レイヤー / タイルごとにカット順を最適化します。	--

項目	説明	初期値
カット終了後のヘッド退避	オブジェクトのカット後、ヘッドを指定位置に移動します。（☞ P.5-22「カット終了後のヘッド位置を設定する」） • この機能は、[オートカット] にチェックが付いているときは使用できません。	オン
シートフィード **(CG シリーズで MGL-IIc 選択時のみ)**	オブジェクトのカット前にシートをフィードして、データを最後までカットできるか確認します。 • 失敗した時はプロッタにエラーを表示します。プロットを中止し、シートをセットし直して再度プロットしてください。	オン
オートカット **(CG-FX/FXII/75ML, CJV30/TPC/CJV300/CJV150 シリーズ 選択時のみ)**	ロールシートで連続カットを行う場合、カット終了後、自動的にシートを切り離します。（☞P.3-19）	オフ
カット開始位置の最適化	カット開始位置の仕上がりがきれいになるよう、位置を最適化します。チェックを付けない場合は、データ作成時の開始位置、またはカット位置指定ツールで設定した開始位置（☞ P.6-4）でカットします。	オン
外側を製品にする	オブジェクトの中をくり抜いて外側を製品にします。チェックを付けると、オフセットする方向を最適化します。	オフ
スタート / エンド補正	オブジェクトの 2mm 外側からカットします（外側を製品にしない場合などは、これによりカット開始 / 終了位置の切り口がきれいになります）。 • CF3 シリーズ（M ヘッド）をお使いの場合、設定後、必ずプレビューでカット開始位置を確認してください。 • カットラインが隣のオブジェクトにかかってしまう場合は、Illustrator でオブジェクトの間隔をあけるなどして調整してください。	オン
ジョイント制御	カットラインの一部を切り残しておき、最後にカットします。ワークがずれるのを防ぎ、カット面がきれいに仕上がります。	オン
ジョイント数	切り残す数を設定します。	1
ジョイント長	切り残す長さを設定します	3
ジョイント高	切り残す厚さを設定します	1
一時停止	ヘッドを一旦退避してメディアをテープで固定する時に選択します。（☞ P.6-6）	オフ

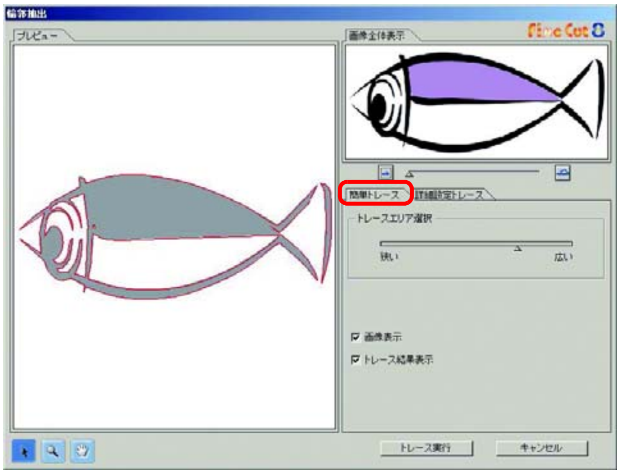
ボタン

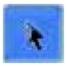
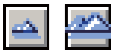
項目	説明
[プロット]	設定した条件でプロットを開始します。
[キャンセル]	プロットをキャンセルします。
[プレビュー]	設定した条件でのプロットをプレビューします。 出力条件を調整しながら、プレビューでプロットを確認してください。 （☞ P.5-24） • プロットを開始する前に、必ずプレビューでカットラインを確認してください。
[ファイルへ出力 ...]	プロットデータをファイルに保存します。 保存先を選択して、[保存] をクリックします。 

「輪郭抽出」画面

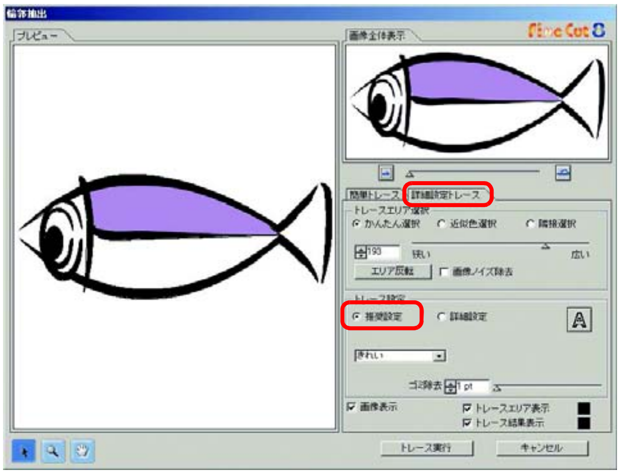
ビットマップ、JPEG、TIFF など Illustrator で読み込める、パスのない画像データをカットするためのアウトラインを作成します。
「FineCut メニュー」の （[輪郭抽出] ボタン）をクリックして起動します。

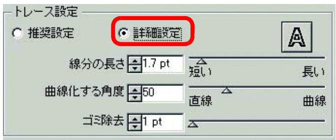
簡単トレース

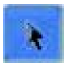
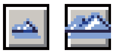


項目	説明
プレビュー	画像（モノクロ）とトレース結果を表示します。
	表示しているオブジェクト全体を移動します。
	プレビュー表示を拡大、縮小します。 プレビュー上でクリックすると、拡大して表示します。 [Alt] キー（Windows 版）, [Option] キー（Macintosh 版）を押しながらクリックすると、縮小して表示します。
	オブジェクトを表示する領域を変更します。
	プレビュー表示を縮小 / 拡大します。
トレースエリア選択	スライダーをドラッグして、トレースしたい部分を選択します。 [狭い] の方へ動かすと、より狭い範囲をトレースします。 [広い] の方へ動かすと、より広い範囲をトレースします。
画像表示	元の画像をプレビューに表示するかを設定します。 チェックを付けると、トレースエリア選択で設定したトレースエリアをグレーで表示します。 抽出する線分の確認や、トレース結果と元画像の比較ができます。
トレース結果表示	トレース結果をプレビューに表示するかを設定します。

詳細設定トレース



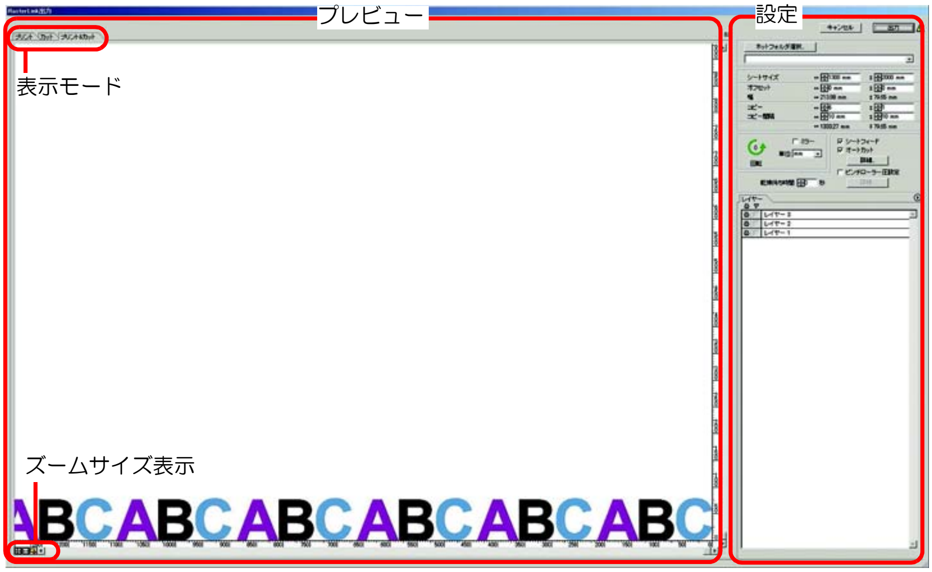


項目	説明	初期値
プレビュー	画像とトレース結果を表示します。	--
	表示しているオブジェクト全体を移動します。	--
	プレビュー表示を拡大、縮小します。 プレビュー上でクリックすると、拡大して表示します。 [Alt] キー（Windows 版）, [Option] キー（Macintosh 版）を押しながらクリックすると、縮小して表示します。	--
	オブジェクトを表示する領域を変更します。	--
	プレビュー表示を縮小 / 拡大します。	--
トレースエリア選択		
かんたん選択	画像の明るさを基にトレースエリアを選択します。（選択範囲 :2-255）	オン
近似色選択	プレビュー上で色をクリックして選択すると、選択した色と、その近似色を画面全体から選択します。	--
隣接選択	プレビュー上で色をクリックして選択すると、指定した位置とつながっている、同色の領域を選択します。	--
数値入力欄 / スライダー	選択したトレースエリアの範囲を設定します。 • [近似色選択]、[隣接選択] の場合、スライダーの数値を小さくするとより精度の高い抽出ができます。	--
[エリア反転]	選択エリアを反転させます。	--
画像ノイズ除去	輪郭の凹凸を減らし、なめらかに線分をつなげます。	オフ

項目	説明	初期値
トレース設定　（推奨設定の場合）		
きれい	輪郭の細部まで作成されます。	オン
速い	抽出の処理時間は速くなりますが、輪郭の細部は粗くなります。	--
トレース設定　（詳細設定の場合）		
線分の長さ	線分一本の長さを指定します。線分の長さが短くなるほど細部まで表現されます。	1.7pt
曲線化する角度	線分のつなぎ目形状を角にするか、曲線にする場合の角度を指定します。角度が小さいほど角の部分が多くなり、大きいほど曲線の部分が多くなります。	50
トレース設定　（推奨設定 / 詳細設定共通）		
	アウトラインのみ輪郭抽出を行います。	オフ
ゴミ除去	指定した長さより小さい線分を削除します。スキャナで読み込みをした場合等に現れる、カットが不要な線分を除去します。	1pt
画像表示	元の画像をプレビューに表示するかを設定します。 チェックを付けると、トレースエリア選択で設定したトレースエリアをグレーで表示します。 抽出する線分の確認や、トレース結果と元画像の比較ができます。	オン
トレースエリア表示	トレースエリアの選択されている領域を表示します。 右の四角をクリックすると、トレースエリアの表示色を変更できます。	オン
トレース結果表示	トレース結果をプレビューに表示するかを設定します。 右の四角をクリックすると、トレース結果の表示色を変更できます。	オン

「RasterLink 出力」画面

CJV30/CJV300/CJV150 シリーズおよび TPC をお使いの場合に、RasterLink へプリントデータとカットデータを出力するための設定をします。
「FineCut メニュー」の （[RasterLink へ出力] ボタン）をクリックして起動します。



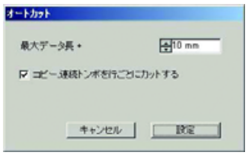
プレビュー

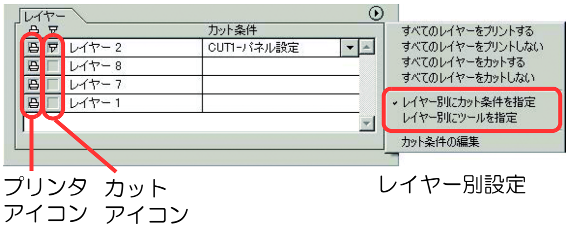
オブジェクトのイメージを表示します。

項目		説明
表示モード		
プリント		プリントイメージを表示します。
カット		カットイメージを黒のラインで表示します。
プリント & カット		プリントイメージの上にカットイメージを黒のラインで表示します。
ズームサイズ表示		
	シート全体表示	シート全体を表示します。
	シート幅表示	シート幅いっぱいに画面表示します。
	オブジェクト全体表示	オブジェクト全体を画面全体に表示します。

- 「プロッタ / ユーザー設定」画面から、この画面を表示したときの初期表示タイプを設定できます。（☞ P.7-14）

設定

<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>[キャンセル]</td><td>設定をキャンセルします。</td><td>--</td></tr>
<tr><td>[出力]</td><td>EPS 形式の設定を行い、データを RasterLink へ出力します。</td><td>--</td></tr>
<tr><td>マーク</td><td>オブジェクトサイズやコピー設定により、シートからデータがはみ出す等の場合に表示されます。</td><td>--</td></tr>
<tr><td>[ホットフォルダ選択 ...]</td><td>RasterLink のホットフォルダを選択します。
リストから、以前選択したホットフォルダ名を選択することもできます。
ホットフォルダ未作成の場合は、RasterLink から作成してください。
• ホットフォルダの選択画面にある [新しいフォルダの作成] ボタンからフォルダを作成しても、ホットフォルダとして機能しません。ホットフォルダは必ず RasterLink で作成してください。</td><td>--</td></tr>
<tr><td>シートサイズ</td><td>プロッタにセットしたシートの有効サイズ（幅と長さ）を入力します。有効サイズは RasterLink で確認できます。</td><td>--</td></tr>
<tr><td>オフセット</td><td>シート右下の原点位置からのオフセット値（横 / 縦方向）を設定します。</td><td>0</td></tr>
<tr><td>幅</td><td>オブジェクトの横幅と縦幅を表示します。</td><td>--</td></tr>
<tr><td>コピー</td><td>1 つのオブジェクトの横方向および縦方向にコピーする個数を入力します。</td><td>1</td></tr>
<tr><td>コピー間隔</td><td>コピーしたオブジェクトの、横方向および縦方向の間隔を入力します。</td><td>10</td></tr>
<tr><td>回転</td><td>オブジェクトを反時計回りに 90° ずつ回転します。矢印の中に角度（0, 90, 180, 270）を表示します。</td><td>0°</td></tr>
<tr><td>ミラー</td><td>オブジェクトを左右に反転してカットします。</td><td>オフ</td></tr>
<tr><td>単位</td><td>この画面での表示単位を設定します。</td><td>mm</td></tr>
<tr><td>シートフィード</td><td>カット前にシートをフィードして、データを最後までカットできるか確認します。</td><td>オン</td></tr>
<tr><td>オートカット</td><td>ロールシートで連続カットを行う場合、カット終了後、自動的にシートを切り離します。この項目にチェックを付けると [詳細] ボタンが有効になります。
詳細画面では、最大データ長からどのくらい余白を持たせて切り離すか（最後の行からカットする位置までの長さ）、およびデータを行毎にカットするかどうかを設定できます。（P.3-19）
CJV300/150 は行ごとカットには対応していません。
</td><td>オン</td></tr>
<tr><td>ピンチローラー圧設定</td><td>ピンチローラー圧を設定します。この項目にチェックを付けると [詳細] ボタンが有効になります。
詳細画面では、プリント時とカット時（両端・中間位置） のピンチローラー圧を設定できます。
 </td><td>オフ</td></tr>
<tr><td>乾燥待ち時間</td><td>印刷後のメディアの乾燥時間を設定します。</td><td>0</td></tr>
</table>

項目	説明	初期値
レイヤー	プリントおよびカットするレイヤーを選択・設定します。  • プリンタアイコン クリックして、プリントするレイヤーにマークを付けます。 • カットアイコン クリックして、カットするレイヤーにマークを付けます。 • レイヤー別設定 ボタンをクリックし、[レイヤー別にカット条件を指定] または [レイヤー別にツールを設定] を選択します。その後、レイヤー名の右の表示から、カット条件およびツールを選択します。	--

- 上記のレイヤー画面でプリントとカット両方にマークを付けた場合は、プリントを実行してからカットを実行します。この場合、プリントするレイヤーの中に FineCut のトンボ作成機能で作成したトンボデータが含まれていると、プリント後にそのトンボ位置を読み込み、より正確な位置をカットできます。
- レイヤー画面でカットのマークのみ付けた場合は、カットするレイヤーの中にトンボデータを含めると、トンボを読み込んでカットできます。
- [レイヤー別にカット条件を指定] または [レイヤー別にツールを指定] を設定しない場合は、プロッタ側の設定でカットします。
- データは、周りに 0.5mm 余白を空けてレイアウトされます。

重 要 !

- トンボを検出してカットする場合は、CJV30 /CJV300/CJV150 シリーズまたは TPC の「トンボケンシュツ」で、トンボ検出点数を「1 テン」に設定してください。
- FineCut のトンボ作成機能でトンボデータを作成する際は、[矩形をカット線として残す] のチェックを外してください。チェックを付けると、矩形の一部が欠けてカットされます。(P.3-7)
（RasterLinkPro の「カット条件」画面にある [外枠カット] の使用をお勧めします）
- タイプ 2 のトンボ形状（ ）をプリントする場合は、少なくともトンボサイズ分のコピー間隔を空けてください。(P.3-7)
- Illustrator 上のトンボデータは、1 セットのみ作成してください。複数作成すると、エラーとなります。
- レイヤー別設定でレイヤー毎に異なる設定をした場合、RasterLinkPro4 Ver.1.1 までは、レイヤー画面で設定されているレイヤーリストの一番上の条件でカットされます。RasterLinkPro41.2 以降では、レイヤー毎に設定した条件でカットできます。

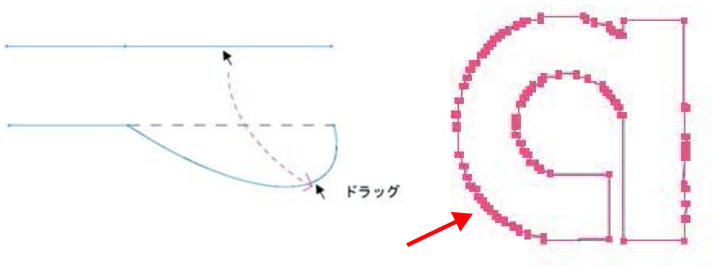
「FineCut について」画面

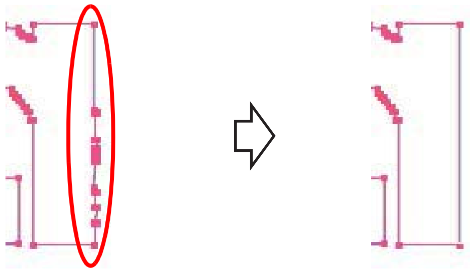
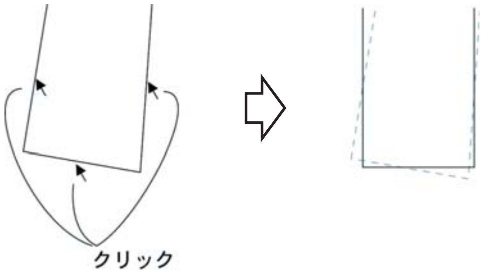
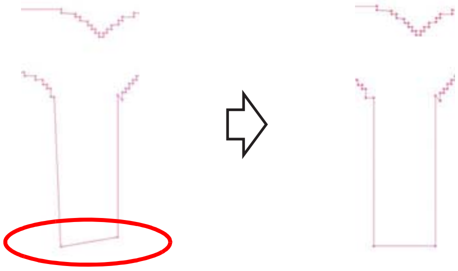
FineCut の取扱説明書、最新情報（オンライン・インフォメーション）、FAQ を表示します。
「FineCut メニュー」の （[FineCut について] ボタン）をクリックして起動します。

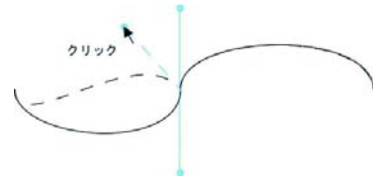
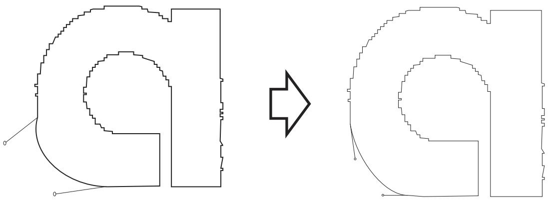
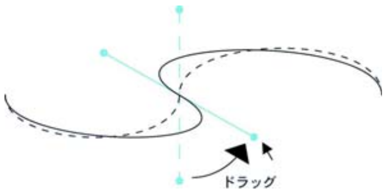
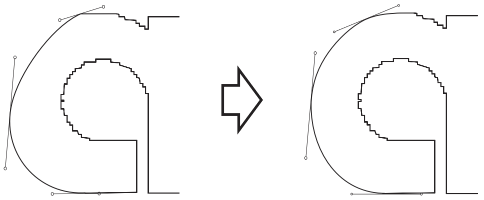
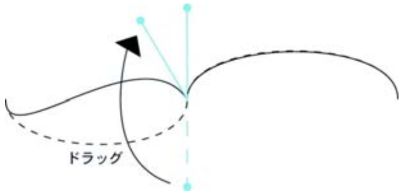
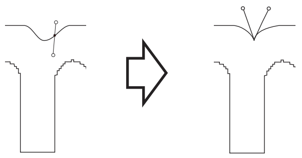
項目	説明
取扱説明書	FineCut の取扱説明書（本書）を表示します。
オンライン・インフォメーション	FineCut の最新情報やアップデート情報を表示します。 インターネットにアクセスできる環境が必要です。
FAQ	FineCut の FAQ ページを表示します。 インターネットにアクセスできる環境が必要です。
ファームウェアアップデート	サービスエンジニア専用のメニューです。

線分修正画面

始点と終点を指定し、その間に存在する複数の線分をまとめて修正します。線分を一本づつ修正することもできます。
「Illustrator ツールパレット」の （[線分修正ツール] ボタン）をクリックして起動します。

項目	説明
始終点情報	画像の始点・終点を指定します。 • 始点 カーソルをアンカーポイントに近付けると、カーソルに「S」が表示されます。アンカーポイントをクリックし、始点を指定します。 • 終点 始点が選択済みの場合は、カーソルをアンカーポイントに近付けると、「E」が表示されます。アンカーポイントをクリックし、終点を指定します。
曲線化	始点と終点の間にある線分を曲線化します。始点と終点を選び、線分をドラッグします。 

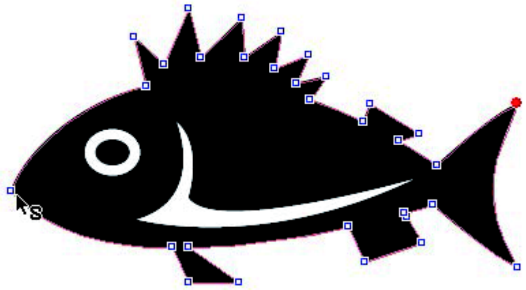
項目	説明
直線化	始点と終点の間にある線分を直線化します。始点と終点を選び、線分の上をクリックします。 
水平垂直線化	線分の上をクリックすると、線分が水平または垂直になります。クリックした線分の角度により、水平か垂直かを判断します。  
アンカーの追加削除	アンカーポイントを追加する場合は、線分上の追加する位置をクリックします。アンカーポイントを削除する場合は、アンカーポイントをクリックします。
ポイント・線分の移動	始点と終点の間にある線分の形状を保ったまま、線分を移動します。

項目	説明
スムーズ化	コントロールポイントの傾きを同じにし、線分の接続をスムーズにします。  
方向線移動 A	コントロールポイントを移動して、曲線の形状を変更します。その際接続がスムーズになるように、反対側のコントールポイントも移動します。  
方向線移動 B	選択したコントロールポイントのみ移動して、曲線の形状を変更します。  

カット開始位置指定

オブジェクトのカット開始位置を指定できます。
「Illustrator ツールパレット」の （[カット開始位置指定] ボタン）をクリックして起動します。

- CF/CF2/DC/CF3 シリーズをお使いの場合、「プロッタ出力」画面では、[カット開始位置の最適化] のチェックを外してください。チェックが付いていると、ここで設定したカット開始位置が無効になります。



項目	説明
現在のカット開始位置	赤色の点が表示されています。
カット開始位置指定	任意のアンカーポイントをクリックします。 指定した位置のアンカーポイントが赤色になります。

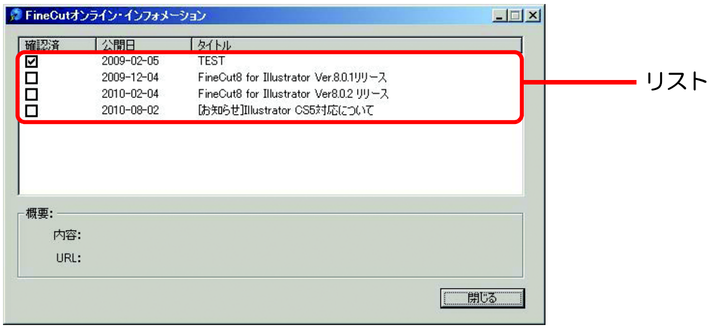
オンライン・インフォメーション

FineCut の最新情報やアップデート情報をお知らせします。

重要！

- インターネットに接続していないときは、表示されません。
- Macintosh をお使いの場合、Mac OS X 10.4 未満では表示されません。

- Illustrator を起動するたびにこの画面を表示したくない場合は、「プロッタ / ユーザー設定」画面から設定してください。（☞ P.7-16）
- FineCut メニューの [i] から [オンライン・インフォメーション] をクリックしても、この画面を表示できます。



項目	説明
リスト	FineCut 情報のリストが表示されます。 クリックすると、下の概要に情報が表示されます。 ダブルクリックすると、Web ブラウザで詳しい情報が表示されます。
確認済	情報を確認済みの場合はチェックを付けます。 チェックを付けた項目は、次回の Illustrator 起動時には表示されません。 （ただし、FineCut メニューから [オンライン・インフォメーション] を起動した場合は、確認済みの項目も表示されます）
公開日	情報が公開された日付です。
タイトル	情報のタイトルです。
概要	内容 : 上で選択した情報の説明が表示されます。 URL : クリックすると、Web ブラウザで詳しい情報が表示されます。

FineCut のアンインストール

FineCut をアンインストールする場合は以下の内容に従ってください。
ここでは、Windows XP の画面で説明します。

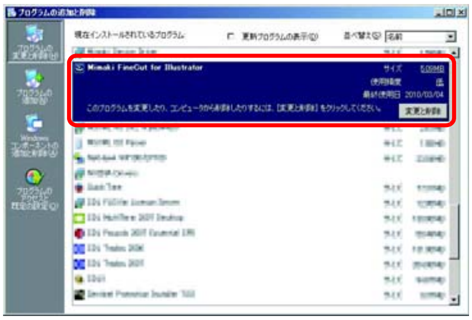
Windows

1 **Windowsの[スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムの追加と削除] （Windows 2000 の場合は [アプリケーションの追加と削除]） を選択します。**

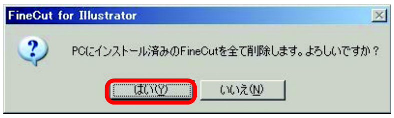
Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 の場合は、[コントロールパネル] - [プログラム] - [プログラムのアンインストール] を選択します。

2 **[Mimaki FineCut for Illustrator] をクリックして、[変更と削除] ボタンをクリックします。**

Windows Vista / Windows 7/ Windows 8 / Windows 8.1 の場合は、[アンインストールと変更] ボタンをクリックします。

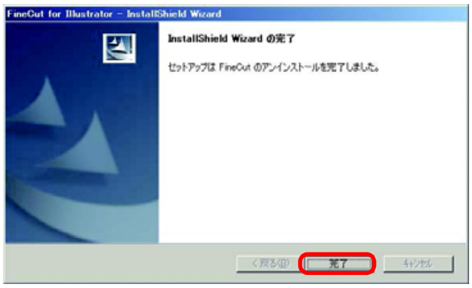


3 **右のメッセージが表示されたら、 [はい] をクリックします。**



4 **[完了] をクリックします。**

以上でアンインストールは終了です。



Macintosh

インストール先の Illustrator にある [プラグイン] フォルダから、[Mimaki FineCut] フォルダを削除してください。

第8章
困ったときは

この章では ...

トラブルが起きたときの解消方法などを説明します。

こんなときは ... 8-2
メモリ不足になる 8-2
回り込みテキストを実行すると、不正な結果になる 8-2
「ふち取り作成」で、オブジェクトに不正なパスが作成される 8-2
影やふち取りが削除できない 8-2
CF3 シリーズ (M ヘッド) で、Illustrator の「効果」を適用したパスの内側のパスがカットされない 8-2
RasterLink への出力時にエラーが発生する 8-3
エラーメッセージ 8-4

メモリ不足になる

FineCut の「線幅・重なりを認識」/「フレーム抽出」/「トラッピング」/「輪郭抽出」で複雑なオブジェクトを使用すると、大量のメモリを消費します。マシンのスペックによっては、目的のオブジェクトがメモリ不足で処理できないことがあります。
オブジェクトの種類によっては、オブジェクト全てを一度に選択して実行せず、いくつかに分割して、分割したオブジェクトごとに実行すると、メモリ不足のエラーを回避できることがあります。
「輪郭抽出」の場合、解像度を低くするとメモリ不足エラーを回避できることがあります。

例 1

複雑なオブジェクトで「線幅・重なり認識」をする場合、タイトルとオブジェクトで分かれているようなオブジェクトは、全てを選択せず、別々に選択して実行します。重なっている部分があれば、重なっている部分のみ選択して実行します。

例 2

複雑なオブジェクトで「フレーム抽出」をする場合、外枠があるようなオブジェクトは、外枠のパスだけを選択してフレーム抽出を実行すると、無駄なメモリを消費することなく、スピーディに処理できます。

回り込みテキストを実行すると、不正な結果になる

Illustrator CS/CS2/CS3/CS4 の [オブジェクト]-[テキストの回り込み]-[回り込みの作成] メニューで作成した回り込みテキストに、FineCut の「フレーム抽出」/「カス取り線作成」/「影 / ふち取り作成」を行うと、正しい結果が得られません。
回り込みテキストを [文字]-[アウトライン作成] メニューでアウトライン化してから実行すると、正しい結果が得られます。

「ふち取り作成」で、オブジェクトに不正なパスが作成される

パスの形状によっては、作成したふち取りの中に不正なパスが作成されることがあります。
ふち取り作成のオフセット値を小さくするか、角の形状を変更してください。

影やふち取りが削除できない

FineCut の「影 / ふち取り作成」で作成した影やふち取りのパスを編集すると、「影 / ふち取り削除」を実行しても削除できない場合があります。
影、またはふち取りのパスをグループ解除し、手動で削除してください。

CF3 シリーズ (M ヘッド) で、Illustrator の「効果」を適用したパスの内側のパスがカットされない

Illustrator の「効果」を適用したパスを CF3 シリーズ（M ヘッド）でカットすると、その内側にあるパスがカットされないことがあります。
「効果」の代わりに「フィルタ」を適用すると正常にカットされます。

RasterLink への出力時にエラーが発生する

EPS のプレビュー形式で [なし] を選択すると、正常に出力できる場合があります。
（以下は Macintosh の画面です）

8

困ったときは

エラーメッセージ

以下のメッセージが表示されたら、メッセージの内容に従って対処してください。

メッセージ	対処方法
プロッタから応答がありません。プロッタが「リモート状態」であるか、通信条件は合っているかを確認してください。	プロッタの状態が「リモート」になっているか、シリアル接続の場合、FineCut とプロッタの通信条件が合っているかを確認してください。
プロッタにデータが送信できません。ケーブルが正しく接続されているか確認してください。	ケーブルが正しく接続されているか、断線していないかを確認してください。シリアルケーブルの場合は、クロスケーブルを接続してください。
通信ポートが見つかりません。「プロッタ／ユーザー設定 ...」の「通信条件」が正しく設定されているか確認してください。	「プロッタ／ユーザー設定」の「通信条件」タブの設定、およびプロッタ側の状態を確認してください。
通信ポートは既に他のアプリケーションまたはドライバーによって使用されています。通信ポートを使用しているアプリケーションまたはドライバーを終了してください。	MacOS 9.2.2 をご使用の場合、プロッタを接続したポートが、既に AppleTalk で使用されている可能性があります。セレクタで AppleTalk を「不使用」に設定するか、AppleTalk コントロールパネルで、プロッタを接続していないポートを選択してください。プリンタポートにプロッタを接続している場合は、「モデムポート」または「Ethernet」等を選択してください。
USB 接続中にエラーが発生しました。	通信中に接続が解除された可能性があります。接続状態を確認し、再度実行してください。
有効なシリアルポートが見つかりません。USB シリアル変換アダプタを使用する場合は、アダプタに付属のドライバをインストールする必要があります。	USB シリアル変換アダプタをご使用の場合は、変換アダプタに付属のマニュアルに従い、ドライバのインストール作業を行ってください。
このポートはプリンタドライバによって使用されている可能性があります。プリンタドライバの「プロパティ」から「ポート」タブの内容を確認してください。	Windows 環境の場合、プリンタドライバの「ポート」タブに FineCut で使用するポートが割り当てられていると、FineCut から使用することができません。プリンタドライバのポートを変更してください。
出力機器のメディア検出が完了していません。メディア検出を行った後、再度実行してください。	CJV30/CJV300/CJV150 シリーズまたは TPC でメディア検出が実施されていない場合に発生します。メディア検出を実施後、再度実行してください。
トンボが見つかりません。FineCut のトンボ作成メニューで、トンボを作成してください。	FineCut の「トンボ作成」機能でトンボを作成してから実行してください。
トンボデータが正しくありません。もう一度、FineCut のトンボ作成メニューで、トンボを作成し直してください。	再度 FineCut の「トンボ作成」機能でトンボを作成してから実行してください。
プロットするデータがありません。	データを確認してください。
メモリが不十分なため、処理を実行できません。Illustrator のメモリ使用サイズを増やしてください。	OS を再起動し再度実行してください。それでも解決しない場合は、下記を実行してください。 • データの容量を小さくしてください。 • PC のメモリ容量を増やしてください。 • Mac OS 9.2.2 の場合、Illustrator のメモリ使用サイズを増やすことにより、回避できる可能性があります。

メッセージ	対処方法
タイル分割できないデータ（始終点が一致しないオブジェクト）が見つかりました。処理を中断します。	始終点が一致しないオブジェクトがあるとタイル分割を実行できません。データを確認してください。
インターネットの接続に失敗しました。設定を確認してください。	PC 上のインターネットの接続環境、および設定を確認してください。
一部のフォントのアウトラインファイルが見つかりません。	ビットマップフォントが含まれている可能性があります。TrueType フォントに変更してください。
設定されているプロッタ機種ではこの機能をご利用できません。「プロッタ／ユーザー設定」メニューで「プロッタ機種」をご確認ください。	プロッタ機種が「CJV30」「CJV300」「CJV150」または「TPC」でなければ、この機能は使用できません。
出力先のフォルダに書き込みできません。「ホットフォルダ選択」ボタンで出力先のフォルダを確認してください。	RasterLinkPro のホットフォルダが正しく選択されているか確認してください。
予期せぬエラーが発生しました。	弊社テクニカルコールセンターへお問い合わせください。
エラーが発生しました。 Error No. xxxx	

索引

記号

% 表示 7-18

C

CF/CF2/DC/CF3 7-7
CF3 シリーズ (M ヘッド) 7-8
CFL-605RT 7-10
CG/CJV30/TPC/CJV300/CJV150 7-6

E

EPS 形式 4-16

F

FAQ 7-37
FC トレースレイヤー ....4-12，4-13
FC フレームレイヤー 3-5
FineCut メニュー 7-2
FineCut について ....7-3，7-37

I

ID 認証モード ....3-25，7-26
Illustrator 起動時に FineCut の情報を確認する 7-16

M

Macintosh ....1-6，1-8

R

RasterLink 4-14
RasterLink 出力 7-34
RasterLink へ出力 ....4-14，7-3

W

Windows 1-3

Z

Z 速度 7-9

あ

アップカット 7-8
圧力 ....7-6，7-7，7-10
アンインストール 7-43
アンカーの追加削除 7-39

い

位置合わせ 5-8
一時停止 ....6-8，7-29
移動 ....5-25，7-22
インポート 7-5

う

裏面カット ....3-35，3-44
裏面カットモード ....3-30，3-39，7-26

え

エクスポート 7-5
エリア反転 7-32
遠近効果 4-8
円シータ補正 ....7-7，7-10
エンド位置 5-25
エンドミル径 7-9

お

オートカット ....3-19，7-29，7-35
オープンパス 7-15
オブジェクト全体表示 ....7-18，7-34
オプション 7-28
オフセット 3-5，7-6，7-7，7-10，7-12，7-21，7-35
オリジナルに戻す ....5-20，7-22
オリジナルを表示 5-25
オンライン・
インフォメーション ....1-12，7-37，7-42

か

回数 ....7-6，7-7，7-8，7-10
回転 ....7-22，7-35
回転数 7-9
影 / ふち取り削除 ....4-9，7-3
影 / ふち取り作成 ....4-8，7-3
重ね代 7-23
カスタム 7-27
カス取り線削除 ....4-7，7-3
カス取り線作成 ....4-6，7-3
画像ノイズ除去 7-32
画像表示 ....7-31，7-33
カット 7-34
カットエリア No. 7-26
カット開始位置指定 ....6-4，7-41
カット開始位置の最適化 ....6-5，6-7，7-29
カット終了後のヘッド退避 ....5-22，7-29
カット順 5-25
カット方向 ....5-25，7-8
カットライン ....3-4，7-17
角の形状 3-5
角の比率 3-5

カラー 7-26
カラー / レイヤー別出力条件設定の警告 7-15
カラー別に出力条件を指定 5-16
カラー別にツールを指定 5-15
カラーライブラリ 6-11
カラーリスト 5-10
間隔 4-7
乾燥待ち時間 7-35
かんたん選択 7-32
簡単トレース 7-31

き

曲線化 ....6-3 , 7-38
曲線化する角度 7-33
距離補正あり ....3-30 , 3-39 , 7-26
近似色選択 7-32
近似タイプ 7-4

く

矩形をカット線として残す ....3-7 , 3-12

け

警告表示 7-15
検出ヶ所 ....3-18 , 3-30 , 3-39 , 7-26
原点ロック ....5-11 , 7-22

こ

コーナーマーク ....5-9 , 7-22
コピー ....5-4 , 7-5 , 7-21 , 7-35
コピー間隔 ....5-4 , 7-21 , 7-35
コマンド 7-4
ゴミ除去 7-33

さ

最小線分角度 ....4-23 , 7-7 , 7-11
最小線分長 ....4-23 , 7-7 , 7-11
サイズ表示 7-23

し

シートサイズ ....7-20 , 7-35
シート全体表示 ....7-18 , 7-34
シート幅表示 ....7-18 , 7-34
シートフィード ....7-29 , 7-35
シート読み込み 7-19
始終点情報 7-38
終了 7-19
出力順を指定 5-14
出力条件 ....7-5 , 7-27
出力条件設定 ....4-20 , 7-4 , 7-5
ジョイント高 ....6-8 , 7-29
ジョイント数 ....6-8 , 7-29
ジョイント制御 ....6-8 , 7-29
ジョイント長 ....6-8 , 7-29
条件名を指定 7-27
詳細指定 7-23
詳細設定トレース 7-32
初期値に戻す 7-19
初期表示タイプ 7-14
シリアル番号 1-14
シングルモード ....3-30 , 3-39

す

ズームアウト 7-18
ズームイン 7-18
ズームサイズ 7-18
ズームツール 7-18
推奨トンボサイズ ....3-7 , 3-10 , 3-12
水平垂直線化 7-39
スウォッチライブラリ 6-11
スタート / エンド補正 ....6-7 , 7-29
スタート位置 5-25
ステップサイズ ....4-10 , 7-4
スピード ....7-6 , 7-7 , 7-8 , 7-10
スムーズ化 7-40

せ

施工順 7-23
切削深さ 7-9
接続テスト 7-13
センターマーク ....5-8 , 7-22
全体サイズ 7-21
全タイル 7-23
選択ツール 7-17
選択パスをプロット 7-3
線幅 3-7
線幅・重なりを認識 ....4-2 , 7-3
線幅指定されているパス 7-15
線分修正 ....6-2 , 7-38
線分の長さ 7-33
線分分割 ....4-23 , 7-7 , 7-11

そ

ソート ....7-5 , 7-28
外側を製品にする ....6-7 , 7-29
その他のカットできないパス 7-15

た

ダイアログ表示時にシート読み込みを行う .7-14
タイリング ....5-6 , 7-23
タイル間隔 7-24

タイル分割 .... 5-6 , 7-23
ダイレクト選択ツール .... 5-19 , 7-17
ダウンカット 7-8
縦横変倍 .... 5-2 , 7-22
単位 .... 7-22 , 7-35

ち

中間トンボ 3-8
直線化 7-39

つ

ツール .... 7-6 , 7-7 , 7-8 , 7-10
ツール位置 5-25
追加方向 4-7
通信条件 7-13
通信設定 7-18
通信速度 7-13

て

データ長 7-13
デフォルトシートサイズ 7-14
デフォルト設定 7-5

と

トラッピング .... 4-3 , 7-3
取扱説明書 7-37
トレースエリア選択 .... 7-31 , 7-32
トレースエリア表示 7-33
トレース結果表示 .... 7-31 , 7-33
トレース設定 7-33
トンボ .... 3-6 , 7-25
トンボ形状 .... 3-7 , 3-10 , 3-12
トンボサイズ .... 3-7 , 3-10 , 3-12
トンボ作成 .... 3-7 , 3-10 , 3-12 , 7-3
　CF2/DC/CF3 3-10
　CFL-605RT 3-12
　CG/CJV30/TPC/CJV300/
　CJV150 シリーズ 3-7
トンボ認識　3-15 , 3-18 , 3-24 , 3-27 , 3-29 , 3-32 ,
.... 3-35 , 3-38 , 3-41 , 3-44 , 7-26
トンボ認識解除 .... 3-15 , 7-26
トンボ認識の警告 7-15
トンボの周りを塗りつぶす .... 3-8 , 3-12
トンボ分割 .... 3-11 , 3-13
トンボ分割カット .... 3-32 , 3-41

ぬ

塗りと線 2-6

は

倍率 .... 5-3 , 7-21
ハザイモード 3-18
パスの連結 .... 4-4 , 7-3
パターン情報を付加する 3-8
幅 .... 5-3 , 7-21 , 7-35
パリティー 7-13
ハンドシェーク 7-13

ひ

表示のみプロット対象 7-14
表示領域変更ツール 7-18
ピンチローラー圧設定 7-35

ふ

ファイルへ出力 7-30
フィット 7-22
ふち取り 4-8
プリント 7-34
プリント & カット 7-34
フレーム 3-4
フレームオフセット 4-7
フレーム抽出 .... 3-4 , 7-3
プレビュー .... 5-24 , 7-17 , 7-30 , 7-31 , 7-32
プロッタ 7-4
プロッタ / ユーザー設定 .... 4-14 , 7-3 , 7-4
プロッタ / ユーザー 設定ボタン 5-21
プロッタ機種 7-4
プロッタ出力 7-27
プロッタ通信ポート 7-13
プロッタとの接続 1-13
プロッタの設定値 7-27
プロット .... 7-2 , 7-17 , 7-19
プロットダイアログ 7-14
プロットファイルを出力 .... 4-11 , 7-3
プロットファイルを読み込み .... 4-10 , 7-3
分割位置 .... 4-24 , 7-7 , 7-11 , 7-23
分割カット方向 .... 4-23 , 7-7 , 7-11
分割基点 .... 4-23 , 7-7 , 7-11

へ

ヘッド退避位置 5-23
ベベル 3-5

ほ

ポイント・線分の移動 7-39
方向線移動 A 7-40
方向線移動 B 7-40
ホットフォルダ選択 .... 4-15 , 7-35

ま

マーク 7-24
マークを付加する ....3-7 , 3-10 , 3-12
マイター 3-5
マルチモード ....3-30 , 3-39

み

ミラー ....7-22 , 7-35

め

メディア名 7-5

ゆ

ユーザ登録 1-11

ら

ラウンド 3-5

り

輪郭抽出 ....4-12 , 7-3 , 7-31
隣接選択 7-32

れ

レイアウト 7-22
レイヤー ....5-12 , 7-26 , 7-36
連続回数 ....3-18 , 3-30 , 3-39
連続カットの設定 7-26

ろ

ロールモード 3-18

わ

ワーク厚 7-8
枠 ....5-5 , 7-21

FineCut 取扱説明書

2015 年 1 月

発行者　　株式会社ミマキエンジニアリング
発行所　　株式会社ミマキエンジニアリング
〒 389-0512
長野県東御市滋野乙 2182-3

D202140-19-30012015

Printed in Japan
© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD.2015

IT
SW : 8.5